

ANNUAL REPORT

令和元年度

長崎県美術館年報

Nagasaki Prefectural Art Museum ANNUAL REPORT 2019

No. 14

目次

1. 沿革・主な出来事	2
2. 利用者数一覧	3
3. 展覧会事業	
1) 企画展	4
2) コレクション展	22
4. 教育普及・生涯学習事業	36
5. 補助金等による事業	53
6. 収集事業	54
7. 保存・修復事業	73
8. 作品貸出記録	75
9. 調査・研究事業	77
10. アートボランティア事業	93
11. 広報マーケティング事業	95
12. イベント等	102
13. 貸施設事業	106
14. ショップ、カフェ	109
15. 収支	110
16. 組織	112
17. 建築概要	114
18. 基本理念	114
19. 関係法規	115

1. 沿革・主な出来事

1) 沿革・主な出来事

- 平成12年11月 「諏訪の森再整備に関する基本方針」を長崎県・長崎市で公表
- 平成13年1月 長崎県新美術館基本構想専門家会議設置
- 平成13年4月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想（案）公表
（4～6月、構想（案）に対するパブリックコメント募集）
- 平成13年7月 長崎県新美術館（仮称）建設基本構想策定
- 平成13年10月 公募型プロポーザルの結果、「株式会社日本設計／協力：隈研吾」を設計者に決定
- 平成14年1月 環長崎港地域アーバンデザイン専門家会議との協議（同年4、7、10月）
- 平成14年3月 長崎県新美術館（仮称）美術館機能検討会議設置
- 平成14年10月 建築設計完了
- 平成15年3月 着工
- 平成15年10月 美術館条例制定
- 平成16年1月 財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成16年4月 長崎県美術館指定管理者開始
伊東順二館長就任
- 平成16年11月 スペイン国立プラド美術館にて、プラド美術館との交流に関する覚書を締結
- 平成17年4月 開館
- 平成17年6月 「マーブルアーキテクチャアワード2005 イーストアジア1等賞」受賞
- 平成17年10月 「グッドデザイン賞 建築・環境デザイン部門」受賞
- 平成17年12月 「ランドスケープライティングアワード2005 建築外構照明部門 部門最優秀賞」受賞
- 平成18年2月 「2005長崎市都市景観賞：大きな建物部門」受賞
- 平成18年5月 「平成17年度プレストレストコンクリート技術協会賞（作品部門）」受賞
「平成17年度照明普及賞（優秀施設賞）」受賞
- 平成18年6月 「2006ILDA 賞（国際部門）」入賞
- 平成18年10月 「第14回 CS デザイン賞（サイン部門）」受賞
「カサ・アジア賞」受賞
「日本建築士連合会賞」受賞
- 平成18年11月 「第47回建築業協会（BCS）賞」受賞
- 平成18年12月 「第40回 SDA 賞 公共サイン・システムサイン部門（奨励賞）」受賞
- 平成19年3月 入館者100万人達成
- 平成19年4月 米田耕司館長就任
- 平成19年5月 「日本建築家協会賞」受賞
- 平成20年1月 「2007きゅうでんイルミネーションコンテスト in Nagasaki（団体部門特別賞）」受賞
- 平成21年4月 指定管理者第2期開始
- 平成21年9月 入館者200万人達成
- 平成21年10月 皇太子殿下行啓
- 平成22年4月 開館5周年記念「プラド美術館所蔵 エル・グレコ《聖母戴冠》特別展示」開催
- 平成22年6月 公益財団法人長崎ミュージアム振興財団設立
- 平成22年7月 海フェスタながさき「海の総合展」に秋篠宮ご夫妻お成り
- 平成23年8月 釜山市立美術館との交流に関する協定書を締結
- 平成24年8月 入館者300万人達成
- 平成25年4月 自主企画展「現代スペイン・リアリズムの巨匠 アンтониオ・ロペス展」全国巡回
- 平成25年8月 第37回全国高等学校総合文化祭へ秋篠宮殿下、眞子内親王殿下お成り
- 平成25年9月 釜山市立美術館で「長崎県美術館所蔵品展 スペイン／長崎」開催
- 平成26年11月 「釜山市立美術館所蔵品展 路地に建てられた都市__釜山」開催
- 平成27年2月 入館者400万人達成
- 平成27年4月 指定管理者第3期開始

平成27年4月 開館10周年記念「プラド美術館所蔵 スペイン黄金世紀の静物画—ボデゴンの神秘」開催
 平成28年10月 ねんりんピック長崎2016へ常陸宮妃殿下お成り
 平成29年9月 入館者500万人達成
 平成30年7月 「日本スペイン外交関係樹立150周年記念企画 スペイン現代写真展『Women&Women』」開催
 平成30年10月 「日中美術交流展 日中平和友好条約締結40周年記念」開催
 令和元年5月 天皇陛下御即位を慶祝してコレクション展を無料公開

2) 会議ほか

- (1) 理事会／第1回5月28日、第2回12月3日、第3回2月18日、第4回3月23日（書面決議）
- (2) 評議員会／定時6月17日、第2回3月2日
- (3) スペイン美術アドバイザリーボード／12月1日
- (4) 県民ギャラリー利用審査会／10月15日

2. 利用者数一覧

令和元年度入館者実績

単位：人

	総入館者		
	計画	実績	対比
企画展	120,000	114,734	95.6%
コレクション展	50,000	90,940	181.9%
教育普及・生涯学習	30,000	28,463	94.9%
県民ギャラリー等	209,425	188,267	89.9%
*重複調整	△49,425	△38,081	77.0%
合計	360,000	384,323	106.8%

3. 展覧会事業

1) 企画展

奇蹟の芸術都市バルセロナ展

平成31年4月10日(水)～令和元年6月9日(日) *58日間 会場：企画展示室

概要：

スペイン・カタルーニャ自治州の州都バルセロナは古代に遡る豊かな歴史と、19世紀の産業革命以降に飛躍した経済・文化面の先進性とを合わせ持つ世界有数の国際都市である。また、この都市は芸術・スポーツ・食など様々な点で世界中の人々を惹きつけている。その魅力の源泉を探るべく、本展では、バルセロナの近代化を促進させた都市計画の誕生（1859年）からスペイン内戦（1936-39年）に至るまでの約80年間に生み出された芸術文化を辿った。アントニ・ガウディ、パブロ・ピカソ、ジュアン・ミロ、サルバドール・ダリらカタルーニャが育んだ巨匠たちの作品を筆頭に、絵画、彫刻、家具、宝飾品、図面など多彩なジャンルの作品計144点が並び、当時のカタルーニャに花開き咲き誇った芸術の精華を存分に味わえる機会となった。関連企画として、本展監修者並びに学術協力者による特別講座、担当学芸員による連続セミナー、展覧会内容に即したワークショップを開催。

開催形態：共催展（自主企画／巡回展）

主催：長崎県、長崎県美術館、KTN テレビ長崎

共催：長崎新聞社

特別協力：カタルーニャ美術館、カウ・ファラット美術館

協力：日本航空

特別協賛：西海建設

協賛：マリエラ クラソンズジャパン、株式会社ライブアートブックス

後援：スペイン大使館、カタルーニャ州政府、カタルーニャ州政府貿易投資事務所、在バルセロナ日本国総領事館、インスティトゥト・セルバンテス東京、日本・カタルーニャ友好親善協会、在福岡スペイン国名誉領事館、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎市立図書館、NHK 長崎放送局、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

助成：ラモン・リュイ財団、シッジャス文化財団、芸術文化振興基金

監修：木下亮（昭和女子大学教授）

企画協力：神戸新聞社、キュレイターズ

観覧料：一般1,200（1,000）円、大学生・70歳以上1,000（800）円

※高校生以下無料

※（ ）内は、前売りおよび15名以上の団体料金

入場者数：17,850人（1日あたり約308人）



出品点数：144点

関連事業：

(1)特別講座「近代都市バルセロナの形成と発展」（無料／要観覧券）

日時：4月13日(土) 13:00～14:30

会場：ホール

講師：フェルナンド・マルサー（カタルーニャ工科大学教授、カタルーニャ建築家協会歴史資料館ディレクター）※逐次通訳付／吉田理加（株式会社アセルカテ）

参加人数：108人

(2)特別講座「パリへの憧憬と近代カタルーニャ絵画の巨匠たち」（無料）

日時：5月12日(日) 11:00～12:30

会場：ホール

講師：木下亮（本展監修者、昭和女子大学教授）

参加人数：85人

(3)連続セミナー「芸術都市バルセロナの魅力」（無料）

時間：11:00～12:00

会場：講座室

4月14日(日)「都市の拡張とバルセロナ万博」

講師：野中明（長崎県美術館学芸専門監） 参加人数：37人

4月21日(日)「国際都市バルセロナの光と影」

講師：稲葉友汰（長崎県美術館学芸員） 参加人数：45人

5月19日(日)「四匹の猫と若きピカソの芸術」

講師：稲葉友汰 参加人数：33人

5月26日(日)「知られざるノウサンティズマー地中海への眼差し」

講師：稲葉友汰 参加人数：28人

6月2日(日)「前衛美術の勃興、そしてスペイン内戦へ」

講師：野中明 参加人数：27人

(4)学芸員によるギャラリートーク (無料/要観覧券)

日時：毎週日曜日 14:00～

会場：企画展示室

参加人数：各回約15～20人

(5)ワークショップ「ガウディ風マグネットをつくろう」

日時：4月20日(土)、21日(日) 10:30～12:30、14:00～16:30

会場：アトリエ

参加費：100円

参加人数：合計318人 (20日136人/21日182人)

(6)ワークショップ「いえとまちをつくろう」

日時：5月18日(土)、19日(日) 10:30～12:30、14:00～16:30

会場：アトリエ

参加人数：合計30組89人 (18日14組41人/19日16組48人)

主要記事等：

『イブニング長崎』NHK 長崎放送局 4月10日

『ヨジマル!』KTN テレビ長崎 4月10日

『日曜美術館アートシーン』Eテレ 5月12日

中村修二「幅広い芸術の精華一望 ガウディ、ピカソ… 巨匠たちの絵画や家具など150点」『長崎新聞』 4月7日

小槻憲吾「ガウディ、ピカソ、ミロ、ダリ 芸術文化の巨星一堂に」『長崎新聞』 4月10日

野村大輔「ピカソ、ダリ、ガウディ… バルセロナの芸術を紹介 きょうから県美術館で」『西日本新聞』 4月10日

「バルセロナ芸術作品150点 県美術館 ピカソやダリなど展示」『読売新聞』 4月12日

小槻憲吾「バルセロナ展特別講座 都市形成と発展解説 スペインマルサー教授が講演」『長崎新聞』 4月14日

窪田直子「巨匠の初期作品初々しく」『日本経済新聞』 4月17日

José Ángel Montañés「El arte catalán, a la conquista del Extremo Oriente」『EL PAÍS, CATALUÑA』 5月8日

野村大輔「バルセロナ芸術 満開 長崎県美術館に絵画や建築図面150点 来月9日まで企画展 川上音二郎の肖像画も」『西日本新聞』 5月9日

「長崎県美術館でバルセロナ展 ピカソなど名品一堂に」『佐賀新聞』 5月14日

出品リスト：

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
1	アウゼビ・アルナウ	バルセロナ	1897	ブロンズ・砂岩(ムンジュイック産)	53×68×35	カタルーニャ美術館
2	イルダフォンス・サルダ	バルセロナ市の近隣の地図とその都市拡張案	1861	リトグラフ/紙	77×116	カタルーニャ建築家協会
3	イルダフォンス・サルダ	都市化の一般理論 (第1巻)	1867刊	書籍		個人蔵
4	ジャシン・バルダグ	アトランティダ	1878刊	書籍		カタルーニャ図書館
5		ラベンス	1882年1月1日刊	雑誌 (合本)	21.7×16.3×1.6	カタルーニャ図書館
6	モデスト・ウルジェイ	共同墓地のある風景	1890年代 (?)	油彩/カンヴァス	95.8×186.4	長崎県美術館
7	ラモン・マルティ・イ・アルシーナ	リエラ・ダ・サン・ジュアンの屋上から眺めるバルセロナ風景	1889	油彩/カンヴァス	44×56.5	カタルーニャ美術館
8	フランセスク・マスリエラ	1882年の冬	1882	油彩/カンヴァス	79×62	カタルーニャ美術館
9	ジュアン・プラネッリヤ	織工の娘	1882	油彩/カンヴァス	182×142	個人蔵
10	G. L. ルイス	1888年バルセロナ万博のポスター	1888	クロマトグラフ・リトグラフ/紙	80.2×94.3	カタルーニャ図書館
11	アリアス・ルジェン	1888年バルセロナ万博のプラン		インク/紙	97×176.5	カタルーニャ建築家協会
12		1888年バルセロナ万博の公式パンフレット	1888	パンフレット		マルク・マルティ・コレクション
13		1888年バルセロナ万博のアルバム	1888	フォトアルバム		マルク・マルティ・コレクション
14	瀧澤清/松崎半造 (版元)	潜龍堂画譜 魚類之部	1880刊	書籍		カタルーニャ建築家協会/長崎県美術館
15	田中菊雄編/松崎半造 (版元)	いろは引紋帳	1881年1月刊	書籍		カタルーニャ建築家協会/長崎県美術館
16	ジュゼップ・ブッチ・イ・カダファルク	カザ・アマッリエー、ファサード改装プラン	1898	インク/カンヴァス紙	81×59	バルセロナ現代文書館
17	ジュゼップ・ブッチ・イ・カダファルク、プジョル・イ・パウシス工房	カザ・アマッリエーの花形装飾タイル	1900	施釉タイル	20×20×10	カタルーニャ美術館 (アマッリエー財団から永久寄託)
18	ジュゼップ・ブッチ・イ・カダファルクに帰属、プジョル・イ・パウシス工房	カザ・アマッリエーの花形装飾タイル	1900	施釉タイル	20×20.5×10	カタルーニャ美術館

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
19	ジュゼップ・ブッチ・イ・カダ ファルクに帰属、プジョル・ イ・パウシス工房	花形装飾タイル	1900	施釉タイル	15.3×15.5×9.4	カタルーニャ美術館
20	ジュゼップ・ブッチ・イ・カダ ファルクに帰属、プジョル・ イ・パウシス工房	天井装飾タイル	1900	施釉タイル	10×20×2.5	カタルーニャ美術館
21	リュイス・ドゥメナク・イ・ム ンタネー	カザ・リエオー・ムレラ、ファ サード改装プラン (ファクシミ リ)	1903	インク／カンヴァ ス紙	91×62.5	バルセロナ現代文書館
22	ガスパー・オマー	カザ・リエオー・ムレラの椅子	1905頃	オーク材・ビロー ド布張地・鍍金	113×45×46	カタルーニャ美術館
23	ガスパー・オマー	カザ・リエオー・ムレラの肘掛 椅子	1905頃	オーク材・ビロー ド布張地・鍍金	96×79×49	カタルーニャ美術館
24	ガスパー・オマー	カザ・リエオー・ムレラのコー ナーテーブル	1905頃	寄木象嵌・クルミ 材	77.5×53×53	カタルーニャ美術館
25	ガスパー・オマー	カザ・リエオー・ムレラのラン プ	1904	鉄 (叩き出し)・ 鍍金・ガラス	41.4×92.7×56.1	カタルーニャ美術館
26	ガスパー・オマー、ジュゼッ プ・ベイ (デザイン)、ジュア ン・カレラス・ファレー (彫刻)、 ジュアン・サガラ・イ・フィス (寄木象嵌)	庭の婦人	1905頃	寄木象嵌 (オーク ／シカモア／トネ リコ／ジャカラ ンダ／レモンウ ッド／トキワガ シ／ベニヤ)・ パイン材	159.5×50	カタルーニャ美術館
27	アントニ・ガウディ	カザ・バッリヨー、ファサード 改装プラン	署名：1904年10 月26日	インク・鉛筆／カ ンヴァス紙	47.5×78	バルセロナ現代文書館
28	アントニ・ガウディ (デザイン)、 カザス・イ・バルデス工房	カザ・バッリヨーの組椅子	1904-06頃	トネリコ材	104.5×167×75.5	カタルーニャ美術館 (サグラダ・ファミリア 建築委員会から寄託)
29	アントニ・ガウディ (デザイン)、 カザス・イ・バルデス工房	カザ・バッリヨーの扉	1906	金属・トネリコ材	228×94.5×11	カタルーニャ美術館
30	リュイス・ドゥメナク・イ・ム ンタネー (デザイン)、アスク フェ社製作	舗床タイル	1900頃	モザイクタイル	195×120×2 (各15×15)	カタルーニャ美術館
31	ランベール・アスカレー	流し目の女性	1903頃	賦彩テラコッタ	32×24×15	カタルーニャ美術館 (個人から長期寄託)
32	ジュアン・ブスケツ・イ・ ジャンー	ベッドサイド・テーブル	1906	金属・大理石・焼 き絵のあるシカモ ア材・トネリコ材	119×43×41	カタルーニャ美術館
33	アントニ・セラ、ジュゼップ・ ベイ (デザイン)	バラと白い女性の花瓶	1901-07	磁器・金	14.2×6.4×6.4	カタルーニャ美術館
34	ジュアキム・ミール、リガル・ グラネイ社	幼少期のマリア	1910-13	スタンドグラス・ 鉄枠	189.2×102.5× 6.5	カタルーニャ美術館
35	ジュゼップ・マリア・ジュジョ ル	マニャック商店の把手	1911	鉄	59×44×11	カタルーニャ美術館
36	リュイス・マスリエラ	サン・ジョルディのペンダント	1901-02頃	鍍金・ダイヤモンド・乳白 色エナメル (プリ カジュール、バス タイユ)	4.6×3.6×0.8	カタルーニャ美術館
37	リュイス・マスリエラ	バルセロナ上空の飛行機	1905頃	金・ダイヤモンド ・エナメル (プ リカジュール)	Φ3.2	個人蔵
38	リュイス・マスリエラ	ムンサラットの聖母	1916-20頃	金・ダイヤモンド ・エナメル (プ リカジュール、バ スタイユ)	4.8×3.5	バゲス・マスリエラ・ コレクション
39	リュイス・マスリエラ	龍のペンダント	1901-03頃	金・ルビー・ダイ ヤモンド・エメラ ルド	12.7×4.6	バゲス・マスリエラ・ コレクション
40	リュイス・マスリエラ	女性の横顔のペンダント	1908頃	金・ダイヤモンド・真珠・エナメ ル (プリカジュール、バスタイユ)	6.4×4.3×0.5	カタルーニャ美術館 (バゲス・マスリエ ラ・コレクションから 長期寄託)

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
41	リュイス・マスリエラ	有翼のニンフ	1906-08頃	金・象牙・ダイヤモンド・真珠・エナメル (プリカジュール)	6.9×3.6×0.5	カタルーニャ美術館 (バグス・マスリエラ・コレクションから長期寄託)
42	リュイス・マスリエラ	蜻蛉のプローチ	1903-06頃	金・純銀・ダイヤモンド・エメラルド・ルビー・エナメル (プリカジュール)	4.5×7	バグス・マスリエラ・コレクション
43	リュイス・マスリエラ	花のペンダント	1904頃	金・純銀・ダイヤモンド・真珠・エナメル (プリカジュール)	12.6×5.1×2	カタルーニャ美術館 (バグス・マスリエラ・コレクションから長期寄託)
44	リュイス・マスリエラ	女性像のプレスレット	1909-15頃	金・ダイヤモンド・エナメル (プリカジュール、バスタイユ)	4×5.5×5	カタルーニャ美術館 (バグス・マスリエラ・コレクションから長期寄託)
45	リュイス・マスリエラ	アール・デコ様式のネックレス	1909-16頃	金・白金・象牙・ダイヤモンド・サファイア・エナメル (バスタイユ)	3.9×12.5	バグス・マスリエラ・コレクション
46	ルマー・リベラ	夜会のあとで	1894頃	油彩/カンヴァス	59×79	カタルーニャ美術館
47	ルマー・リベラ	休息	1902頃	油彩/カンヴァス	130×150	個人蔵
48	ラモン・カザス	入浴前	1894	油彩/カンヴァス	72.5×60	ムンサラット美術館
49	アラグザンドラ・ダ・リケー	サロン・ペダル	1897	リトグラフ/紙	140×50	カタルーニャ美術館
50	ラモン・カザス	アニス・デル・モノ	1898	リトグラフ/紙	218×111	マルク・マルティ・コレクション
51	ラモン・カザス	女性運転手	1900	木炭・パステル/紙	63.5×41.5	ムンサラット美術館
52	アントニ・ガウディ	マタロ労働者組合社の建築計画	1881	リトグラフ/紙	62.1×83	個人蔵
53	リカル・カナルス	監獄での面会	1896	木炭・鉛筆/紙	30.5×21.5	ムンサラット美術館
54	リカル・ウピス	アナーキストの集会	1903	木炭・水彩・パステル/紙	35×54	ムンサラット美術館
55	サンティアゴ・ルシニョル	自転車乗りラモン・カザス	1889	油彩/カンヴァス	165×96	サバデイ銀行
56	サンティアゴ・ルシニョル	ムーラン・ド・ラ・ギャレットでのミケル・ウトリリヨ	1890-91	油彩/カンヴァス	222.5×151	カタルーニャ美術館
57	サンティアゴ・ルシニョル	ムーラン・ド・ラ・ギャレットの入口	1891	油彩/カンヴァス	33.5×41	カタルーニャ美術館
58	サンティアゴ・ルシニョル、ラモン・カザス	風車小屋便り	1894刊	書籍		カタルーニャ図書館
59	ミケル・ウトリリヨ	シュザンヌ・ヴァラドン	1891	鉛筆・コンテ・サンギーヌ/紙	30.5×19.7	カウ・ファラット美術館
60	サンティアゴ・ルシニョル	青い中庭	1892頃	油彩/カンヴァス	112×79	ムンサラット美術館
61	サンティアゴ・ルシニョル	モルヒネ中毒の女	1894	油彩/カンヴァス	87.3×115	カウ・ファラット美術館
62	サンティアゴ・ルシニョル	「喜びは過ぎ去りて」公演ポスター	1899	リトグラフ/紙	88×55	演劇美術館
63		ラ・アスケリヤ・ダ・ラ・トゥラーチャ (No. 1014)	1898刊	雑誌		カタルーニャ図書館
64	ジュアン・リモーナ	読書	1891	油彩/カンヴァス	100.5×67	カタルーニャ美術館
65	ジュゼップ・リモーナ	初聖体拝領	1897	多彩ストウッコ	88×116×62	カタルーニャ美術館
66	ラモン・カザス	影絵芝居のポスター	1897	リトグラフ/紙	62.3×87.5	マルク・マルティ・コレクション
67	ラモン・カザス	「影絵芝居」のプログラム		リトグラフ/紙	9.5×15.5	マルク・マルティ・コレクション
68	ラモン・カザス	「四匹の猫」の人形劇	1899	リトグラフ/紙	53.5×38.5	演劇美術館
69	ラモン・カザス、パブロ・ピカソ	人形劇のパンフレット		リトグラフ/紙	24×8	マルク・マルティ・コレクション
70	ジュリ・ピ・イ・ウリベリヤ	人形劇の人形	1897-1900	木材・布・ガラス	44×46×9	演劇美術館
71		「四匹の猫」での展覧会パンフレット	1897	リトグラフ/紙	20.5×15.5	マルク・マルティ・コレクション

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
72		ベル・イ・プロマ	1899-1903刊	雑誌 (合本)		カタルーニャ図書館
73		ルス	1897-98刊	雑誌 (合本)		カタルーニャ図書館
74	ラモン・カザス	川上音二郎の肖像	1902	木炭・セピア色鉛筆・パステル/レイド紙	48.5×33.5	演劇美術館
75	ジュアキム・ミール	貧しき者の大聖堂	1898	油彩/カンヴァス	209.3×253	カタルーニャ美術館 (カルメン・ティッセン=ボルネミッサ・コレクションから永久寄託)
76	ジュアキム・ミール	魅惑の入江—マジョルカ	1901頃	油彩/カンヴァス	86.5×121	カタルーニャ美術館
77	イジドラ・ヌネイ	ジブシー女の横顔	1902	油彩/カンヴァス	73.5×54.5	カタルーニャ美術館
78	イジドラ・ヌネイ	若いジブシー女	1903	油彩/カンヴァス	81×65.5	カタルーニャ美術館
79	イジドラ・ヌネイ	習作	1906	油彩/カンヴァス	100.5×80.5	カタルーニャ美術館
80	イジドラ・ヌネイ	寄りかかるジブシー女	1906	木炭・水彩/紙	30×41	ムンサラット美術館
81	イジドラ・ヌネイ	座るジブシー女	1909	鉛筆/厚紙	49×32	ムンサラット美術館
82	エルマン・アングラダ・カマラザ	白の女	1902	油彩/板	25×34.5	カイシャ銀行財団
83	エルマン・アングラダ・カマラザ	夜の女	1913頃	油彩/カンヴァス	198×105.5	カタルーニャ美術館 (バルセロナ県から長期寄託)
84	ジュアキム・スニュー	ルピック通りの市場	1904	油彩/カンヴァス	70×55	ゴディア財団
85	リカル・カナルス	カフェ・コンセール	1903頃	油彩/カンヴァス	51×66	カタルーニャ美術館
86	リカル・カナルス	化粧	1903	油彩/カンヴァス	147×113.5	カタルーニャ美術館
87	パブロ・ピカソ	ムダルニスタ	1899-1900	コンテ/紙	22×15.9	バルセロナ・ピカソ美術館
88	パブロ・ピカソ	アンリク・ムレラとミケル・ウトリリヨの肖像	1899-1900	セピアインク/レイド紙	21.2×11.8	バルセロナ・ピカソ美術館
89	パブロ・ピカソ	エル・グレコ風の男性頭部とその他のスケッチ	1899	コンテ/レイド紙	24×16.1	バルセロナ・ピカソ美術館
90	パブロ・ピカソ	ラモン・ラバントスと人物習作	1899-1900	ペン・セピアインク・淡彩/紙	16.4×17.8	バルセロナ・ピカソ美術館
91	パブロ・ピカソ	読書をするアンジェル・フェルナンデス・ソト	1898-99	コンテ/紙	22.3×16	個人蔵
92	パブロ・ピカソ	カルラス・カザジェマス	1899-1900	油彩/カンヴァス	55×45	バルセロナ・ピカソ美術館
93	ラモン・カザス	アウジェニ・ドルスの肖像	1906-07頃	鉛筆・木炭/紙	63.7×49.4	カタルーニャ美術館
94	アウジェニ・ドルス、ファリウ・アリアス (挿図)	術語集	1907刊	書籍		カタルーニャ図書館
95	アウジェニ・ドルス他著、ジュゼップ・アラガイ(表紙)、ジュアキム・オルタ (版元)	ノウサンティスタ年鑑	1911刊	書籍		個人蔵
96	ホアキン・トーレス=ガルシア	工業のカタルーニャ	1917	グアッシュ/紙	120×79	カタルーニャ自治州
97	ジュアキム・スニュー	牧歌	1910-11頃	油彩/カンヴァス	106×152	カタルーニャ自治州
98	ジュアキム・スニュー	森の三人の女たち	1913	油彩/カンヴァス	126×150.5	カタルーニャ美術館
99	ジュゼップ・クララー	若さ	1932-35	ブロンズ	125×45×30.3	カタルーニャ美術館 (バルセロナ市役所から永久寄託)
100	マノロ・ウゲー	闘牛士	1913頃	石灰岩 (カルカレナイト)	41.5×31×17.5	カタルーニャ美術館
101	ジュリ・ゴンサレス	母と子	1912-14頃	油彩・木炭/板紙	75×53	ゴディア財団
102	シャビエ・ヌゲース	ライアタナス画廊酒倉壁画	1915	テンペラ/カンヴァス	88×115	カタルーニャ美術館
103	シャビエ・ヌゲース、フランセスク・ケー	レストラン「カン・クリャレタス」のタイル壁画(サルダーナ)	1923	施釉タイル	65.5×91.8 (各13×13)	バルセロナ・デザイン美術館
104	シャビエ・ヌゲース、リカル・クレスポ	グラス	1923-28	ガラス・エナメル	4.5×3.5×3.5	カタルーニャ美術館
105	シャビエ・ヌゲース、リカル・クレスポ	グラス	1929	ガラス・エナメル	13(高:グラス) /1(高:平皿)	バルセロナ・デザイン美術館

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
106	シャビエ・ヌゲース、リカル・クレスポ	グラス	1924-30	ガラス・エナメル	11 (高)	バルセロナ・デザイン美術館
107	シャビエ・ヌゲース、リカル・クレスポ	グラス	1928-33	ガラス・エナメル	8 (高)	バルセロナ・デザイン美術館
108	ジュゼップ・ブッチ・イ・カダファルク	1917年開催予定のバルセロナ国際博覧会俯瞰図	1915	インク・鉛筆/カンヴァス紙	72.3×139.5	バルセロナ現代文書館
109	フランセスク・ダシス・ガリ	1929年バルセロナ国際博覧会	1929	リトグラフ/紙	165×114	カタルーニャ美術館 (カタルーニャ自治州から永久寄託)
110		1929年バルセロナ国際博覧会のポスター	1929頃	オフセット	53×70	マルク・マルティ・コレクション
111	ジュゼップ・マリア・ジュジョル	エスパーニャ広場噴水のためのマケット	1928頃	金属 (合金)	35×34×25	カタルーニャ建築家協会
112	フランセスク・ダシス・ガリ	パウ・カザルスのオーケストラ	1931	リトグラフ/紙	53.3×36.8	カタルーニャ美術館
113	ジュアン・ミロ	赤い扇	1916	油彩/厚紙	103×73	株式会社フジ・メディア・ホールディングス
114	ジュアン・ミロ	シウラナの教会	1917	油彩/カンヴァス	46×55	静岡県立美術館
115	ジュアン・ミロ	絵画詩 (おお!あの人やっちゃったのね)	1925	油彩/カンヴァス	130×97	東京国立近代美術館
116	ジュゼップ・リョレンス・イ・アルティガス	黄土色の花瓶	1936	陶器	25.7×21.5	バルセロナ・デザイン美術館
117	ジュゼップ・リョレンス・イ・アルティガス	深碧の花瓶	1931	陶器	36.5×24	バルセロナ・デザイン美術館
118	ジュアン・ミロ、ジュゼップ・リョレンス・イ・アルティガス	大壺	1966	陶磁	119×Φ70	京都国立近代美術館
119	サルバドール・ダリ	裸婦	1924頃	油彩/厚紙	46×48.5	ソフィア王妃芸術センター
120	サルバドール・ダリ	水の中の裸体	1924頃	油彩/厚紙	50.5×47	ソフィア王妃芸術センター
121	サルバドール・ダリ	静物	1923頃	油彩/厚紙	50×56	ソフィア王妃芸術センター
122	パブロ・ピカソ	ギターのある静物	1912	油彩/カンヴァス	64.5×50	東京ステーションギャラリー
123	サルバドール・ダリ	ヴィーナスと水兵 (サルバット=パバサイトへのオマージュ)	1925	油彩/カンヴァス	215×147.5	池田20世紀美術館
124	サルバドール・ダリ	マリア・カルポーナ (準備素描)	1925	鉛筆/紙	49×32	ムンサラット美術館
125	サルバドール・ダリ、サバステア・ガスク、リュイス・ムンタニャー	黄色宣言 (カタルーニャ反芸術宣言)	1928	パンフレット	54.5×39	カタルーニャ図書館
126	ジュゼップ・リュイス・セルト	集合住宅ファサードの透視図	1929	写真製版/紙	90.5×67.5	バルセロナ現代文書館
127		AC (No. 1)	1931刊	雑誌		カタルーニャ建築家協会
128		AC (No. 11)	1933刊	雑誌		カタルーニャ建築家協会
129		AC (No. 13)	1934刊	雑誌		カタルーニャ建築家協会
130		AC (No. 25)	1937刊	雑誌		カタルーニャ建築家協会
131		ADLAN マニフェスト	1933	パンフレット		カタルーニャ建築家協会
132		ADLAN「サルバドール・ダリ展」ラモン・マリネルロへの招待状	1934	招待状		カタルーニャ建築家協会
133		ADLAN「今日のプリミティブ・アート展」招待状	1935	招待状		カタルーニャ建築家協会
134		ADLAN「ハンス・アルプ展」招待状	1935	招待状		カタルーニャ建築家協会
135	サルバドール・ウルティガ	ADLAN 展覧会ポスター: 三人の彫刻家たち	1935	コラージュ・フォトモンタージュ	52.2×38.2	個人蔵
136		ADLAN「パブロ・ピカソ展」パンフレット	1936	パンフレット		カタルーニャ建築家協会
137		ダシ・イ・ダリャ (No. 179)	1934年12月刊	雑誌 (合本)		カタルーニャ図書館/個人蔵

番号	作者名	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
138	アステバ・フランセス	夢／迷宮39	1938年	油彩／カンヴァス	38.1×45.7	ソフィア王妃芸術センター（個人から長期寄託）
139	サルバドール・ダリ	幽霊と幻影	1934頃	油彩／カンヴァス	100×73	大阪中之島美術館
140	ジュアン・ミロ	スペインを救え	1937	ステンシル／紙	50.2×32.1	愛知県美術館
141	パブロ・ピカソ	ミノタウロマキア	1935	エッチング・スクレーパー／紙	49.7×69.3	東京都現代美術館
142	パブロ・ピカソ	泣く女	1937	エッチング・アクアティント・ドライポイント／紙	72.3×49.3	ソフィア王妃芸術センター
143	ル・コルビュジエ	無題（バルセロナ陥落）	1960	リトグラフ／紙	71×102	大成建設株式会社
144	ジュリ・ゴンサレス	叫ぶムンサラットの頭部	1942頃	ブロンズ	31.5×19.8×29.3	カタルーニャ美術館

※21、118、122は参考出品

名探偵コナン 科学捜査展 ～真実への推理（アブダクション）～

令和元年6月29日(土)～9月1日(日) *63日間 会場：企画展示室

概要：

「名探偵コナン」の世界観をベースに、コナンの推理や科学捜査のプロセスを楽しみながら体験できる特別展。会場では、来場者が体験のガイドとなる探偵手帳に沿って、事件の真相を解明していく。東京を皮切りに全国を巡回した展覧会だが、長崎会場では原作者・青山剛昌氏による複製原画を特別に展示した。

開催形態：共催展（受託形式／巡回展）

主催：長崎新聞社、NIB 長崎国際テレビ、長崎県美術館

協力：「名探偵コナン 科学捜査展」製作委員会、日本科学未来館、法科学鑑定研究所

長崎会場協力：長崎県警察、長崎バス、みらい長崎ココウォーク、長崎県医師会、長崎新聞販売センター

長崎会場特別協賛：大誠ハウス株式会社

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎市立図書館、長崎県PTA連合会、長崎県国公立幼稚園・こども園協会、長崎県私立幼稚園連合会、長崎県学童保育連絡協議会、長崎市学童保育連絡協議会、長崎県保育協会、長崎県子ども会育成連合会、長崎県民生委員児童委員協議会、長崎県社会福祉協議会、長崎県観光連盟、長崎国際観光コンベンション協会、生活協同組合ララコープ、長崎県生活協同組合連合会、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎、長崎県書店商業組合、長崎県興行生活衛生同業組合、長崎県映画センター、長崎県美術協会、長崎商工会議所、ライオンズクラブ国際協会337-C地区、長崎親善人形の会（瓊子の会）、長崎県水彩画協会、長崎経済研究所、長崎交流センター、ながさきプレス、イーゾワークス

観覧料：

一般1,500(1,300)円、高大生1,000(800)円、小中生600(400)円

・限定グッズ付前売り券 一般1,800円、高大生1,300円、小中生900円

・限定グッズ付当日券 一般2,000円、高大生1,500円、小中生1,000円

※小学生未満無料

※（ ）内は、前売りおよび15名以上の団体料金

入場者数：39,720人（1日あたり約630人）



©青山剛昌/小学館・読売テレビ・TMS 1996

関連事業：

(1)名探偵コナン トークショー in 長崎

日時：7月14日(日) 14:00開演

会場：長崎ブリックホール 大ホール

料金：全席指定4,800円（名探偵コナン科学捜査展 長崎会場入場券付き）

参加人数：約2,000人

(2)江戸川コナン握手撮影会

日時：6月29日(土)、30日(日)、7月6日(土)、7日(日)、15日(月・祝)、21日(日)、28日(日)／①10:30～ ②12:00～ ③14:00～ ④16:00～ ※各約30分間

会場：ホールもしくは講座室

(3)江戸川コナン・安室透が会場内に登場

日時：8月1日(木)、2日(金)、5日(月)～8日(木)、13日(火)～16日(金)、19日(月)～23日(金)、26日(月)～9月1日(日)／①11:00～ ②13:00～ ③15:00～ ※各約30分間

主要記事等：

『news every.サタデー』NIB 長崎国際テレビ 6月29日
柿野朋之「さあ キャラと推理しよう 県美術館で開幕9月1日まで」『長崎新聞』 6月30日

「名探偵コナン科学捜査展ハイライト」（全5回）『長崎新聞』 7月2日～6日

柿野朋之「名ゼリふ長崎弁で披露 声優トークショー2000人のファン歓声」『長崎新聞』 7月15日

クリスチャン・ボルタンスキー — Lifetime

令和元年10月18日(金)～令和2年1月5日(日) *71日間 会場：企画展示室、常設展示室第1室、光の回廊

概要：

世界的に活躍するフランス人アーティスト、クリスチャン・ボルタンスキー（1944-）の半世紀に渡る活動の全貌を紹介する回顧展で、日本における個展としては過去最大規模のもの。国立国際美術館及び国立新美術館との共同企画。初期のオブジェから代表作〈モニュメント〉シリーズ、最新作の映像インスタレーションを紹介するとともに、ボルタンスキー自身が会場に合わせたインスタレーションを手掛けるという構想に基づき企画された。戦後74年目の被爆地・長崎で、ホロコースト以降の死や記憶をテーマとするボルタンスキーの仕事を紹介するという機会となった。

開催形態：共催展（共同企画／巡回展）

主催：長崎県美術館、朝日新聞社

協力：アニエスベージュジャパン株式会社

後援：在日フランス大使館／アンスティチュ・フランセ日本、在長崎フランス名誉領事館、長崎日仏協会、長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、毎日新聞社、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

助成：公益財団法人長崎バス観光開発振興基金、公益財団法人野村財団

観覧料：

一般1,400（1,200）円、大学生・70歳以上1,100（900）円

※高校生以下無料

※（ ）内は、前売りおよび15名以上の団体料金

※当日に限り再入場可

※「夜間割引」・「正月割引」を実施。夜間（17：00～20：00）及び1月2日・3日は当日料金から200円引き

入場者数：11,989人（1日あたり約169人）

出品点数：41点

関連事業：

(1)アーティスト・トーク（無料／要観覧券／事前申込）

日時：10月18日(金) 11：00～12：30

会場：ホール

講師：クリスチャン・ボルタンスキー※逐次通訳付き／通訳：福崎裕子

参加人数：133人

(2)講演会「クリスチャン・ボルタンスキー—〈痕跡〉から〈巡礼〉へ」（無料／要観覧券）

日時：11月9日(土) 14：00～15：30



会場：ホール

講師：湯沢英彦（明治学院大学文学部フランス文学科教授）

参加人数：48人

(3)スライドレクチャー「ボルタンスキーをめぐる旅」（全2回）（無料）

日時：①10月20日(日) ②11月17日(日) 11：00～12：00

会場：講座室

講師：福満葉子（長崎県美術館学芸専門監）

参加人数：①47人 ②37人

(4)学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：10月26日(土)、11月16日(土)、12月7日(土)、12月21日(土)
14：30～

会場：企画展示室

参加人数：各回30人程度

(5)映画『クリスチャン・ボルタンスキーの可能な人生』上映（無料／要観覧券）

監督：Heinz Peter Schwerfel／制作：ARTE France 他／仏語（日本語字幕付き）／52分／2010年

日時：10月19日(土)、20日(日)、26日(土)、11月10日(日)、17日(日)、12月21日(土)、22日(日)、2020年1月2日(木)～5日(日)（全11日間、合計55回）13：00～18：00 *毎時00分から上映開始。最終は17：00から。

会場：ホール

参加人数：合計411人

(6)サポーター制度の実施

募集期間：2020年1月3日(金)まで

募集内容：1口10,000円

特典：

①クリスチャン・ボルタンスキー展招待券2枚（×口数）

②オープニング式典、内覧会及びパーティへの招待

③会場パネル・長崎県美術館ホームページに名前を掲出

④図録1冊贈呈（×口数）

⑤実績：24口（21組）

主要記事等：

- ・『スーパー J チャンネル長崎』NCC 長崎文化放送 10月17日
- ・『N スタプラス長崎』NBC 長崎放送 10月17日
- ・『NNN ストレイトニュース』NIB 長崎国際テレビ 10月18日
- ・『イブニング長崎』NHK 長崎放送局 10月24日
- ・片岡大右「人生の時間とその後——展覧会『クリスチャン・ボルタンスキー Lifetime』に寄せて」10月29日、以文社ウェブサイト (<http://www.ibunsha.co.jp/contents/kataoka01/>)
- ・野村大輔「仏の現代芸術家 ボルタンスキー回顧展 空間に広がる『生と死』」『西日本新聞』11月8日
- ・「クリスチャン・ボルタンスキー Lifetime展」(全3回)『スーパー J チャンネル長崎』NCC 長崎文化放送 11月19日～21日
- ・上林格「答え与えぬ亡霊たち クリスチャン・ボルタンスキーさん 長崎県美で企画展 死の意味自らに問いかける」『朝日新聞』12月4日
- ・渡辺亮一「変化する表情 思索促し ボルタンスキー長崎で回顧展」『毎日新聞』12月15日
- ・諏訪部真「死を思わせ突き付ける生 C・ボルタンスキー回顧展 長崎県美術館『空間のアーティスト』五感を刺激」『西日本新聞』12月16日



出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
1	1951年にクリスチャン・ボルタンスキーが所有していた一組の長靴の粘土による復元の試み	1970	粘土、ブリキ、金網、ラベル	40×60×12	国立国際美術館
2	1948年から1950年にクリスチャン・ボルタンスキーが使用していた椀とスプーンの粘土による復元の試み	1971	粘土、ブリキ、金網、ラベル	40×60×12	国立国際美術館
3	罨1970/71	1970-71	カミソリ、針、布、木、ガラス	39.5×63.5×12	豊田市美術館
4	影 (天使)	1985	フィギュア、スポットライト、可動式台座、金属フレーム	サイズ可変	作家蔵
5	影	1986	フィギュア、スポットライト、可動式台座、金属フレーム、送風機	サイズ可変	愛知県美術館
6	モニュメント	1985	写真、フレーム、ソケット、電球、電気コード	160×60×5	作家蔵
7	皺くちャのモニュメント	1985	写真、フレーム、ソケット、電球、電気コード	各68×30×5	作家蔵
8	モニュメント	1986	写真、フレーム、ソケット、電球、電気コード	150×300×5	作家蔵
9	モニュメント4 (レッド)	1986	写真、フレーム、ソケット、電球、電気コード	207.7×70.2×7.7	和歌山県立近代美術館
10	モニュメント5 (グレー)	1986	写真、フレーム、ソケット、電球、電気コード	373.6×151×7.2	水戸芸術館
11	小さなモニュメント	1986	写真、ビスケット缶、ランプ、電気コード	4点、各123×59×21.5	作家蔵
12	モニュメント	1987	写真、フレーム、ソケット、電球、電気コード	223×100×5	作家蔵
13	保存室 (プーリム祭)	1987	写真、ビスケット缶、ランプ、電気コード	150×184×21.5	作家蔵
14	保存室 (プーリム祭)	1989	写真、ビスケット缶、ランプ、電気コード	178×195×21.5	作家蔵
15	聖遺物箱 (プーリム祭)	1990	写真、金属製引き出し、布、ランプ、電気コード	195×190×23	原美術館

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)	所蔵
16	シャス高校の祭壇	1987	写真、バスケット缶、ランプ、電気コード	245×210×23	横浜美術館
17	保存室 (カナダ)	1988	衣類	サイズ可変	作家蔵
18	174人の死んだスイス人	1990	写真、フレーム、ランプ、電気コード	366×1479×34.3	広島市現代美術館
19	その後、ピック	1996	プリントされた布、フレーム、竿、台、ソケット、LED電球	6点、各130-170×40×40	作家蔵
20	ヴェロニカ	1996	写真、布、フレーム、ライト、電気コード	4点、各150×92×14.5	作家蔵
21	三面記事	2000	写真、フレーム、ランプ	各60×50×10、335×1095×10 (作品全体)	作家蔵
22	コート	2000	コート、ソケット、電球	200×100×10	作家蔵
23	往来	2001	写真、ソケット、LED電球	180×425×10	作家蔵
24	青春時代の記憶	2001	グラシン紙に印刷された写真、アクリル、金属の棒、ランプ	各192×163×30	作家蔵
25	心臓音	2005	黒い鏡、ソケット、電球	サイズ可変	作家蔵/協力:公益財団法人福武財団
26	発言する	2005	板、コート、ランプ、サウンドボックス	サイズ可変	作家蔵
27	自画像	2008	写真、フレーム	27点、各31.5×25.6×3	作家蔵
28	C・Bの人生	2010	ビデオ、6点のモニター	サイズ可変	ミュージアム・オブ・オールド・アンド・ニュー・アート
29	合間に	2010	ビデオプロジェクション、ストリングス・カーテン	サイズ可変	作家蔵
30	その後	2013	プリントされた布、フレーム、ソケット、電球	3点、各240×190×10	作家蔵
31	スピリット	2013	肖像が印刷された布、ソケット、電球	サイズ可変	作家蔵
32	最後の時	2013	カウンター	18×48×6	作家蔵
33	出発	2015	ソケット、LED電球、電気コード	60×280×10 (文字)、170×280×10 (作品全体)	作家蔵
34	到着	2015	ソケット、LED電球、電気コード	60×300×10 (文字)、170×300×10 (作品全体)	作家蔵
35	黄昏	2015	ソケット、電球、電気コード	サイズ可変	作家蔵
36	ぼた山	2015	衣類、円錐形の構造物、ランプ	サイズ可変	作家蔵
37	アニミタス (チリ)	2014	ビデオプロジェクション (HD、13時間分16秒) 干草、苔、花	サイズ可変	作家蔵
38	アニミタス (白)	2017	ビデオプロジェクション (HD、10時間36秒)、シルクペーパーの玉	サイズ可変	作家蔵
39	ミステリオス	2017	ビデオプロジェクション (HD、約12時間)、3面のスクリーン	サイズ可変	作家蔵
40	黄金の海	2017	エマーゼンシー・ブランケット、干草、ソケット、電球	サイズ可変	作家蔵
41	来世	2019	ソケット、LED電球	100×230×10 (文字)	作家蔵

荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋

令和2年1月25日(土)～3月29日(日) *61日間 会場：企画展示室、常設展示室第1・2室

概要：

漫画家・荒木飛呂彦氏による「ジョジョの奇妙な冒険」は1987年に『週刊少年ジャンプ』で連載が開始され、2017年に誕生30周年を迎えた。本展は豊富な肉筆原画をはじめ多彩な展示物とともに、その歩みと歴史を紐解くものであった。東京・大阪の2会場で開催され26万人以上が来場した本展の3会場目として開催、ジョジョ展としては九州初上陸となった。長崎会場のために描き下ろされたキービジュアルを中心に広報宣伝活動を行い、また開幕前には荒木飛呂彦氏と初代担当編集者・椛島良介氏との対談を行った。また本展に合わせ、当館での開催のきっかけとなった椛島勝一の収蔵作品を常設展示室にて展示した。一方で新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、3月2日以降会期末まで、県の要請に従って高校生以下の入館を制限した。

開催形態：共催展（実行委員会形式）

主催：長崎県美術館、KTN テレビ長崎

共催：長崎新聞社

協賛：ローソンチケット

後援：長崎県、長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、西日本新聞社、毎日新聞社、朝日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア、長崎書店商業組合

助成：公益財団法人長崎バス観光開発振興基金

企画協力：集英社

観覧料：一般1,600(1,400)円、大学生1,200(1,000)円、高校生800(600)円

グッズ付前売券2,800円（ローソンチケット限定オリジナルグッズ付き）

※（ ）内は、前売り料金

入場者数：45,175人（1日あたり約741人）

出品点数：約200点（原画188点+映像・資料など）

関連事業：

(1)「荒木飛呂彦×初代担当編集者・椛島良介」特別対談会

日時：1月23日(木) 14:00～15:00

会場：ホール

料金：5,000円（全席指定）

参加人数：150人

(2)プレビューデー

日時：1月24日(金)／①10:00～12:50 ②13:00～15:50

③16:00～19:30



料金：1,600円（入場時間指定制、来場記念証付）

参加人数：①487人 ②531人 ③547人

主要記事等：

- ・『KTN Live Newsit』 KTN テレビ長崎 1月23日、24日
- ・『ヨジマル!』 KTN テレビ長崎 1月24日
- ・『アサデス。』 KBC 九州朝日放送 3月10日
- ・山口恭祐「『JOJO 原画展』あす開幕 荒木さん来崎『迫力見て!』『長崎新聞』 1月24日
- ・米田悠一郎「原画や映像『ジョジョ』の世界 長崎であすから荒木飛呂彦さん個展」『朝日新聞』 1月24日
- ・「ジョジョ展九州初開催 県美術館であすから 原画など200点」『読売新聞』 1月24日
- ・「漫画家の荒木飛呂彦原画展 JOJOの世界楽しむ きょうから県美術館」『毎日新聞』 1月25日
- ・古重「九州初上陸 JOJOの祭典 荒木飛呂彦の原画展」『宇部日報』 1月28日
- ・山口恭祐「JOJO 独自の魅力追求 人気漫画 県美術館で原画展 来月29日まで」『長崎新聞』 2月6日
- ・今井邦彦「マンガ家・荒木飛呂彦さん ジョジョ原画展『バァーン』と登場」『朝日新聞』(夕刊) 2月22日
- ・「ミサキア記のタンボウ記」『西日本新聞』 2月29日
- ・諏訪部真「人気漫画家と長崎の奇縁」『西日本新聞』 3月3日

出品リスト：

- ・作品については No. 152を除き、すべて荒木飛呂彦氏による原画作品。
- ・制作年については、初出雑誌の出版年を記した。
- ・WJ：週刊少年ジャンプ UJ：ウルトラジャンプ JC：ジャンプ・コミックス MJ：ミラクルジャンプ

番号	作品名	シリーズ	制作年
■宿命の星 因縁の血			
1	JC 第4巻 カバー用イラスト	Part 1 ファントムブラッド	1988
2	WJ 1988年 第9号	Part 2 戦闘潮流	1988
3	WJ 1987年 第31号	Part 1 ファントムブラッド	1987
4	WJ 1987年 第31号	Part 1 ファントムブラッド	1987
5	WJ 1988年 第26号	Part 2 戦闘潮流	1988
6	WJ 1988年 第49号	Part 2 戦闘潮流	1988
7	WJ 1990年 第17号	Part 3 スターダストクルセイダース	1990
8	WJ 1990年 第33号	Part 3 スターダストクルセイダース	1990
9	WJ 1989年 第36号	Part 3 スターダストクルセイダース	1989
10	WJ 1993年 第18号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1993
11	WJ 1992年 第21 - 22合併号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1992
12	WJ 1994年 第47号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1994
13	WJ 1998年 第35号	Part 5 黄金の風	1998
14	WJ 1996年 第5 - 6 合併号	Part 5 黄金の風	1996
15	WJ 2000年 第11号	Part 6 ストーンオーシャン	2000
16	WJ 2000年 第10号	Part 6 ストーンオーシャン	2000
17	WJ 1997年 第20号	Part 5 黄金の風	1997
18	JC 『ストーンオーシャン』第1巻 カバー用イラスト	Part 6 ストーンオーシャン	2000
19	JC 『スティール・ボール・ラン』第4巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2004
20	UJ 2009年 1月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2009
21	UJ 2011年 4月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2011
22	UJ 2005年 6月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2005
23	WJ 2004年 第14号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2004
24	UJ 2014年 5月号	Part 8 ジョジョリオン	2014
25	UJ 2016年 7月号	Part 8 ジョジョリオン	2016
26	画集『JOJOVELLER』描き下ろしイラスト		2013
27	UJ 2011年 10月号	Part 8 ジョジョリオン	2011
28	集英社新書ヴィジュアル版『ジョジョの奇妙な名言集 Part 4～8』カバー用イラスト		2012
29	集英社新書ヴィジュアル版『ジョジョの奇妙な名言集 Part 1～3』カバー用イラスト		2012
30	WJ 1988年 第53号	Part 2 戦闘潮流	1988
31	WJ 1990年 第48号	Part 3 スターダストクルセイダース	1990
32	JC 第31巻 カバー用イラスト	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1993
33	JC 第61巻 カバー用イラスト	Part 5 黄金の風	1999
34	JC 『ストーンオーシャン』第7巻 カバー用イラスト	Part 6 ストーンオーシャン	2001
35	UJ 2005年 6月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2005
36	JC 『スティール・ボール・ラン』第10巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2006
37	UJ 2016年 3月号	Part 8 ジョジョリオン	2016
38	UJ 2014年 4月号	Part 8 ジョジョリオン	2014
39	JC 『ジョジョリオン』第1巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2009
40	WJ 2003年 第10号	Part 6 ストーンオーシャン	2003
41	『ファントムブラッド』究極総集編（2007年）オフィシャルムービーガイド（2007年） UJ 2007年 3月号		2007
42	WJ 2003年 第12号	Part 6 ストーンオーシャン	2003
43	JC 『スティール・ボール・ラン』第16巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2008
44	WJ 1998年 第20号	Part 5 黄金の風	1998
45	WJ 1998年 第44号	Part 5 黄金の風	1998
46	WJ 1997年 第46号	Part 5 黄金の風	1997
47	JC 第45巻 カバー用イラスト	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1996
48	WJ 1993年 第50号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1993

番号	作品名	シリーズ	制作年
49	WJ 1994年 第14号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1994
50	WJ 1992年 第7号	Part 3 スターダストクルセイダース	1992
51	WJ 1991年 第52号	Part 3 スターダストクルセイダース	1991
52	WJ 1989年 第5・6合併号	Part 2 戦闘潮流	1989
53	WJ 1988年 第37号	Part 2 戦闘潮流	1988
54	集英社ジャンプリミックス『Part 2 戦闘潮流』第3巻 カバー用イラスト	Part 2 戦闘潮流	2005
55	WJ 1987年 第14号	Part 1 ファントムブラッド	1987
56	WJ 1987年 第13号	Part 1 ファントムブラッド	1987
57	JC 第2巻 表紙用イラスト	Part 1 ファントムブラッド	1988
■スタンド使いはひかれ合う			
58	WJ 1989年 第26号	Part 3 スターダストクルセイダース	1989
59	WJ 1990年 第30号	Part 3 スターダストクルセイダース	1990
60	WJ 1989年 第25号	Part 3 スターダストクルセイダース	1989
61	WJ 1990年 第36号	Part 3 スターダストクルセイダース	1990
62	WJ 1992年 第30号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1992
63	WJ 1992年 第43号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1992
64	WJ 1993年 第48号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1993
65	WJ 1993年 第27号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1993
66	WJ 1996年 第9号	Part 5 黄金の風	1996
67	WJ 1996年 第22-23合併号	Part 5 黄金の風	1996
68	WJ 1996年 第28号	Part 5 黄金の風	1996
69	WJ 1996年 第52号	Part 5 黄金の風	1996
70	WJ 1998年 第1号	Part 5 黄金の風	1998
71	WJ 1998年 第11号	Part 5 黄金の風	1998
72	WJ 1991年 第7号	Part 3 スターダストクルセイダース	1991
73	UJ 2016年 5月号	Part 8 ジョジョリオン	2016
74	WJ 2000年 第30号	Part 6 ストーンオーシャン	2000
75	エピソード9『ザ・ラン』WJ 2018年 第13号	『岸部露伴は動かない』	2018
76	WJ 1994年 第32号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1994
77	JC 第19巻 カバー用イラスト	Part 3 スターダストクルセイダース	1990
78	WJ 1997年 第13号	Part 5 黄金の風	1997
79	JC 第50巻 カバー用イラスト	Part 5 黄金の風	1996
80	JC『スティール・ボール・ラン』第19巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2009
81	エピソード5『富豪村』WJ 2012年 第45号	『岸部露伴は動かない』	2012
82	JC『ストーンオーシャン』第14巻 カバー用イラスト	Part 6 ストーンオーシャン	2002
83	JC 第46巻 カバー用イラスト	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1996
84	UJ 2008年 4月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2008
85	JC 第49巻 カバー用イラスト	Part 5 黄金の風	1996
86	WJ 1999年 第13号	Part 5 黄金の風	1999
87	WJ 2001年 第8号	Part 6 ストーンオーシャン	2001
88	UJ 2016年 8月号	Part 8 ジョジョリオン	2016
89	JC『ジョジョリオン』第5巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2013
90	WJ 1989年 第48号	Part 3 スターダストクルセイダース	1989
91	JC『ストーンオーシャン』第6巻 カバー用イラスト	Part 6 ストーンオーシャン	2001
92	JC『ジョジョリオン』第19巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2018
93	UJ 2019年 8月号	Part 8 ジョジョリオン	2019
94	JC『ジョジョリオン』第21巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2019
95	WJ 2001年 第11号	Part 6 ストーンオーシャン	2001
96	WJ 2001年 第8号	Part 6 ストーンオーシャン	2001
97	WJ 2000年 第44号	Part 6 ストーンオーシャン	2000
98	WJ 2000年 第27号	Part 6 ストーンオーシャン	2000
99	WJ 2001年 第13号	Part 6 ストーンオーシャン	2001

番号	作品名	シリーズ	制作年
100	UJ 2006年 1月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2006
101	UJ 2006年 5月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2006
102	UJ 2009年 4月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2009
103	UJ 2017年 3月号	Part 8 ジョジョリオン	2017
104	UJ 2013年 6月号	Part 8 ジョジョリオン	2013
105	UJ 2012年 2月号	Part 8 ジョジョリオン	2012
106	UJ 2013年 8月号	Part 8 ジョジョリオン	2013
107	UJ 2014年 5月号	Part 8 ジョジョリオン	2014
108	UJ 2016年 6月号	Part 8 ジョジョリオン	2016
109	UJ 2014年 12月号	Part 8 ジョジョリオン	2014
■ハイ・ヴォルテージ			
110	展覧会公式ビジュアル 大阪会場		2018
111	展覧会公式ビジュアル 東京会場		2018
112	展覧会公式ビジュアル 長崎会場		2019
113	展覧会公式ビジュアル 金沢会場		2019
114	WJ 1987年 第46号	Part 1 ファントムブラッド	1987
115	WJ 1989年 第14号	Part 2 戦闘潮流	1989
116	WJ 1992年 第17号	Part 3 スターダストクルセイダース	1992
117	WJ 1995年 第46号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1995
118	WJ 1999年 第11号	Part 5 黄金の風	1999
119	WJ 2003年 第16号	Part 6 ストーンオーシャン	2003
120	UJ 2010年 11月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2010
■JOJO's Design			
121	JC 第3巻 カバー用イラスト	Part 1 ファントムブラッド	1988
122	WJ 1988年 第9号	Part 2 戦闘潮流	1988
123	WJ 1988年 第42号	Part 2 戦闘潮流	1988
124	WJ 1989年 第23号	Part 3 スターダストクルセイダース	1989
125	JC 第43巻 カバー用イラスト	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	1995
126	WJ 1996年 第42号	Part 5 黄金の風	1996
127	UJ 2005年 8月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2005
128	JC 『ストーンオーシャン』第16巻 カバー用イラスト	Part 6 ストーンオーシャン	2003
129	JC 『スティール・ボール・ラン』第12巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2007
130	JC 『スティール・ボール・ラン』第23巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2011
131	WJ 2004年 第29号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2004
132	UJ 2012年 1月号	Part 8 ジョジョリオン	2012
133	UJ 2011年 5月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2011
134	JC 『スティール・ボール・ラン』第9巻 カバー用イラスト	Part 7 スティール・ボール・ラン	2006
135	UJ 2006年 8月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2006
136	UJ 2008年 4月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2008
137	UJ 2008年 4月号	Part 7 スティール・ボール・ラン	2008
138	UJ 2014年 4月号	Part 8 ジョジョリオン	2014
139	JC 『ジョジョリオン』第6巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2014
140	UJ 2016年 5月号	Part 8 ジョジョリオン	2016
141	MJ 2016年 5月号	Part 4 ダイヤモンドは砕けない	2016
142	JC 『ジョジョリオン』第4巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2013
143	JC 『ジョジョリオン』第20巻 カバー用イラスト	Part 8 ジョジョリオン	2019
144	UJ 2019年 4月号	Part 8 ジョジョリオン	2019
145	SPUR 2011年 10月号	『岸部露伴グッチへ行く』	2011
146	SPUR 2011年 10月号	『岸部露伴グッチへ行く』	2011
147	SPUR 2011年 10月号	『岸部露伴グッチへ行く』	2011
148	SPUR 2013年 2月号	『徐倫、GUCCIで飛ぶ』	2013
149	SPUR 2013年 2月号	『徐倫、GUCCIで飛ぶ』	2013

番号	作品名	シリーズ	制作年
150	SPUR 2013年 2月号	『徐倫、GUCCI で飛ぶ』	2013
	■裏切り者は常にいる		
151	新作大型原画『裏切り者は常にいる』12枚		2018
資料	「キャラクター下書き」「全体構想ドローイング」エプロン、パレット、絵の具、絵筆、色鉛筆など		
	■AURA (コラボレーション・アーティスト紹介)		
152	WOW「AURA」		2018
	■ジョジョリロン		
資料	荒木飛呂彦関連本 (単行本など15点)		
資料	UJ 2018年 8月号 ネーム原稿 (3点)、出力紙 (3点)		
資料	ラフスケッチ (2点)、身上調査書 (2点)、UJ 2018年 8月号 出力紙 (2点)		

写真展 オードリー・ヘプバーン

令和元年10月4日(金)～10月27日(日) *23日間 会場：県民ギャラリー

概要：

20世紀を代表する女優、オードリー・ヘプバーン（1929-1993）の最も輝いていた50、60年代の姿をファッション、映画、プライベートの3つをテーマに構成。カリフォルニアのmptv社の全面的な協力を得て、同社が所蔵する約1,500点に及ぶオードリーのフォトコレクションより一流のハリウッドフォトグラファーによる写真作品約150点を展示した。

開催形態：共催展（実行委員会形式／巡回展）

主催：KTN テレビ長崎、長崎県美術館

協力：mptv images

協賛：コージーコーナースミレ、LIXIL ショールーム長崎

後援：長崎県、長崎市

助成：公益財団法人長崎バス観光開発振興基金

企画制作：クレヴィス



観覧料：

一般1,000（800）円、大学生・70歳以上800（600）円

※高校生以下無料

※（ ）は、前売りおよび15名以上の団体料金。

入場者数：17,369人（1日あたり約755人）

出品点数：152点

関連企画：

(1)ウェブリポーター内覧会（無料）

日時：10月3日(木) 17:30～19:00

会場：県民ギャラリー

参加人数：95人

(2)映画『ローマの休日』上映会（無料／要観覧券）

日時：10月14日(月・祝)、10月22日(火・祝)

各日10:30～、14:00～

会場：ホール

参加人数：合計344人（14日／112人、22日／232人）

主要記事等：

・中継『ヨジマル!』KTN テレビ長崎 10月3日

・『KTN Live Newsit!』KTN テレビ長崎 10月4日

木梨憲武展 Timing - 瞬間の光り -

令和2年3月7日(土)～4月9日(木) *32日間 会場：県民ギャラリー

概要

アーティストとして高い評価を受けている木梨憲武。2018年6月、ロンドンで披露した新作を中心に絵画、ドローイング、映像、オブジェなど表現方法に縛られない作品およそ150点を展示した。作家の展覧会は、2014年度（KTN テレビ長崎、長崎県美術館主催）以来2度目の開催となった。一方で新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会期中は高校生以下の入館を制限した。また、臨時休館に伴い4月12日までの会期を変更し4月9日で終了した。

開催形態

共催展（受託／巡回展）

主催：KTN テレビ長崎、長崎県美術館

特別協力：コッカ

協賛：ソニー・ミュージックエンタテインメント

後援：長崎県、長崎市

企画制作：産経新聞社、imura art planning

観覧料

一般・大学1,100（1,000）円、中・高生800（700）円

※（ ）は、前売りおよび15名以上の団体料金。

入場者数：6,790人（1日あたり約212人）

出品点数：約150点

関連企画：

(1)ウェブリポーター内覧会（無料）

日時：3月8日(日) 18:30～20:00

会場：県民ギャラリー

参加人数：61人

主要記事等：

- ・『ヨジマル!』『KTN Live News it!』KTN テレビ長崎 3月6日
- ・『イブニング長崎』NHK 長崎放送局 3月6日
- ・『KTN Live News it!』KTN テレビ長崎 3月7日
- ・「木梨憲武さんの輝き150点 長崎新作中心に絵画など」『読売新聞』 3月27日
- ・「石だたみ」『長崎新聞』 3月30日



2) コレクション展

荒木十畝—大村市所蔵作品による

平成31年4月25日(木)～6月23日(日) *57日間 会場：常設展示室第1・2室

概要：

現在の大村市に生まれ、近代日本画壇を牽引した画家・荒木十畝（本名：悌二郎）の画業を紹介するもので、当館では初めて十畝の作品をまとめて紹介する機会となった。展示作品はすべて十畝ゆかりの地である大村市が所蔵する掛軸や屏風、下絵など45点の作品・資料で構成。画業の変遷をたどることのできる大作に加えて、みずみずしい感覚が率直に表現された下絵、写生帖を展示することで十畝の制作を多角的に紹介するものとなった。

開催形態：共催展（自主企画／単館開催）

主催：長崎県、大村市教育委員会、長崎県美術館

後援：長崎市、大村市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎県立長崎図書館、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

観覧料：コレクション展料金

入場者数：10,394人（1日あたり約182人）

出品点数：45点

関連事業：

(1)レクチャー「荒木十畝の画業と作品」（コレクション・イン・フォーカス第7回）（無料）

日時：6月9日(日) 11:00～12:00

会場：ホール

講師：松久保修平（長崎県美術館学芸員）

参加人数：48人



(2)初心者向け講座「はじめての日本画」（事前申込）

日時：6月9日(日) 13:30～15:30

会場：アトリエ

講師：牧野一穂（長崎大学教育学部 芸術表現講座 美術絵画担当）

参加費：1,000円（材料費）

参加人数：27人

(3)担当学芸員によるギャラリートーク（無料／要観覧券）

日時：4月28日(日)、5月26日(日)、6月16日(日) 各日15:00～

会場：常設展示室

参加人数：各回10～15人程度

主要記事等：

・『N スタプラス長崎』NBC長崎放送 5月6日

・『イブニング長崎』NHK長崎放送局 5月27日

・森本類「大村出身 近代日本画壇をリード 荒木十畝の画業たどる」『朝日新聞』 4月27日

・小槻憲吾「花鳥画の名手 荒木十畝展 県美術館、23日まで」『長崎新聞』 6月2日

出品リスト：

番号	作品名	制作年	素材・技法
■日本画家・荒木十畝の画業			
1	猫牡丹	明治25 (1892)	彩色・板
2	野菊に蟹	明治22頃 (c. 1889)	紙本墨画
3	藤花飛燕之図	明治30 (1897)	紙本着色
4	四十雀		紙本着色
■自然という宇宙			
5	福島県荒海川風景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
6	福島県山川風景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
7	鬼怒川風景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
8	五十里川風景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
9	中岩の景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
10	福島県山川風景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
11	境ノ岩風景	明治35 (1902)	紙本墨画淡彩
12	習作風景		紙本墨画
13	日比谷公園壇上の松	大正12 (1923)	紙本墨画淡彩
14	花鳥画金屏風	大正7 (1918)	紙本着色
15	山水画	大正3 (1914)	紙本墨画淡彩
16	朝	大正13 (1924)	紙本着色
■鳥のすがた			
17	鳥獸写生卷		紙本着色
18	鷹		紙本着色
19	柳と五位鷺	昭和9-11頃 (c. 1934-36)	紙本墨画淡彩
20	南国花鳥図	昭和9-11頃 (c. 1934-36)	紙本墨画淡彩
21	芦雁・松にかささぎ	大正4 (1915)	絹本墨画
22	松鷹図	昭和3 (1928)	紙本着色
■花のかたち			
23	芥子		紙本着色
24	牡丹		紙本着色
25	草花	昭和12 (1937)	紙本着色
26	鶏頭		紙本着色
27	朝顔	昭和10 (1935)	紙本着色
28	なすび		紙本着色
29	しゃくなげ	昭和11 (1936)	紙本着色
30	ザクロ	大正8 (1919)	紙本着色
31	ザクロ		紙本着色
32	ザクロ		紙本着色
33	酔竹画帳	大正2 (1913)	紙本着色
34	酔竹画帳	大正3 (1914)	紙本着色
35	牡丹		紙本着色
36	かきつばた		紙本着色
37	国華		紙本着色
■花鳥画の精華			
38	初夏双鶏之図		紙本着色
39	春郊双鳩図		紙本着色
40	四季花鳥 夏		絹本着色
41	秋野雙鶉	大正10 (1921)	絹本着色
42	花鳥図		紙本着色
43	月に芦雁之図	大正9 (1920)	絹本墨画
44	棕櫚と芭蕉		紙本墨画淡彩
45	双美		絹本着色

※作品はすべて大村市所蔵

津上みゆき展 View 一人の風景

令和元年 8月3日(土)～10月9日(水) *66日間 会場：常設展示室第1・2室

概要：

「View」と冠せられた風景画を一貫して描いてきた画家・津上みゆき(1973-)の九州の美術館では初となる個展。本展では、新聞に掲載される連載小説の挿絵として*、長崎に取材するなかで手掛けられた作品全54点に加え、それらを発展させて描かれた大型のタブロー6点と制作メモ1点の計61点を紹介した。なかでも長崎くんちの風景を捉えた二枚一組の横幅6mにも及ぶ大作は本展の見どころの一つとなった。みずみずしい色彩や多様な形象から構成される作家独自の世界観は観る人の種々の記憶と重なり、新たな風景画の楽しみ方を提示していたといえる。関連企画としてアーティストトークと作家本人を講師に迎えたワークショップをそれぞれ計2回ずつ異なる内容で実施。県内外から多くの来場者を集めた。

*朝井まかて著『グッドバイ』(2018年度、朝日新聞紙面に連載)

開催形態：自主企画／単館開催

主催：長崎県、長崎県美術館

後援：長崎市、長崎県教育委員会、長崎市教育委員会、長崎市立図書館、長崎新聞社、西日本新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞西部本社、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、長崎ケーブルメディア、エフエム長崎

助成：公益財団法人朝日新聞文化財団

企画協力：ANOMALY

観覧料：コレクション展料金

入場者数：9,318人(1日あたり約141人)

出品点数：61点(挿絵原画54点、絵画6点、制作メモ1点)

関連事業：

(1)アーティストトーク(無料／要観覧券)

日時：8月4日(日)、9月15日(日) 14:00～15:00

※9月15日は担当学芸員と対話形式で実施

会場：常設展示室

講師：津上みゆき(本展作家)

参加人数：いずれも約40人

(2)ワークショップ「ほぼ津上さん、長崎いまむかし」(事前申込)

①「いまもむかしも」

日時：8月3日(土) 9:00～12:00

会場：アトリエ、美術館周辺

講師：津上みゆき

参加費：2,500円(材料費)



参加人数：10人

②「ここにある」

日時：9月16日(月・祝) 13:00～16:00

場所：アトリエ

講師：津上みゆき

参加費：500円(材料費)

参加人数：16人

(3)担当学芸員によるギャラリートーク(無料／要観覧券)

日時：8月25日(日)、9月22日(日) 15:00～

会場：常設展示室(要観覧券)

参加人数：各回若干名

主要記事等：

- ・『イブニング長崎』NHK長崎放送局 9月18日
- ・森本類「長崎の風景 みずみずしく 県美術館で津上みゆき展」『朝日新聞』 8月21日
- ・野村大輔「長崎の街描いた60点 画家・津上みゆきさん 絵画展」『西日本新聞』 8月27日
- ・今野悠貴「長崎の風景抽象的に表現 県美術館で津上さん作品展」『毎日新聞』 9月5日
- ・大西若人「ざわめきや気配、まざまざと 津上みゆき展 「View—一人の風景」」『朝日新聞夕刊』 9月17日
- ・上林格「『みる人の想像力響かせたい』長崎県美術館で津上みゆき展」『朝日新聞』 9月18日

出品リスト：

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
1	From Nabekanmuri-yama, 16 Mar. 2018, 4 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆/和紙	19.5×34.5
2	Along Nakashima-gawa, 8 Oct. 18, 1:10 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆/スケッチブック	14.0×53.0
3	制作メモ/Notes related to the works			
4	View, Nagasaki Bay, afternoon, 10 Feb 2019	2019	顔料・アクリル・その他/カンヴァス	117.0×117.0
5	View, Nagasaki City, 12:50 pm, 6 Oct 18/2019	2019	顔料・アクリル・その他/カンヴァス	117.0×117.0
6	View, Nagasaki Port, Morning, 10 Feb 2019	2019	顔料・アクリル・その他/カンヴァス	117.0×117.0
7	View, the passage of time, Nakashimagawa River, 1:10 pm 8 Oct 18/2019	2019	顔料・アクリル・その他/カンヴァス	二枚一組：各158.0×300.0
8	View, the trace of time, Narutakigawa River, 2:52 pm 6 Oct 18/2019	2019	顔料・アクリル・その他/カンヴァス	259.2×194.0
9	View, Kameyama, 1:15 pm, 19 Mar. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
10	View, Oranda-zaka, noon, 16 Mar. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
11	View, Higashiyamate, 1:32 pm, 16 Mar. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
12	View, Nagasaki, 3:35 pm, 19 March, 2018	2018	顔料・アクリル・鉛筆・色鉛筆/カンヴァス	16.1×62.1
13	View, Nagasaki, 5:45 pm, 18 March 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
14	View, Kameyama, 4:50 pm, 8 Oct. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
15	View, Chaya, around 11 am, 18 Mar. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
16	View, Sakamichi, 2:18 pm, 18 Mar. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
17	View, Teramachi, 3:10 pm, 8 Oct, 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
18	View, Heifuri-zaka, upside down, 3:05 pm 8 Oct. 2018/2019	2019	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
19	View, Naka-machi, 9:30 am, 7 Oct. 2018/2019	2019	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
20	View, Nagasaki, 4 pm 16 Mar. 2018	2018	顔料・アクリル/カンヴァス	16.1×62.1
21	From Nabekanmuri-yama, 16 Mar. 2018, 3:30 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆/和紙	19.6×34.2
22	From Nabekanmuri-yama, 16 Mar. 2018, 3:30 pm	2018	顔料・アクリル・色鉛筆・鉛筆/紙	30.2×45.0
23	Sea, 4 pm, 16 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆・鉛筆/紙	30.2×45.0
24	The flow, 4 pm, 16 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆/紙	19.5×45.1
25	From Nabekanmuri-yama, Mar. 2018	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆/紙	10.0×25.7
26	A place of my own, 5 pm, 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆/紙	26.5×46.2
27	Mountains, 4 pm, 16 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆・鉛筆/紙	30.5×45.3
28	From Kami-no-shima, 5:27 pm, 18 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆/千代紙・紙	30.0×45.1
29	East and West / Prussian blue	2018	顔料・アクリル・色鉛筆・折り紙/千代紙・紙	30.3×46.6
30	A foreign house, a distance, 19 March, 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・鉛筆/千代紙・紙	27.5×39.5
31	Dejima, around 12 pm, 18 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆・鉛筆/紙	30.5×45.0
32	Glover Garden, 19 Mar. 2018	2018	水彩・色鉛筆/紙	10.5×25.7
33	Alt Garden, 19 Mar. 2018, 5:45 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆/紙	10.5×25.2
34	Dejima, 12:42 pm, 18 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆・鉛筆/唐紙・紙	23.4×39.5
35	Yokohama, around 3 pm, 16 Mar. 2019	2019	水彩・アクリル・色鉛筆・鉛筆・千代紙/布・紙	29.3×39.5
36	From a hill, 4:52 pm, 19 March 2018	2018	顔料・アクリル・水彩・千代紙/紙	27.3×39.5
37	Around Fujiya-ato, 12:52 pm, 19 Mar. 2018	2018	水彩・アクリル・パステル・色鉛筆/布・紙	27.2×39.4

番号	作品名	制作年	技法・材質	サイズ (cm)
38	Morning Sakamichi 7 Oct. 2018	2018	和紙・千代紙／紙	28.6×45.1
39	Oohato, 19 March, 3:10 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／千代紙・紙	30.0×45.1
40	From Ioujima, 18 Mar. 2018	2018	水彩・アクリル・パステル・色鉛筆・鉛筆／紙	29.6×44.7
41	Oranda-zaka, 16 Mar. 2018, 1:10 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／和紙	19.4×34.5
42	Higashiyamate, 16 Mar. 2018, 1:40 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	10.3×32.7
43	Oohato, 4 Aug. 2018, 6:45 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／和紙	23.1×38.0
44	Sakura, March 2019	2019	墨・水彩・鉛筆／和紙	17.4×49.0
45	Nagasaki Yokohama, 2018/2019	2019	墨・水彩・ペン・鉛筆／和紙	18.2×50.6
46	A place of my own, 5 pm, 19 March 2018	2018	水彩・鉛筆／紙	30.1×41.2
47	Sea 2018	2018	墨・鉛筆／和紙	35.0×52.0
48	Michi Hatake, around 3 pm, 17 Mar. 2018	2018	水彩・アクリル・色鉛筆・鉛筆／紙	30.2×45.2
49	Tawarazaka, around 5 pm, 17 March 2018	2018	顔料・アクリル・パステル・色鉛筆・鉛筆／千代紙・紙	27.7×39.5
50	Ookusu, 19 March, 9 am	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	10.3×25.2
51	Ureshino, 17 Mar. 2018	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	10.3×32.4
52	Suwa, 19 Mar. 2018, 8:45 am	2018	色鉛筆・鉛筆／紙	10.2×17.4
53	Omura-wan, 17 Mar. 2018, 6:06 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	14.1×18.5
54	Sekisyo Ato, 17 Mar. 2018	2018	鉛筆／紙	14.1×18.5
55	Takahiramachi, 18 Mar. 2018, 9:38 am	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	14.1×18.5
56	Sonogi, 17 Mar. 2018, 1:50 pm	2018	水彩・コンテ・色鉛筆・鉛筆／紙	14.1×18.5
57	Sonogi, 17 Mar. 2018, 1:52 pm	2018	水彩・色鉛筆・鉛筆／紙	14.1×18.5
58	Around Megane-bashi, 18 March 2018	2018	墨・鉛筆／和紙	30.8×47.0
59	A highway, A tea field, Sakamoto, 17 March 2018, 5:24 pm	2018	顔料・アクリル・パステル／色柄紙・紙	26.5×44.9
60	Sakura trees, March 2019	2019	墨・水彩／和紙	11.2×43.3
61	View, passing time, Nabekanmuri-yama, 4 pm 16 Mar 18/2019	2019	顔料・アクリル・その他／カンヴァス	162.3×194.0

収蔵名品展

令和元年 6月26日(水)～7月30日(火)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0210	彭城貞徳	和洋合奏之図
2	A2イ0001	彭城貞徳	九十九島・月夜の景
3	A2イ1034	山本森之助	フランスの田舎
4	A2イ1040	山本森之助	街角
5	A2イ0159	村田タマ	磯遊び
6	A2イ0003	渡辺(宮崎)与平	金さんと赤
7	A2イ0270	渡辺(宮崎)与平	白日
8	A2イ1044	横手貞美	静物
9	A2イ1094	横手貞美	ヴェトゥイユ風景
10	A2イ0268	永見徳太郎	朝のヒマラヤ(印度)
11	A2イ0271	永見徳太郎	赤道近くの海
12	A2イ1036	古賀春江	彦山図
13	A2イ1072	野口彌太郎	画室の女
14	A2イ0239	野口彌太郎	A夫人の気質
15	A2イ1023	棟方志功	長崎公園隅景
16	A2イ0025	中川一政	長崎マリア園
17	A2イ0027	小山敬三	浦上聖堂
18	A2イ1101	今村春吉	窓
19	A2イ0148	山中清一郎	平戸の教会
20	A2イ0008	池野清	鳩笛たち
21	A2イ0251	池野清	樹
22	A2ロ0557	彭城貞徳	飛驒山脈山麓風景
23	A2ロ0070	古賀春江	窓外風景
24	A2ロ0199	野口彌太郎	農家の庭
25	A2ロ0010	鈴木信太郎	東山手
26	A2ロ0007	小磯良平	東山手
27	A2ロ0040	鴨居玲	狂候えよ
28	A2イ0302	鴨居玲	私の話を聞いてくれ
29	A2イ1073	鴨居羊子	ミモザ嬢(自画像)
30	A2イ0791	鴨居羊子	終演
31	Bニ0010	水谷鏡也	うさぎ
32	Bイ0007	舟越保武	Lola
33	A1イ0170	荒木十畝	早春
34	A1イ0098	荒木十畝	鳳凰
35	A1イ0220	栗原玉葉	葛の葉
36	A1イ0186	栗原玉葉	尼僧(童貞)
37	A1イ0243	栗原玉葉	遊女の図
38	A1イ0123	栗原玉葉	秋草美人図
39	A1イ0244	江上瓊山	青緑松林山水図
40	A1イ0245	江上瓊山	青緑松谿孤亭図
41	A1イ0261	松尾敏男	雪中花
42	A1イ0215	松尾敏男	巴里
43	A1イ0269	丸木位里・俊	母子像 長崎の図
44	Dハ A1100	森正洋	平形めし茶碗

長崎ゆかりの美術—工芸

令和元年10月18日(金)～令和2年1月5日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	Dハ A0095	中里三猿	染付浮上鶴鳴図花筒
2	Dハ A0256	中里三猿	染付色浮上鬼灯文花瓶
3	Dハ A0258	中里三猿	染付浮上柳鷺文浅鉢
4	Dハ A0023	中里三猿他	絵手本（陶磁器意匠伝習所時代）
5	Dハ A0481	中里末太郎（陽山）	染付牡丹唐草文皿
6	Dハ A0415	中里末太郎（陽山）	染付菊萩文徳利
7	Dハ A0403	中里末太郎（陽山）	染付大樹文花瓶
8	Dハ A0412	中里末太郎（陽山）	染付桃文花瓶
9	F口0022	中里末太郎（陽山）	染付大樹花瓶下絵
10	F口0022	中里末太郎（陽山）	染付桃文花瓶下絵
11	Dハ A0122	二代中里雅松	染付唐子絵皿
12	Dハ A0184	中里勝歳	白磁染付唐子大皿
14	Dハ A0118	中里安吉郎	白磁円形菊細工額皿
13	Dハ A0117	中里安吉郎	白磁菊細工香炉
15	Dハ A0251	今村均	菊細工手桶水指
16	Dハ A276	口石長山	白磁牡丹菊籠目香炉
17	Dハ A0030	口石長三	白磁龍巻香炉
18	Dハ A0465	中里末太郎（陽山）	染付菊萩文蓋碗
19	Dハ A0454	中里末太郎（陽山）	染付菊紋章入碗、皿
20	Dハ A0468	中里末太郎（陽山）	金彩唐草コーヒーポット、シュガーポット、ミルク入れ
21	Dハ A0467	中里末太郎（陽山）	コーヒー・紅茶碗（受皿付）
22	Dハ A0458	中里末太郎（陽山）	白磁薄手陰刻波千鳥文鉢
23	Dハ A0460	中里末太郎（陽山）	染付薄手壽字陰刻牡丹文鉢
24	Dハ A0119	十二代横石臥牛	刷毛目潮文鉢
25	Dハ A0006	十二代横石臥牛	ふちなぶり鷺文皿
26	Dハ A0003	十二代横石臥牛	木原写茶碗
27	Dハ A0005	十二代横石臥牛	刷毛目深鉢
28	Dハ A0004	十二代横石臥牛	ススキ文絵皿
29	Dハ A0071	十三代横石臥牛	刷毛目藤絵鉢
30	Dハ A0072	十三代横石臥牛	刷毛目薄絵向付

※番号4の作品のみ、長崎歴史文化博物館蔵

■常設展示室 3

須磨コレクション 1

平成31年 3月26日(火)～令和元年 7月21日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0097	リカルド・パローハ	霧
2	A2イ0098	リカルド・パローハ	レコレートス通り
3	A2イ0099	リカルド・パローハ	シウダー・リアル
4	A2イ0554	リカルド・パローハ	メモリア門
5	A2イ0555	リカルド・パローハ	道の下
6	A2イ0556	リカルド・パローハ	勇敢なる13人
7	A2イ0616	リカルド・パローハ	キャンプ
8	A2イ0688	リカルド・パローハ	喧嘩
9	A2イ0095	ホセ・グティエレス・ソラーナ	仮面たち
10	A2イ0121	ホセ・グティエレス・ソラーナ	死神と仮面
11	A2イ0476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち
12	A2イ0477	ホセ・グティエレス・ソラーナ	アスファルト作業員
13	A2イ0094	ダニエル・バスケス・ディアス	人気闘牛士たち
14	A2イ0136	ダニエル・バスケス・ディアス	きこりのホルへ
15	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像
16	A2イ0559	ダニエル・バスケス・ディアス	イスパニダー記念聖堂
17	A2イ0630	ダニエル・バスケス・ディアス	吉彌枝の肖像

須磨コレクション 2

令和元年 7月23日(火)～12月 8日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0108	作者不詳 (スペイン)	キリストの鞭打ち
2	A2イ0109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ
3	A2イ0110	作者不詳 (アラゴン派)	聖母の戴冠
4	A2イ0111	作者不詳 (カステイリャ派)	聖母の嘆き (ピエタ)
5	A2イ0112	ベレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ
6	A2イ0114	作者不詳 (カステイリャ派あるいはアラゴン派)	ゲッセマネの祈り
7	A2イ0115	作者不詳 (カタルーニャ派)	キリストの磔刑
8	A2イ0130	作者不詳 (カステイリャ派)	巡礼者聖ヤコブ
9	A2イ0131	作者不詳 (カステイリャ派)	聖バルトロマイ
10	A2イ0132	作者不詳 (カステイリャ派)	聖セバスティアヌス
11	A2イ0133	作者不詳 (カステイリャ派)	ゲッセマネの祈り
12	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像
13	A2イ0142	作者不詳 (カステイリャ派あるいはアンダルシア派)	聖母と眠れる幼児キリスト
14	A2イ0143	作者不詳 (スペイン)	この人を見よ
15	A2イ0516	作者不詳 (フランドル?)	聖母子
16	A2イ0517	作者不詳 (アラゴン派あるいはカタルーニャ派)	聖ステパノ
17	A2イ0519	作者不詳 (スペイン)	聖アンデレ
18	A2イ0520	作者不詳 (スペイン)	聖ユダ
19	A2イ0522	作者不詳 (スペイン)	聖パウロ
20	A2イ1066	ファン・カレーニョ・デ・ミランダ	聖アンナ、聖ヨアキム、洗礼者聖ヨハネのいる聖母子
21	B口0006	作者不詳 (スペイン)	慈悲の聖母
22	B口0013	作者不詳 (スペイン)	悲しみの聖母

須磨コレクション 3

令和元年12月10日(火)～令和2年4月12日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月10～12日は休館

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0109	トラルバの画家	洗礼者聖ヨハネ
2	A2イ0112	ペレーアの画家	洗礼者聖ヨハネ
3	A2イ0101	ファン・パントーハ・デ・ラ・クルス	フエンテス伯爵
4	A2イ0069	作者不詳（スペイン、ファン・パントーハ・デ・ラ・クルスの周辺）	フェリペ二世
5	A2イ0103	作者不詳（カステイリャ派）	サンティアゴ騎士団員の肖像
6	A2イ0527	ミゲル・ハシント・メレンデス？	フェリペ五世
7	A2イ0362	ルイ＝ミシェル・ヴァン・ローと工房	フェルナンド6世
8	A2イ0362-2	ルイ＝ミシェル・ヴァン・ローと工房	バルバラ・デ・ブラガンサ
9	A2イ0529	作者不詳（スペイン）	貴婦人の肖像
10	A2ロ0090	マリアノ・フォルトゥーニ	絵を描く女
11	A2ロ0110	マリアノ・フォルトゥーニ	人物習作
12	A2ロ0092	アンセルモ・デ・ギネア・イ・ウガルデ	庭園の女
13	A2イ0546	リカルド・バラカ・イ・カンセコ	エバ・バラカ
14	A2イ0548	リカルド・デ・ビリョーダス	画家の妻、アントニア・レビーリャ
15	A2イ0474	イグナシオ・ピナソ・カマルレンク	裸の子供
16	A2イ0550	エミリオ・サラ	カシーノ・デ・マドリードの装飾画の習作
17	A2イ0100	マヌエル・ベネディート・ビバス	裸婦
18	A2イ0476	ホセ・グティエレス・ソラーナ	軽業師たち
19	A2イ0141	ダニエル・バスケス・ディアス	須磨彌吉郎の肖像
20	A2イ0759	ダニエル・サパテル・イ・サラベルト	サロメ
21	A2イ0567	アントニオ・ゴメス・カーノ	眠る女

■常設展示室 4

ミロ、タピエス、ブロッサの版画

平成31年4月23日(火)～令和元年6月23日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名	備考
1	A3ロ0432	ジョアン・ミロ	ミロの星とともに	
2	A3ロ0098	瀧口修造／アントニ・タピエス	物質のまなざし	全12点（リトグラフ）
3	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
4	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	エステル（星）	
5	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
6	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
7	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
8	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
9	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
10	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	
11	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	方位磁針	
12	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	ツヴァイ(2)	
13	A3ロ0089	ジョアン・ブロッサ	視覚詩	

2018年度新収蔵品より——田川憲

令和元年 6月25日(火)～9月8日(日)

主要記事等：

- ・『イブニング長崎』NHK 長崎放送局 8月19日
- ・『ナガサキナビゲーター ヒルミテ』NHK 長崎放送局 9月3日

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A3ロ0477	田川憲	大浦天主堂
2	A3ロ0476	田川憲	砂丘の女
3	A3ロ0478	田川憲	南山手六番
4	A3イ0200	田川憲	花月引田屋蘭人遠眼鏡図
5	A3ロ0479	田川憲	花月唐人の間
6	A3ロ0480	田川憲	花の風土
7	A3イ0201	田川憲	花の風土
8	A3イ0202	田川憲	雲仙地獄切支丹迫害図
9	A3ロ0481	田川憲	滞船
10	A3ロ0486	田川憲	滞船
11	A3ロ0483	田川憲	石組み
12	A3ロ0482	田川憲	原爆への意志—浦上天主堂
13	A3ロ0484	田川憲	天のみどう再建
14	A3ロ0487	田川憲	オークションの店
15	A3ロ0488	田川憲	居留地の花
16	A3ロ0489	田川憲	原生沼かきつばた群落
17	A3ロ0485	田川憲	季節風の港
18	A3ロ0490	田川憲	飛龍の屋根
19	A3イ0199	田川憲	長崎の谷
20	A3ロ0491	田川憲	長崎の谷

参考出品 額布時のタトゥ 7点

山本森之助が描いた日本の山の風景

令和元年 9月10日(火)～11月10日(日)

主要記事等：

- ・小槻憲吾「明治から昭和に活躍 風景画の第一人者 山本森之助 妥協なき写真」『長崎新聞』10月6日

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0213	山本森之助	山
2	A2イ0189	山本森之助	溪流
3	A2イ0191	山本森之助	残雪
4	A2イ1043	山本森之助	残雪（日本アルプス）
5	A2イ1068	山本森之助	妙義山
6	A2ロ0501	山本森之助	妙義山（スケッチ）
7	A2イ0195	山本森之助	戦場ヶ原
8	A2イ1022	山本森之助	冬山
9	A2イ0041	山本森之助	中禅寺湖
10	A2イ0144	山本森之助	凍れる華厳
11	A2イ0490	山本森之助	樹林
12	A2イ1116	山本森之助	松原湖
13	A2イ1133	山本森之助	瀧

関連資料 『日本名勝写生紀行』（中西屋書店、第1～5巻）

■常設展示室 4

長崎とキリスト教

令和元年11月12日(火)～令和2年1月13日(月・祝)

主要記事等：

・『イブニング長崎』NHK 長崎放送局 11月14日

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	H イ0002	東松照明	爆風により崩壊した浦上天主堂の天使像
2	H イ0004	東松照明	浦上天主堂の天使像
3	H イ0007	東松照明	浦上天主堂のキリスト像
4	H イ0107	東松照明	渡辺モトさん2
5	H イ0512	東松照明	浦上天主堂の天使像
6	H イ0015	東松照明	片岡津代さん1
7	H イ0581	東松照明	片岡津代さん
8	H イ0170	東松照明	隠れキリシタンの行事 3 御産待ち
9	H イ0135	東松照明	絵踏みに使われたキリスト像
10	B ハ0082	舟越保武	原の城
11	A2ロ0498	舟越保武	聖フェリッペ・デ・ヘスス
12	A2ロ0494	舟越保武	聖ペトロ・バプチスタ
13	A2ロ0492	舟越保武	聖パウロ三木
14	A2ロ0490	舟越保武	聖ルドビコ茨木 (ルドビコ白衣)
15	A2イ0015	小川緑	追憶

「荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋」開催記念 荒木飛呂彦先生セレクション 梶島勝一展

令和2年1月15日(水)～3月29日(日)

主要記事等：

『KTNLiveNewsit!』KTN テレビ長崎 1月16日

「挿絵画家 梶島勝一の34点」『長崎新聞』 1月31日

番号	講談社 NO.	収蔵番号	作者名	作品名
1	講談社より寄託	04062-06	梶島勝一	「敵中横断三百里」のための挿絵原画
2	講談社より寄託	04062-10	梶島勝一	「敵中横断三百里」のための挿絵原画
3	講談社より寄託	04062-13	梶島勝一	「敵中横断三百里」のための挿絵原画
4	講談社より寄託	04062-27	梶島勝一	「敵中横断三百里」のための挿絵原画
5	講談社より寄託	04064-32	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
6	講談社より寄託	04064-37	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
7	講談社より寄託	04064-48	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
8	講談社より寄託	04064-49	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
9	講談社より寄託	04064-57	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
10	講談社より寄託	04064-86	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
11	講談社より寄託	04064-90	梶島勝一	「亜細亜の曙」のための挿絵原画
12	講談社より寄託	10583-07	梶島勝一	「大東の鉄人」のための挿絵原画
13	講談社より寄託	04067-03	梶島勝一	「浮かぶ飛行鳥」のための挿絵原画
14	講談社より寄託	10201-12	梶島勝一	「太平洋魔城」のための挿絵原画
15	講談社より寄託	10201-11	梶島勝一	「太平洋魔城」のための挿絵原画
16	講談社より寄託	10201-24	梶島勝一	「太平洋魔城」のための挿絵原画
17	講談社より寄託	00282-03	梶島勝一	世界名作物語『ロビンソン漂流記』（講談社）のための挿絵原画
18	講談社より寄託	11639-07	梶島勝一	「敵艦隊撃滅」のための挿絵原画
19	講談社より寄託	06171-01	梶島勝一	『支那事変海軍大画報』（講談社）のための挿絵原画
20	講談社より寄託	06501-01	梶島勝一	『国史絵巻』（講談社）のための挿絵原画
21	講談社より寄託	08012-02	梶島勝一	『アメリカめぐり』（講談社）のための挿絵原画
22		A2口0536	梶島勝一	「密林の王者」のための挿絵原画
23		A2口0539	梶島勝一	「密林の王者」のための挿絵原画
24		A2口0554	梶島勝一	娘・基子の死
25	講談社より寄託	30952-01	梶島勝一	船
26	講談社より寄託	31400-01	梶島勝一	メキシコのオオカミ（動物ペン画集その4）
27	講談社より寄託	31401-01	梶島勝一	クーズー（動物ペン画集 その6）
28	講談社より寄託	31590-01	梶島勝一	アメリカインディアンの酋長
29	講談社より寄託	39320-04	梶島勝一	単行本『絵ものがたり正ちゃんのぼうけん（2）』扉原画
30	講談社より寄託	39320-06	梶島勝一	単行本『絵ものがたり正ちゃんのぼうけん（2）』見返し原画
31	講談社より寄託	39320-03	梶島勝一	単行本『絵ものがたり正ちゃんのぼうけん（2）』口絵原画
32	講談社より寄託	39320-07、08	梶島勝一	単行本『絵ものがたり正ちゃんのぼうけん（2）』のための挿絵原画
33	講談社より寄託	04068-01	梶島勝一	単行本『黒將軍快々譚』装幀（表）原画
34	講談社より寄託	04070-01	梶島勝一	単行本『太平洋魔城』装幀原画
特別 出品	荒木飛呂彦氏蔵			『梶島勝一名画集』（講談社）

■常設展示室 5

スペイン近現代美術 1

平成31年 3月26日(火)～令和元年 7月21日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0246	パブロ・ピカソ	静物
2	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
3	A2イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
4	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
5	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬
6	A3イ0075	アントニ・クラベ	手袋のアッサンブラージュ
7	A2イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土
8	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンプозиション
9	Bハ0016	ハビエル・コルベロ	静止の世界
10	A2イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ
11	A2イ0479	エドゥアルド・ナランホ	自画像 「私は七月に犬の頭蓋骨を描いている」
12	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの樂園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
13	A2ニ0100	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
14	A2ニ0101	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
15	A2口0512	マヌエル・フランケロ	無題

スペイン近現代美術 2

令和元年 7月23日(火)～12月 8日(日)

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：来るべきものへの悲しき予感
2	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：同じことだ
3	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：どうしても嫌だ
4	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：戦争の惨害
5	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：可哀そうなお母さん！
6	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：ほどこす手もなく、彼は死んだ
7	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：彼女はよみがえるだろうか？
8	A2イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
9	A2イ0513	パブロ・ピカソ	鳩のある静物
10	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬
11	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待って欲しいと頼む
12	A2イ0247	アントニ・タピエス	茶の上の黄土
13	A2ニ0085	アントニ・タピエス	身体のコンプозиション
14	A2イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ
15	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの樂園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
16	A2ニ0100	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
17	A2イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）
18	A2口0512	マヌエル・フランケロ	無題

スペイン近現代美術 3

令和元年12月10日(火)～令和2年4月12日(日)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため令和2年4月10～12日は休館

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：女たちは勇気をあたえる
2	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：やはり野獣だ
3	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：何と勇敢な！
4	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：嫌なのだ
5	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：茶碗一杯が何になろう？
6	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：山積みにして墓地へ
7	A3イ0081	フランシスコ・デ・ゴヤ	戦争の惨禍：これは何の騒ぎだ？
8	A2イ0240	ジョアン・ミロ	絵画
9	A2イ0513	バブロ・ピカソ	鳩のある静物
10	A2イ0294	アントニ・クラベ	埋葬
11	A2イ0258	サルバドール・ダリ	海の皮膚を引きあげるヘラクレスがクピドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待つて欲しいと頼む
12	A2イ0247	アントニ・タビエス	茶の上の黄土
13	A2ニ0085	アントニ・タビエス	身体のコンプозиション
14	A2イ0308	アントニオ・ロベス	フランシスコ・カレテロ
15	A2イ1038	エドゥアルド・アロージョ	ハエの楽園、あるいはヴァルター・ベンヤミンのボル・ボウでの最期
16	A2ニ0100	ホセ・マリア・シシリア	消えゆく光
17	A2イ1039	アントニオ・ムラド	ディプティック（赤と灰色）
18	A2ロ0512	マヌエル・フランケロ	無題

4. 教育普及事業・生涯学習事業

1) 展覧会関連企画

(1)企画展「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」関連企画

①ガウディ風マグネットをつくろう

ガウディが建築したカザ・バットリョー (Casa Batlló) の外壁をイメージしたマグネットをつくった。

日時：4月20日(土)、21日(日)

10:30～12:30、14:00～16:30

会場：アトリエ

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：ひとり100円

参加者数：318人

②いえとまちをつくろう

小さな家づくり、まちを模したジオラマ上に並べて、参加者全員で小さなまちをつくった。最後に自分で作った家をプロジェクターで拡大投影して記念写真が撮れるようにした。

日時：5月18日(土)、19日(日)

10:30～12:30、14:00～16:00

会場：アトリエ ※作品展示はエントランスロビー

対象：子ども～大人

募集方法：事前申込 (各回15組)

参加費：無料

参加者数：30組89人

(2)コレクション展「荒木十畝展」関連企画

初心者向け講座「はじめての日本画」

初心者向けの基礎講座。簡単な説明から小作品づくりまでを行うワークショップ。

日時：6月9日(日) 13:30～15:30

会場：アトリエ

講師：牧野一穂 (長崎大学教育学部芸術表現講座美術絵画担当)

対象：中学生以上

募集方法：事前申込

参加費：1,000円

参加者数：27人



(3)コレクション展「津上みゆき展」関連企画

ほぼ津上さん、長崎いまむかし

①いまもむかしも

地形や地名、風景など、今と昔の長崎を見つめ、接点を発見しながら鉛筆を使ってスケッチをするワークショップ。

日時：8月3日(土) 9:00～12:00

会場：アトリエ、美術館周辺

講師：津上みゆき

対象：小学5年生以上～一般※小学生は保護者同伴



募集方法：事前申込

参加費：2,500円

参加者数：10人

②ここにある

「お祭りってどんな色？」長崎にまつわる質問から心に浮かんだ風景を、江戸時代より伝わる長崎の和紙「湯江紙」に描くワークショップ。

日時：9月16日(月・祝) 13:00~16:00

会場：アトリエ

講師：津上みゆき

対象：小学5年生以上~一般 ※小学生は保護者同伴

募集方法：事前申込

参加費：500円

参加者数：16人

協力：湯江紙を復活させる会

(4)コレクション展関連企画

①連続レクチャー「コレクション・イン・フォーカス」

当館学芸員および専門家によるレクチャー。各回とも主に所蔵作品・作家に関するテーマを設定。長崎ゆかりの美術やスペイン美術に対する一般の関心を高めるとともに、開催中の展覧会への理解を深めることを目的とする。

時間：11:00~(約60分程度)

会場：講座室(第3回、第7回はホール)

募集方法：当日受付

参加費：無料

参加者数：508人(全16回合計)

開催日及び内容：下表の通り



	開催日	内 容	講 師	参加者数
第1回	4月14日(日)	都市の拡張とバルセロナ万博	野中 明	37
第2回	4月21日(日)	国際都市バルセロナの光と影	稲葉 友汰	45
第3回	5月12日(日)	講演：パリへの憧憬と近代カタルーニャ絵画の巨匠たち 11:00~12:30	木下 亮 (昭和女子大学教授)	85
第4回	5月19日(日)	四匹の猫と若きピカソの芸術	稲葉 友汰	33
第5回	5月26日(日)	知られざるノウサンティズマ - 地中海への眼差し	稲葉 友汰	28
第6回	6月2日(日)	前衛美術の勃興、そしてスペイン内戦へ	野中 明	27
第7回	6月9日(日)	荒木十畝の画業と作品	松久保修平	48
第8回	7月14日(日)	森正洋の陶磁器デザイン	川口 佳子	24
第9回	8月11日(日)	画家たちの長崎風景	松久保修平	19
第10回	10月6日(日)	山本森之助の風景画	森園 敦	23
第11回	10月20日(日)	ボルタンスキーをめぐる旅1	福満 葉子	47
第12回	11月17日(日)	ボルタンスキーをめぐる旅2	福満 葉子	37
第13回	12月15日(日)	三川内焼の伝統技術	川口 佳子	16
第14回	1月5日(日)	バレーアの画家とスペイン・ゴシックの転換期	稲葉 友汰	20
第15回	2月16日(日)	スペイン内戦とミロ	野中 明	19
第16回	3月8日(日)	梶島勝一の画業	森園 敦	中止

2) こどもアートクラブ

小学生を対象としたクラブ活動形式の美術体験プログラム（年6回開催）。「まなぶ・つくる・深める」をテーマに、展示室での作品鑑賞や美術館の環境や役割を学ぶ館内ツアー、展覧会に関連した制作などを実施。

期間：6月～12月（全6回） 10：15～12：30

会場：アトリエ、企画展示室、常設展示室、館内各所ほか

対象：小学生（1～6年生）

募集方法：事前申込

参加費：3,000円（全6回分）

参加者数：各回30人、延べ156人

開催日及び内容：

	開催日	タイトル	内容
第1回	6月8日(土)	オリエンテーション 美術館たんけん・バックヤードツアー	オリエンテーション、表現プログラム「線のおさんぽ」で共同制作をし、館内を探検し美術館への理解を深めた。
第2回	7月13日(土)	素材と向き合う・コラージュあそび	音楽に合わせてオイルパステルで絵を描いたり、コラージュの技法を用いたりして作品をつくった。
第3回	8月24日(土)	カメラ・オブスキュラをつくろう	16世紀頃のヨーロッパの画家が作品制作時に使用していたといわれるカメラ・オブスキュラと同じ原理のものを、段ボールで制作した。
第4回	9月21日(土)	画家の気分で描いてみよう	アートカードを使ってコレクション作品の鑑賞を行った。また津上みゆき「View一人の風景」展の作品鑑賞と、和紙や顔彩、水彩絵の具を使ったさまざまな表現を体験した。
第5回	11月16日(土)	影絵インスタレーション	「クリスチャン・ボルタンスキー—Lifetime」展の鑑賞後、動体光源による影絵表現を用いたインスタレーション作品を共同で制作した。
第6回	12月7日(土)	やってみよう！銅版画	銅版画家の池田俊彦氏を講師に招き、銅版画の腐食や刷りなどの制作工程を実際に体験し理解を深めた。また、コレクション展のゴヤの銅版画作品も鑑賞した。

3) 移動美術館

美術館までの来館が困難な遠隔地の県民に対して作品鑑賞の機会を提供する事業。展覧会と併せてワークショップ等を実施し、幅広く芸術文化に親しむことのできる内容となった。

(1) 移動美術館 in 雲仙市

会期：9月10日(火)～19日(木) 10:00～18:00

会場：吾妻町ふるさと会館多目的ホール（雲仙市吾妻町牛口名537-1）

入場料：無料

出品点数：35点

入場者数：750人

主催：雲仙市教育委員会、雲仙市文化会館自主事業振興会、長崎県美術館

関連事業：

①オープニング

日時：9月10日(火) 10:00～10:20

会場：吾妻町ふるさと会館多目的ホール（展示室）

参加者数：50人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：9月10日(火) 10:20～11:00

会場：吾妻町ふるさと会館多目的ホール（展示室）

参加者数：50人

③ワークショップ「ガウディ風マグネットをつくろう」

日時：9月14日(土) 13:30～14:30

会場：吾妻町ふるさと会館2階研修室

参加者数：42人

④鑑賞教室

日時：9月10日(火) 13:30～14:30

9月10日(火) 14:30～15:00

9月11日(水) 13:50～15:00

会場：吾妻町ふるさと会館多目的ホール（展示室）

参加者数：149人

⑤ピアノデュオコンサート

※雲仙市文化会館自主事業振興会が主体となり実施

日時：9月14日(土) 15:00～16:00

会場：吾妻町ふるさと会館多目的ホール（展示室）



出品リスト

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0210	彭城貞徳	和洋合奏之図
2	A2イ1034	山本森之助	フランスの田舎
3	A2イ0003	渡辺 [宮崎] 与平	金さんと赤
4	A2イ0216	野口彌太郎	長崎の夕ぐれ
5	A2ロ0022	野口彌太郎	雲仙嶽
6	A2イ0250	野口彌太郎	漁港（島原）
7	A2イ0776	青山龍水	雲仙
8	A2イ0768	青山龍水	山の街（イタリー）
9	A2イ0369	西本親雄	サリーの女
10	A2イ1112	山中清一郎	室内
11	A2イ0148	山中清一郎	平戸の教会
12	A2イ1115	山中清一郎	阿蘇草千里

13	A2イ0363	山中凱和	滞船
14	Hイ0093	東松照明	あれから6年2 / 島原市
15	Hイ0163	東松照明	キャラクターP7 / 南高来郡・吾妻町
16	Hイ0358	東松照明	無題 / 島原市
17	Hイ0111	東松照明	温泉1 / 島原半島・小浜町
18	A2イ0073	作者不詳 (マドリッド派)	祈る姿の王妃イサベル・デ・ボルボンと王女マリア・テレサ (?)
19	A2イ0076	作者不詳 (セビーリャ派)	十字架を担う幼児キリスト
20	A2イ0086	エウヘニオ・ルーカス・ベラスケス	貧者の聖体拝領
21	A3口0430	パブロ・ピカソ	女の顔
22	A3口0092	サルバドール・ダリ	『抜録 ドン・キホーテ』の挿絵 (原子力時代)
23	A3口0092	サルバドール・ダリ	『抜録 ドン・キホーテ』の挿絵 (聖母)
24	A3口0092	サルバドール・ダリ	『抜録 ドン・キホーテ』の挿絵 (ドン・キホーテ)
25	A3口0054-003	マルク・シャガール	サーカス (緑の馬の上の女曲馬師)
26	A3口0054-005	マルク・シャガール	サーカス (恋人たち)
27	A3口0054-009	マルク・シャガール	サーカス (大きな道化師)
28	Bハ0082	舟越保武	原の城
29	DハA0145	馬淵龍石	刷毛目文菓子鉢
30	DハA1051	本多親基	染付萩葵文湯飲
31	DハA1053	本多親基	漢詩文入手焙り
32	DハA0417	中里陽山 (末太郎)	染付菊鳳凰文蓋物
33	DハA0468	中里陽山 (末太郎)	金彩唐草コーヒーポット、シュガーポット、ミルク入れ
34	DハA0467	中里陽山 (末太郎)	コーヒー・紅茶碗 (受皿付)
35	DハA0172	森正洋	G型しょうゆさし

(2)移動美術館 in 島原市

会期：12月10日(火)～19日(休) 10：00～16：00

会場：雲仙岳災害記念館 (がまだすドーム) 1階イベント
スペース (島原市平成町1-1)

入場料：無料

出品点数：18点

入場者数：2,039人

主催：雲仙岳災害記念館、長崎県美術館

関連事業：

①オープニング

日時：12月10日(火) 10：00～10：30

会場：がまだすドーム1階イベントスペース

参加者数：25人

②学芸員によるギャラリートーク

日時：12月10日(火) オープニングセレモニー終了後

会場：がまだすドーム1階イベントスペース

参加者数：25人

③ワークショップ「デコレーションハウスをつくろう」

日時：12月15日(日) 11：00～12：00

会場：がまだすドーム2階ワンダーラボ

対象：小学生

募集方法：事前申込

参加者数：38人

④子ども鑑賞教室

日時：12月15日(日) 12：00～12：30

会場：がまだすドーム1階イベントスペース

対象：小学生

募集方法：事前申込

参加者数：20人

⑤木のプール

期間：展覧会会期中

会場：がまだすドーム1階

出品リスト

番号	収蔵番号	作者名	作品名
1	A2イ0164	山下純司	伊太利風景
2	A2イ0768	青山龍水	山の街（イタリー）
3	A2イ0348	山本森之助	河畔の村と冬木立
4	A2イ0497	横手貞美	モンマルトルの道
5	A2イ0238	野口彌太郎	カフェーのテラス
6	A2ロ0192	鴨居玲	パリ風景
7	A2イ0254	野口彌太郎	フラメンコ
8	A2イ0295	鴨居玲	宝くじ売り
9	A2イ0539	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ポントン・デ・ラ・オリバのダム
10	A2イ0540	ニコラス・カバニェーロ	イサベル二世運河、ラ・シマの水道橋
11	A2イ0098	リカルド・パローハ	レコレートス通り
12	A2イ0099	リカルド・パローハ	シウダー・レアル
13	A3ロ0083	ジョアン・ミロ	マジョルカ・シリーズ 1
14	A3ロ0083	ジョアン・ミロ	マジョルカ・シリーズ 2
15	A3ロ0083	ジョアン・ミロ	マジョルカ・シリーズ 3
16	A3ロ0083	ジョアン・ミロ	マジョルカ・シリーズ 4
17	Bノ0059	富永直樹	大将の椅子
18	Bノ0022	富永直樹	タロ・ジロの像

4) みんなのアトリエ

(1)春のぼかぼか美術館 キッズふれアート はじめてミュージアム

幼稚園・保育園の子どもを持つ親子向けの催しを集約的に開催することにより、ゴールデンウィークにおける県内外の家族連れの誘致を目的とした恒例の季節イベント。本年度は「キラキラ」・「光」・「虹」・「明かり」をテーマに様々なイベントを開催した。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

10:00～16:00 (⑬のみ10:00～19:00)

会場：アトリエ、講座室、ホール、エントランスロビー、常設展示室、運河劇場他

対象：県内外の家族連れ（主に未就学児とその保護者）

募集方法：当日受付

参加費：無料 (⑭のみ有料)

参加者数：合計11,778人

①プレイベント「みんなで光のカーテンをつくろう」

カラーセロハンやミラー加工の材料を使い、光を反射する「光のカーテン」をつくった。

日時：4月28日(日) 11:00～15:00

会場：エントランスロビー

参加費：無料

参加者数：64人

②セカイを描こう！

イラストレーターの福田利之氏と一緒に、特に未就学児の親子連れが一緒になって海や空や森の世界を描いた。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 10:00～16:00

会場：アトリエ

講師：福田利之（イラストレーター）

参加者数：1,898人

③オリガミでつくるーこどもの日テトラ Bag

こどもの日にちなみ、折り紙でつくったこいのぼりとグラシン紙のテトラバッグを組み合わせた手持ちの飾りを制作した。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

10:00～12:00、13:00～16:00

会場：エントランスロビー

協力：カミキィ（折り紙作家）

参加者数：1,199人

④青空に絵を描こう

未就学児から参加できる、ガラス面に絵を描くワークショップ。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

10:00～10:30、13:00～13:30

会場：橋の回廊

参加者数：748人

⑤大きな絵本の部屋

『うらしまたろう』や『大きなかぶ』など、子どもたちがよく知っている物語の大きな絵本を楽しめるスペースを設けた。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 10:00～16:00

会場：講座室



利用者数：1,208人

協力：藤本真央（BigBook 作者／デザイナー）

⑥お庭でのんびりごろりん広場

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 10:00～16:00

会場：アトリエ前庭園

参加者数：9組27人

⑦お庭でのんびりしゃぼん玉タイム

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

11:00～11:30、14:30～15:00

会場：アトリエ前庭園

参加者数：922人

⑧美術館たんけん隊

常設展示室、バックヤード、屋上庭園などを解説付きで、主に家族連れの参加者と一緒に見て回った。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 11:40～12:00

会場：館内各所

集合：2階カフェ横 ※30分前より整理券配付

参加者数：137人

⑨うたのコンサート

前年度と同じく、NHK「おかあさんといっしょ」の地方公演枠に現役出演しているうたのお姉さんのコンサート。

日時：5月3日(金・祝) 10:30～11:00、14:00～14:30

会場：エントランスロビー

出演：西けいこ（うた）、小池彩夏（ピアノ）

参加者数：365人

⑩「ニュースキャスターによる読み語りコンサート」

ピアノとドラムの演奏と一緒に、絵本の読み語りを行った。子どもたちが楽器を使って音を鳴らし、音楽に触れる機会を作った。「DEJIMA 博」(NIB 主催)とのコラボ企画。

日時：5月4日(土・祝) 10:30～11:10、14:00～14:40

会場：エントランスロビー

出演：藤田智子（NIB アナウンサー）、榊孝仁（ドラム）、松元沙綾（ピアノ）

参加者数：250人

⑪たいそうのお姉さんと踊ろう！

NHK「おかあさんといっしょ」で長年たいそうのお姉さんを務めたきよこさんによる公演。

日時：5月5日(日・祝) 11:30～12:00、14:00～14:30

会場：エントランスロビー

出演：きよこ（たいそう）

参加者数：365人

⑫式町水晶バイオリンコンサート

子どもたち向けのバイオリンコンサート。「DEJIMA 博」とのコラボ企画。

日時：5月3日(金・祝) 15:00～16:00

会場：エントランスロビー

出演：式町水晶（バイオリニスト）

参加者数：160人



⑬おしごと体験

消防車や救急車など、働く車に乗ったり、パイロットやキャビンアテンダントの衣装を着たり、子どもたちにとって憧れのおしごとを体験する機会を提供した。「DEJIMA 博」とのコラボ企画。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 10:00～19:00

会場：運河劇場

参加者数：2,400人

⑭紙アクアリウム

子どもたちが手描きした海の生き物が、プロジェクターで投影されるデジタルな海の中で様々に泳ぎ回り、素敵な水族館をつくった。「DEJIMA 博」とのコラボ企画。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝) 10:00～16:00

会場：ホール

参加費：1回100円

協力：マルクスインターナショナル

参加者数：2,076人

⑮青空カフェ

県内で活躍する店舗と連携を図り、来場者に食事とともにくつろぎのスペースを提供した。

日時：5月3日(金・祝)～5日(日・祝)

11:00～※なくなり次第終了

会場：運河劇場 ※雨天中止

店舗：ティア長崎銅座店(お子様弁当など、3日、4日のみ)、ちびころ(天然酵母パン、お菓子など)、KURU cafe(コーヒー、キッズジュースなど)

(2)カラージュ缶バッジワークショップ

アウトリーチ活動の一環として実施したもの。外国製の紙やマスキングテープなどを自由に貼り合わせて缶バッジをつくるワークショップ。

日時：8月7日(水) 11:00～15:00

会場：アミュプラザ長崎3F 吹き抜けスペース

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：100円

参加者数：134人

(3)夏のワークショップ「ハンティング・トロフィーをつくろう」

リユースやリサイクルの考えをベースにしたオブジェづくりが得意な講師とともに、紙やプラスチックなどの身近な材料を使って生き物をつくった。

日時：8月17日(土)、18日(日)

10:00～12:00、13:30～15:30

会場：アトリエ

講師：Tim Denshire Key

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：200円

参加者数：合計397人(17日169人/18日228人)

(4)夏のおしゃべり鑑賞会

当館のコレクション作品をおしゃべりしながら鑑賞するとともに、バックヤードツアーを実施した。

日時：8月24日(土) 15:00~16:00

会場：常設展示室

対象：子ども~大人

募集方法：当日受付

参加費：無料

参加者数：12人

(5)和菓子ねりきりワークショップ

長崎市にて代々和菓子作りを引き継いできた職人の指導のもと、「ねりきり」を使った秋の和菓子づくりに挑戦した。

日時：10月22日(火・祝)

①11:00~11:40 ②14:00~14:40

会場：アトリエ

対象：子ども~大人

募集方法：事前申込

参加費：1個300円

参加者数：合計160人(①90人/②70人)

協力：長崎県菓子工業組合長崎市支部

(6)Let's Draw!—美術館の作品を模写しよう—

作品の模写を通して、当館コレクション作品への興味や関心、理解を深める機会となった。

日時：10月26日(土)、27日(日) 10:30~12:00

会場：アトリエ

対象：子ども~大人

募集方法：事前申込

参加費：300円

参加者数：合計12人(26日6人/27日6人)



(7)銅版画ワークショップ「本格エッチング体験」

クリスマスワークショップとして初心者向けに彫り、腐食、刷りの工程を体験し小作品を制作した。

日時：12月7日(土) 14:00~16:00

会場：アトリエ

講師：池田俊彦(南島原市アートビレッジ・シラキノ エデューケーター)

対象：中学生以上

募集方法：事前申込

参加費：500円

参加者数：10人

(8)クリスマスのアトリエ「デコレーションハウスをつくろう」

白い段ボール素材のキットに自由にデコレーションし、クリスマスにちなんだ飾る家を制作した。

日時：12月14日(土)、15日(日)

10:00~12:00、13:30~15:30

会場：アトリエ

対象：子ども~大人

募集方法：当日受付
 参加費：1個200円
 参加者数：合計313人（14日92人／15日221人）



(9)クリスマスえほんコンサート

音楽の生演奏とともに、元TV局アナウンサーによる絵本の読み語りをを行った。

日時：12月15日(日) 11:00～11:45、14:00～14:45

会場：ホール

募集方法：当日受付

参加費：無料

参加者数：379人

(10)お正月ワークショップ「凧づくりワークショップ」

新しい年をお祝いし、紙やビニール袋でオリジナルの凧をつくるワークショップを実施した。

日時：1月2日(木)、3日(金) 13:00～16:00

会場：エントランスロビー

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：100円

参加者数：合計296人（2日136人／3日160人）

(11)ウィークエンドミュージアム

月に一度、定期的にワークショップを実施することで、気軽に美術館に足を運び、クリエイティブな活動に親しむ機会を提供した。

期間：6月～令和2年1月（全7回）

土曜日16:30～19:00、日曜日10:00～12:00、
13:30～16:00

会場：アトリエ（第6回のみエントランスロビー）

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：100円

参加者数：1,553人

開催日及び内容：

	開催日	タイトル	内容	参加者数
第1回	6月15日(土) 6月16日(日)	グリーティングカードをつくろう	コラージュやスタンプなどの技法を自由に組み合わせてグリーティングカードをつくった。	154人
第2回	7月6日(土) 7月7日(日)	ゆらきらデコレーション	透明フィルムをキャンバスに、カラーペンで模様を描いたり半透明の素材を貼ったりして、装飾物を作成した。	228人
第3回	8月31日(土) 9月1日(日)	おてがるブチ版画	ボールペンや鉛筆で簡単に削れる版を使い、版画の作品をつくった。	251人
第4回	10月12日(土) 10月13日(日)	ハロウィン・マスク	マスクの台紙を好きな形に切り、色紙やカラーモールを使ってハロウィン仕様のマスクをつくった。	205人
第5回	11月23日(土) 11月24日(日)	木片でつくるメモスタンド	いろいろな形の木片にやすりをかけたり着彩したりして、メモスタンドをつくった。	197人
第6回	12月14日(土) 12月15日(日)	冬を彩るペーパークラフト	紙で天使と円形状のクリスマスオーナメントをつくった。	202人
第7回	1月25日(土) 1月26日(日)	糸と針でノートをつくろう	色とりどりの紙を組み合わせて糸と針で綴じて、シンプルなノートをつくった。	316人
第8回	2月29日(土) 3月1日(日)	入れ子式トレーづくり	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止。	—

5) 学校との連携

(1) スクールプログラム (学校利用)

図工・美術科の時間、総合的な学習の時間、学校行事、修学旅行、部活動、PTAなどの活動における利用を対象としたプログラム。大きな柱は鑑賞プログラムと表現プログラムであり、学校担当者とエドゥケーターが協議し内容を組み立てた。

令和元年度利用件数：287件 10,271人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	校種別合計
保育園	86	316	192	28	30	46	70	29	11	10	66	11	895
幼稚園	210	160	256	151	26	45	0	1,059	0	26	0	0	1,933
学童保育	10	0	0	793	973	0	0	0	55	0	0	0	1,831
小学校	0	21	204	237	0	323	293	461	604	122	26	0	2,291
中学校	16	34	267	75	226	97	156	343	225	20	4	0	1,463
高等学校	0	44	81	0	0	0	39	96	22	0	103	0	385
特別支援学校	0	0	33	0	15	8	39	8	101	0	5	0	209
大学	0	0	110	38	0	0	15	141	68	0	79	0	451
専門学校	0	311	0	0	0	0	0	58	0	0	0	0	369
PTA	0	0	0	0	11	0	0	0	0	0	0	0	11
教職員研修	0	0	0	0	279	0	13	0	0	0	0	0	292
教員	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他(保護者、添乗員等)	0	40	0	0	58	0	0	0	0	11	32	0	141
合計	322	926	1,143	1,322	1,618	519	625	2,195	1,086	189	315	11	10,271

※幼稚園、保育園年間利用…三和幼稚園(全3回:1,133人)ししのご保育園(全11回:115人)

あゆみ保育園(全4回:85人)慈光保育園(全4回:66人)レデンプトール幼稚園(全3回:56人)

合計1,455人(人数は延べ人数)

※特別鑑賞プログラム利用者904人、21校は11月～1月利用者数に含まれる。

※「出島研修」の参加者231人は、教職員研修の8月利用者数に含まれる。

関連事業:

① 美術館さわやかおさんぽツアー

就学前の幼児を対象に、気候の良い春の時期に美術館の周辺や展示室、バックヤード等を散歩しながら、園児や園の担当者、美術館に親しみを持ってもらう企画。

期間: 4月1日(月)～5月23日(木)

時間: 10:00～12:00

対象: 幼稚園児・保育園児40人程度

案内送付先: 長崎市近郊の幼稚園・保育園(3月上旬～)

募集方法: 希望日の1週間前までに事前申込

利用園及び人数: 32園936人(園児: 817人、引率: 113人、その他添乗員など: 6人)

② 遠隔授業: 長崎県美術館と県内遠隔地の学校の2点同時中継による遠隔授業プログラム

遠隔通信システムによって異なる地域の施設を結び、長崎県美術館の所蔵作品を基に対話型鑑賞の授業を実施した。

募集方法: 公募

小値賀町立小値賀中学校

当館所蔵作品を基にした対話型鑑賞による授業

日時: 1月14日(火) 6時間目の授業14:55～15:45

会場: 小値賀町立小値賀中学校 多目的室

対象: 小値賀町立小値賀中学校 全学年36人

指導：山口百合子（於、長崎県美術館 司会進行）

守屋聡（於、小値賀町立小値賀中学校 進行補助）

山口直起（於、小値賀町立小値賀中学校 進行補助）

鑑賞作品：サルバドール・ダリ《海の皮膚をひきあげるヘラクレスがクビドをめざめさせようとするヴィーナスにもう少し待ってほしいと頼む》、パブロ・ピカソ《鳩のある静物》（長崎県美術館蔵）

③特別鑑賞プログラム

県内の学校を対象に、当館が用意した貸し切りバスにて、各学校と美術館間を送迎することで作品鑑賞の機会を設けるプログラム。児童・生徒に、長崎県美術館が所蔵する長崎ゆかりの美術やピカソ、ミロ、ダリなどのスペイン美術など国内外の優れた美術作品を鑑賞する機会を提供することで、美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育てることを目的とする。今年度は2期に分けて対象を絞り込み実施した。

【1】第Ⅰ期特別鑑賞プログラム（奇蹟の芸術都市バルセロナ展鑑賞）

対象：長崎市、諫早市中学校・高等学校美術部と引率教員

条件：公共交通機関を利用すること（JR 特急は除く）

募集方法：公募

募集期間：平成31年4月案内日～令和元年6月9日(日)

実施期間：平成31年4月案内日～令和元年6月9日(日)

参加校：12校（長崎市内中学校9校、諫早市内中学校1校、私立高等学校1校、特別支援学校1校）

参加費：100円／人（引率教員は無料）

参加者数：合計219人（生徒191人／引率教員28人）

【2】第Ⅱ期特別鑑賞プログラム（クリスチャン・ボルタンスキー — Lifetime 展鑑賞）

対象：長崎県全域の小中学校（単位：学校・学年・学級）

条件：30名以上（申し込み1件につき）※近隣の学校との乗り合わせも可。

募集方法：公募

募集期間：令和元年9月3日(火)～10月31日(木)

実施期間：令和元年11月5日(火)～令和2年1月22日(休)

参加校：9校（小学校9校）

参加費：下表のとおり（引率教員は無料）

地域	料金／児童・生徒1人
長崎市、諫早市、長与町、時津町	100円
大村市、西海市	200円
佐世保市、雲仙市、島原市、南島原市、東彼杵郡	300円
平戸市、松浦市、佐々町	500円

参加者数：合計685人（児童633人／引率教員52人）

④出張授業

学校団体の利用拡大を目的にエデュケーターが学校や園へ赴き、授業等において鑑賞学習及び表現活動をサポートする事業。

【1】長崎市立緑ヶ丘中学校

内容：「アートで発信」

日時：7月2日(火) 13:45～15:35

会場：3年教室

講師：山口百合子

対象及び参加者数：3年生コース別平和学習「アートで発信」35人

【2】佐世保市小学校教育研修会函工部会における鑑賞講座

内容：「みる、きく、はなす、作品鑑賞」

日時：8月8日(木) 14:00～16:00

会場：佐世保市教育センター中研修室1・2

講師：山口百合子、守屋 聡

参加者数：45人

【3】長崎市立深堀小学校

内容：親子レクリエーション（二分の一成人式へ向けて）

日時：9月11日(水) 14:00～15:30

会場：4年教室

講師：山口百合子、宮崎友理子

参加者数：合計89人（児童29人、保護者60人）

【4】長崎市立大浦小学校

内容：「作品をみるっておもしろい！」

日時：10月10日(木)

1年1組10:00～10:45、1年2組10:55～11:40

会場：1年1組、2組教室

講師：山口百合子

参加者数：55人（1組27人、2組28人）

(2)鑑賞教育研修会

【1】出島研修

スクールプログラムの利用促進を目的とした長崎県下全域の教職員対象の研修会。

期間：8月1日(木)、2日(金)

会場：アトリエ、ホール、講座室

対象：長崎県小中学校教職員

募集方法：事前申込

内容：

①記念講演「未開の知」を求めて一触文化教育の未来

講師：広瀬浩二郎（国立民族学博物館准教授）

②企画展鑑賞：企画展「名探偵コナン 科学捜査展」「クリスチャン・ボルタンスキー—Lifetime」

③実技講座（1日：講座1～4、2日：講座3～6）

講座1 無視覚流鑑賞の極意～目に見えない世界を探る～

講師：広瀬浩二郎

講座2 とびだすカード～ペーパークラフト～

講師：岩永嘉人（長崎新聞社文化ホール美術講師）

講座3 線であそぼう～線のおさんぽ・糸で空間をつくろう～

講師：守屋 聡

講座4 クレイアニメーション～粘土・プログラミング～

講師：山平淳一（サンシエルジュ代表 ICT コンシエルジュ プログラミング教育コーディネータ）

講座5 特別支援学級などでの造形活動～作品の出来栄を



よくする工夫～

講師：八田 寛（長崎市立蚊焼小学校教諭）

講座6 クリスタルファンタジー～光の○○ランド～

講師：岩田桂子（長崎市立西浦上小学校教諭）

参加者数：2日間延べ231人（1日113人／2日118人）

主催：長崎県造形教育研究会、長崎県美術館

後援：長崎県教育委員会、長崎市教育委員会

【2】長崎県教育センター研修講座

幼稚園や小学校、特別支援画工の教員に対する研修で、講義・演習を通して授業の改善や実践的指導の向上を図るもの。長崎県教育センター研修講座の一部を依頼され実施した。

内容：「作品をみるっておもしろい！」

日時：10月4日(水) 13:00～14:30

会場：アトリエ

講師：山口百合子

対象及び参加者数：小学校、特別支援学校教員15人

(3)ほっとミュージアムクーポン

不登校児童・生徒と保護者、関係者に、美術館での作品鑑賞のほか、カフェでの軽食ができるクーポンを提供することにより、児童・生徒の精神の安定と不登校状況の改善を図るきっかけとする企画。平成26年度からは長崎市、諫早市、大村市、長与町、時津町の5市町の小・中学校に募集を拡大した。

期間：令和元年12月中旬～令和2年3月13日(金)

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月2日(月)～13日(金)までに実施希望があった対象者は中止した。

対象：不登校児童・生徒、児童養護施設入所の児童・生徒と保護者、関係者

利用人数：合計42人（児童・生徒26人／保護者・関係者16人）

(4)高等学校卒業生への特別招待券贈呈

県下の高等学校卒業生を対象に招待券を贈呈し、長崎県美術館の企画展と美術館コレクション展を鑑賞する機会を提供する企画。卒業生の美術に対する関心を高め、郷土ゆかりの文化や美術を愛好する心情を育むとともに、郷土愛をさらに深めることを目的とする。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため実施した高校生以下の入館制限や臨時休館を受けて令和2年4月12日までとされていた利用期間を8月末まで延長した。

期間：令和2年1月下旬～8月30日(日)

対象：長崎県下の公立、私立、定時制を含む高等学校卒業生と特別支援学校高等部卒業生

利用人数：331人

(5)大学との連携

①「キッズふれアートはじめてミュージアム 春のぽかぽか美術館」における長崎大学等との連携

乳幼児をもつ家族連れを主な対象としたイベントの運営およ

び参加者対応。

活動日時と内容：

- ・ 4月8日(月)、12日(金)
8：50～10：20 オリエンテーション
- ・ 5月3日(金・祝)、4日(土・祝)、5日(日・祝)
9：00～17：00 イベント運営、来場者対応

対象：長崎大学教育学部68人

連携先：長崎大学教育学部 中川研究室

②「みんなのアトリエ」における長崎大学及び、筑紫女学園大学との連携

ファミリー層を主な対象としたクリスマスイベントの運営および参加者対応。

日時：12月14日(土)、15日(日) 9：30～17：00

内容：イベント運営、来場者対応

対象：長崎大学教育学部10人、筑紫女学園大学4人

連携先：長崎大学教育学部 中川研究室、筑紫女学園大学

(6)博物館実習

概要：学芸員資格取得のための博物館実習。

期間：8月31日(土)～9月4日(水)

対象：学芸員資格取得希望者

実習費：5,000円

実習生：7校8人（尾道市立大学1人、佐賀大学2人、多摩美術大学1人、京都造形芸術大学1人、崇城大学1人、愛知教育大学1人、名古屋芸術大学1人）

31日(土)	10：00～12：00	ガイダンス 講義：美術館の使命
	13：00～17：00	講義：美術館指定管理者制度について 講義：美術館の教育普及活動 講義：収蔵庫見学／作品取扱いについて
1日(日)	10：00～12：00	ワークショップ補助
	13：00～18：00	ワークショップ補助
2日(月)	10：00～12：00	講義：美術館の設備について・館内見学 講義：美術館ボランティア活動について
	13：00～17：00	講義：美術作品の保存修復 講義：長崎県美術館の作品収集とコレクション 館内見学／ギャラリートークの課題説明
3日(火)	10：00～12：00	講義：長崎県美術館の企画展示 ギャラリートーク課題準備
	13：00～17：00	講義：郷土美術と美術館 講義：美術館の広報活動 ギャラリートーク準備
4日(水)	10：00～12：00	ギャラリートーク準備
	13：00～17：00	ギャラリートーク準備 ギャラリートーク及び講評

6) 海外との教育普及事業連携

釜山市立美術館との連携事業

韓国釜山市立美術館と連携し「平成31年度文化芸術振興費補助金（平成31年度地域と協働した博物館創造活動支援事業）」に採択された「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」の諸プログラムを実施。

※「5. 補助金等による事業」参照

7) 鑑賞ツールの開発

アートカード

収蔵作品をハガキサイズ、45枚のカードに仕立て、さまざまなカードゲームを通して遊びながら作品鑑賞を体験するもの。スクールプログラムや研修会、出張授業等で活用し、作品鑑賞の導入として使用。



8) その他

長崎県しまの芸術祭「満月 BAR～月明りで満ちるプロムナード～」特別協カイベント

長崎県と満月 BAR 推進実行委員会が主催する「満月 BAR～月明りで満ちるプロムナード～」に協力し、関連事業を実施。

①ワークショップ「月夜にかぶる帽子をつくろう」

いろいろな紙やパーツを自由に組み合わせて、イベント「満月 BAR」でかぶる帽子をつくった。

日時：11月9日(土) 15:00～21:00

会場：エントランスロビー

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：無料

参加者数：89人

②ナイトミュージアムツアー

展示室やバックヤード、そして長崎港を一望できる屋上庭園などをゆっくり散策した。

日時：11月9日(土) 19:00～19:45

会場：常設展示室、館内各所

対象：子ども～大人

募集方法：当日受付

参加費：無料

参加者数：51人

③上映会『月世界旅行』

ジョルジュ・メリエスが監督した世界初の SF 映画の上映会。

日時：11月9日(土) 18:15～、18:45～、19:15～、19:45～

会場：アートビジョン

参加費：無料



5. 補助金等による事業

「長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業」

本事業は「平成31年度文化芸術振興費補助金（地域と協働した博物館創造活動支援事業）」として実施された。本事業は長崎県美術館と釜山市立美術館とが共同で平成21年度より継続開催してきた「明日を拓く日韓子ども美術交流展」の発展的事業として位置づけられ、長崎県美術館と韓国の釜山市立美術館における諸活動を介し、両地域間の文化交流を促進し日韓の相互理解及び友好関係の更なる深化を図ること、および韓国における長崎県、長崎県美術館のプレゼンスを向上させ両地域間の交流人口の増大に寄与することを目的とするものである。

長崎県、長崎県教育委員会、長崎県美術館により構成される「日韓文化交流事業実行委員会」の主催にて実施。長崎県美術館、釜山市立美術館各々が推薦する地域ゆかりのアーティストを講師として派遣し合い実施するワークショップ活動を両地域にて行った。

(1)ワークショップ活動

①長崎側推薦作家によるワークショップ「マスキングテープでつくる町」

日時：11月30日(土) 13：30～15：00

12月1日(日) 10：30～12：00

会場：釜山市立美術館地下1階子ども実技室

参加者：釜山広域市内小学生計25人

講師：波多野慎二(美術家、活水中学・高等学校教員、RING ART 実行委員会実行委員)

②釜山側推薦作家によるワークショップ「写真の中の私」

日時：2月8日(土) 10：00～12：00、13：30～15：00

会場：長崎県美術館アトリエ

参加者：長崎県内中学生25人

講師：李 東根（イ・ドンゴン／釜山市在住、写真家）

コーディネーター：キム・ジホ、ジョン・イユン（釜山市立美術館職員）

6. 収集事業

1) 新収蔵作品

●購入>寄贈>寄託の順に配列した。購入は3点、寄贈は59件(106点)、寄託は1件(657点)、合計63件(766点)である。

●原則として、作者名>制作年(昇順)の順に配列した。

●各作品のデータの配列は次の通り。

通し番号/作者名 生没年/欧文作者名/作品名 点数(2点以上の場合のみ)/英文作品名/制作年/技法・材質 サイズ
(cm)/署名・年記等/取得方法、提供者名(寄贈の場合のみ)、収蔵番号

●版画作品のサイズは、紙サイズ、プレートサイズ(イメージサイズ)の順とし、エディション番号がある場合は、署名・年記等の後に記載した。

1

オノサト・トシノブ (小野里利信 1912-1986)
Toshinobu ONOSATO

長崎の家
A House in Nagasaki

1934年
油彩・カンヴァス 91×73
画面左下: 34 Toshinobu Onosato
購入 A 2 イ1139

2

菊畑茂久馬 (1935-2020)
Mokuma KIKUHATA

天動説 十四
Ptolemaic Theory XIV

1985年(1987年改作)
油彩・カンヴァス 259×194.2
カンヴァス裏墨書: 「天動説」十四/一九八五年作/菊畑茂久馬/一九八七年/改作㊦
購入 A 2 ニ0129

3

菊畑茂久馬 (1935-2020)
Mokuma KIKUHATA

月光 五
Moonlight V

1986年
油彩、木、布・カンヴァス 259×195
画面右下青色絵具: 月光五 一九八六
茂久馬: カンヴァス裏墨書: 月光 五/一九八六年/菊畑茂久馬
購入 A 2 ニ0130

4

池野清 (1914-1960)
Kiyoshi IKENO

静物 (仮)
Still life

制作年不詳
油彩・カンヴァス 33.5×24.5
寄贈 神宮洵子氏 A 2 イ1140

5

池野清 (1914-1960)
Kiyoshi IKENO

女性像 (仮)
A Young Woman

制作年不詳
鉛筆・紙 40.7×31.9
画面左下に署名: Kiyoshi/Ikeno
寄贈 神宮洵子氏 A 2 ニ0131

6

大塚伊次 (1909-1986)
Koreji OTSUKA

彦山と聖堂
Hikosan and Cathedral

制作年不詳 (1950-60年代か)
油彩・カンヴァス 24.3×33.5
画面中央下: kohtsuka
寄贈 畑田弘毅氏 A 2 イ1141

7

大塚伊次 (1909-1986)
Koreji OTSUKA

長崎大浦辨天橋付近
Neighborhood of Oura-Bentenbashi, Nagasaki

1970年
油彩・カンヴァス 32.0×41.0
画面左下: kohtsuka
寄贈 畑田弘毅氏 A 2 イ1142

8

大塚伊次 (1909-1986)
Koreji OTSUKA

尾ノ道水道
Onomichi Channel

1972年頃
油彩・カンヴァス 32.0×41.0
画面右下: kohtsuka
寄贈 畑田弘毅氏 A 2 イ1143

9

大塚伊次 (1909-1986)
Koreji OTSUKA

日輪塔
Pagoda

制作年不詳 (1971年以降?)
ガラス絵 26.2×36.0
画面右下: 朱文円印を模した描き込みで「お」
寄贈 畑田弘毅氏 A 2 ニ0132

10

尾崎正義 (1932-)
Masayoshi OZAKI

女形
Onnagata

1967年
シルクスクリーン・紙 36.0×25.5
画面右下: mozaki 67; 裏面木枠: 女舞 尾崎正義 1967
※画集発行時 (2009) に改題カ
寄贈 畑田弘毅氏 A 3 ロ0492

11

佐藤敬助 (1951-2017)
Keisuke SATO

次の世代
Next Generation

2014年
樹脂 H181.0
寄贈 佐藤幸子氏 B ニ0063

12

佐藤敬助 (1951-2017)
Keisuke SATO

レッスンでのひととき
A Moment of Dance Lesson

2016年
樹脂 H120.4
寄贈 佐藤幸子氏 Bニ0064

13

清水崑 (1912-1974)
Kon SHIMIZU

美女河童
Female Kappa

制作年不詳
墨、着色・紙 59.5×47.0
画面右下に署名：崑
寄贈 白井和夫氏 A2ロ0591

14

清水崑 (1912-1974)
Kon SHIMIZU

5人のかっぱ
Five Kappas

制作年不詳
墨、着色・紙 36.5×72.5
画面左下に署名：崑
寄贈 白井和夫氏 A2ロ0592

15

清水崑 (1912-1974)
Kon SHIMIZU

ペーロン下ろし
Preparation for the Nagasaki Peiron Boat Races

1972年
墨、着色・紙 48.5×64.3
画面右下に署名と年記：崑47.4
寄贈 白井和夫氏 A2ロ0593

16

清水崑 (1912-1974)
Kon SHIMIZU

オランダ万才赤帽子
Two Kappas performing Oranda Manzai (exotic and comical dance)
for Nagasaki Kunchi Festival with Red Hats on

1972年
墨、着色・紙 46.5×52.5
画面右下に署名：崑；本紙裏に署名と年記：四十七年秋清水崑
寄贈 白井和夫氏 A2ロ0594

17

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

唐寺の雨
Temple in Rain

1958/1963年
木版・紙 27.4×36.2；25.0×34.3
版上左下：田；版上右下：NAGASAKI 58；画面左下：Ken Tagawa Printed '63；画面右下に
印：憲；余白左下：自刻自摺；付属のタトゥ表紙：版画／唐寺の雨／長崎聖福寺／茂吉歌阿波
礼／作 田川憲／田川 [印] 憲 [印]
※別名：《あはれあはれ》
寄贈 山田幸子氏 A3ロ0493

18

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

黄檗書意

A View from the Gate of Sofukuji, Obaku Temple in Nagasaki

1957/1963年

木版・紙 31.3×36.5; 28.9×34.0

版上左下: 崇福寺媽祖堂(長崎); 版上右下: 黄檗書意 田川[印]; 画面左下: 1957/Printed/1963;
画面右下: Ken/Tagawa; 余白左下: 自刻自摺; 付属のタトウ表紙: 版画/黄檗書意/長崎崇福寺媽
祖堂/作 田川憲/半雅堂■ [印]
寄贈 山田幸子氏 A3口0494

19

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

大雄宝殿

Daiyuhoden, Main Hall of Kofukuji

1959/1963年

木版・紙 44.0×51.8

版上左下: NAGASAKI '59; 版上右下: Ken; 画面左下: Printed '63; 画面右下: Tagawa/

田川 [印]; 余白左下: 自刻自摺

寄贈 山田幸子氏 A3口0495

20

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

天主堂と港

Oura Church and Port of Nagasaki

1933年

木版・紙 21.0×15.1

※『新板長崎風景』(1934年刊)に「中町天主堂と唐寺」として収録されている。

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0355

21

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

酔いどれ船

Le Bateau ivre (The Drunken Boat) by Arthur Rimbaud

1947年

木版・紙 16.2×15.8; 14.0×13.7

版上左上: 《BATEAU IVRE》A.R.; 版上左下: sept. '47.; 版上右下: Ken 田; 余白左辺上:

ランボオ. 酔いどれ船より; 余白下辺左: Arthur Rimbaud "Bateau Ivre"; 余白右下: Ken.

※台紙に貼付

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0356

22

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

酔いどれ船

Le Bateau ivre (The Drunken Boat) by Arthur Rimbaud

1949年

木版・紙 12.5×14.2; 11.8×13.8 1/50

版上左下: Ken; 画面左下に印: 憲; 画面右下: 1/50.; 余白下部左: Ken Tagawa '49.;

余白右辺下: 自家彫摺; 台紙中央に摺り文字: 版画《酔いどれ船》30枚の内

※台紙に貼付

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0357

23

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

酔いどれ船

Le Bateau ivre (The Drunken Boat) by Arthur Rimbaud

1949年頃

木版・紙 12.1×13.3; 11.5×12.8

版上左下: Ken; 画面左下に帆船と文字を組み合わせた印: Ken/AR;

余白下部左: Ken Tagawa; 台紙中央に摺り文字: 版画《酔いどれ船》30枚の内

※台紙に貼付

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0358

24

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

酔いどれ船
Le Bateau ivre (The Drunken Boat) by Arthur Rimbaud

1949年頃
木版・紙 13.9×11.4 ; 12.9×10.8
版上左下 : Ken ; 画面左下に帆船と文字を組み合わせた印 : Ken/AR ; 余白下部右 : Ken Tagawa ;
台紙中央に摺り文字 : 版画《酔いどれ船》30枚の内
※台紙に貼付
寄贈 増山陽子氏 A 3 二0359

25

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

めがね橋早春
Meganebashi (Spectacles Bridge) in Early Spring

1951年
木版・紙 16.7×18.9 ; 13.8×16.9 A.P.
版上右下 : Ken ; 画面右下に印 : 田川 ; 余白左辺下 : 自刻自摺 ; 余白下部左 : A.P.
寄贈 増山陽子氏 A 3 二0360

26

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

めがね橋早春
Meganebashi (Spectacles Bridge) in Early Spring

1951年
木版・紙 15.0×18.2 ; 13.6×16.8
版上右下 : Ken ; 画面右下に印 : 憲
※青灰色の摺り
寄贈 増山陽子氏 A 3 二0361

27

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

グラバール邸
The Glover House

1951年
木版・紙 15.1×18.8 ; 13.7×17.1
版上右下 : Ken ; 画面右下に印 : 憲
※台紙に貼付、英語の解説が*付属。『長崎の花束』シリーズ
寄贈 増山陽子氏 A 3 二0362

28

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

興福寺
Kofukuji, Nagasaki

1951年
木版・紙 18.6×15.5 ; 17.4×14.2
版上左下 : KEN ; 画面右下に魚を象った印
※台紙に貼付、英語の解説が*付属、『長崎の花束』シリーズ
寄贈 増山陽子氏 A 3 二0363

29

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

ロティ坂
Loti Slope

1951年
木版・紙 18.3×15.0 ; 17.2×14.2
版上左下 : NAGASAKI ; 版上右下 : Ken ; 画面右下に印 : 憲
※台紙に貼付、英語の解説が*付属、『長崎の花束』シリーズ
寄贈 増山陽子氏 A 3 二0364

30

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

活水と十二番
Kwassui Junior College and the House at 12 Higashi-yamate

1951年
木版・紙 15.1×19.6; 13.2×17.0 A.P.
版上左下: KEN; 画面右下に印: 田川; 余白左辺下: 自刻自摺; 余白下部左: A.P.
寄贈 増山陽子氏 A3ニ0365

31

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

活水と十二番
Kwassui Junior College and the House at 12 Higashi-yamate

1951年
木版・紙 14.4×17.9; 13.1×17.0
版上左下: KEN; 画面左下に印、署名: 憲 Tagawa
寄贈 増山陽子氏 A3ニ0366

32

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

活水と十二番
Kwassui Junior College and the House at 12 Higashi-yamate

1951年
木版・紙 14.6×18.2; 13.3×17.0
版上左下: KEN; 画面右下に印: 田川憲
※台紙に貼付、英語の解説が付属、『長崎の花束』シリーズ
寄贈 増山陽子氏 A3ニ0367

33

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

龍舌蘭の庭 (東山手十二番)
Garden with Agave (The House at 12 Higashi-yamate)

1951年
木版・紙 15.1×18.5; 13.8×17.3
版上左下: Ken; 版上右下: KWASSUI; 画面左下に印: 憲
※台紙に貼付、英語の解説が付属、『長崎の花束』シリーズ
寄贈 増山陽子氏 A3ニ0368

34

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

福濟寺
Fukusaiji, Nagasaki

1952年
木版・紙 15.7×18.2; 14.5×16.9
版上右下: Ken; 画面左下に印: 憲
※台紙に貼付、英語の解説が付属、『長崎の花束』シリーズ
寄贈 増山陽子氏 A3ニ0369

35

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

西洋婦人の図 (平賀源内油絵による)
Portrait of an European Woman, after Gennai HIRAGA

1953年
木版・紙 15.4×13.3; 14.2×11.9
版上右辺: 西洋婦人の図 (平賀源内作油絵より); 版上左下: 憲刻; 画面左下に印: 憲;
画面下部: Nagasaki 1953 Ken Tagawa; 余白右辺上: 自家彫摺
※台紙に貼付
寄贈 増山陽子氏 A3ニ0370

36

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

おくんちの印象
An Impression of Nagasaki Kunchi Festival

1955年 (摺り : 1957年)

木版・紙 25.3×29.5

版上右下 : Ken 田 ; 画面左下に印 : 田川 ; 画面下部右 : Nagasaki 1957 ; 画面右下 : Tagawa

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0371

37

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

ピエール・ロティシリーズ 全6点
Pierre Loti Series

1957年

木版・紙

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0372

37- 1

ピエール・ロティ
Pierre Loti

17.0×13.7

版上上部 : Pierre Loti/LE CAPITAINE DE VAISSAU ; 版上右下 : Ken ;

画面右下に署名と印 : Tagawa/憲

A3ニ0372-01

37- 2

ラ・トリオンファント号と娘たち

La Triomphante et les mousumés (La Triomphante and Young Girls)

15.7×18.0 : 14.6×16.9

版上左上 : Dans/d'autres sampans/des Japonaises/inconnues/assistent à/notre/départ ;

版上上部中央 : La Triomphante et /les Mousmés-/版上右上 : (LOTI による.) ;

版上右下 : Ken ; 画面右下に印 : 田川

A3ニ0372-02

37- 3

踊る亀の寺

Tortue sauteuse (Dancing Turtle)

21.4×16.8 : 20.3×15.4

版上右上 : 長崎 ; 版上左上 : ロティ/踊る亀の寺 ;

版上左下 : "TORTUS SAUTEUSE" LOTI/NAGASAKI- ; 版上右下 : Ken ; 画面右下に印 : 憲

A3ニ0372-03

37- 4

十善寺界限

Juzenji

23.1×17.2

版上左下 : DJOU-DJEN-DJI (LOTI)/NAGASAKI- ;

版上右下 : Ken/十善寺界限-ロティ ; 画面右下に印 : 憲

A3ニ0372-04

37- 5

ロシュフォールのロティ邸
La Maison de Loti à Rochefort (Loti's Birthplace at Rochefort)

19. 3×15. 4；18. 6×14. 7
版上下部：La Maison de LOTI-à Rochfort-Kén；画面右下に印：田川
A 3ニ0372-05

37- 6

風頭の墓地
Cemetery at Kazagashira

15. 3×20. 0；14. 4×19. 0
版上左下：風頭の墓地；版上下辺中央右：N'SAKI-LOTI-；
版上右下：Ken；画面右下に印：田川
A 3ニ0372-06

38

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

異人館の煙突
Chimneys of Former Foreign Residences, Higashi-yamate

1958年
木版・紙 21. 3×25. 3；19. 9×23. 8
画面左下に印：憲；画面右下に署名と印：Ken Tagawa 田；余白右辺下：自刻自摺
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0373

39

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

唐寺蛾眉
View of Mt. Hiko from the Shofukuji

1958年
木版・紙 21. 2×25. 4；19. 8×23. 9
版上左下：唐寺蛾眉／N'SAKI'58；版上右下：Ken；画面下部中央：Ken Tagawa；
画面右下に印：憲
※台紙に貼付、『ながさき・おるごおる』シリーズ (No. 6)
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0374

40

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

南山手十番
The House at 10 Minami-yamate in Nagasaki

1959年
木版・紙 25. 4×22. 0；23. 7×20. 1
画面右下に印：田 憲；余白左辺下部：田川憲作；余白右辺下部：自刻自摺
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0375

41

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

カルノー商会うら
Rear View of Curnow & Co.

1959年
木版・紙 22. 4×25. 8；20. 2×23. 7
版上左下：“カルノー”うら；版上右下：Ken；画面右下に署名と印：Ken Tagawa 田川；
余白左辺下：自刻自摺
※台紙に貼付、『ながさき・おるごおる 続・亡びゆく長崎洋館』シリーズ (No. 2)
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0376

42

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

東山手の丘
The Hill of Higashi-yamate in Nagasaki

1959年

木版・紙 23.3×34.8

版上左下：NAGASAKI '59；版上右下：Ken；画面右下に印：田川；余白左辺下：自刻自摺；

余白下部左：A.P.

寄贈 増山陽子氏 A 3 二0377

43

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

富津
Tomitsu, Unzen

1959年

木版・紙 15.3×19.7；11.1×18.2

版上左下：Ken；画面左下に印：憲；余白左辺下：富津；余白右下：Ken Tagawa

寄贈 増山陽子氏 A 3 二0378

44

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

ゴルフ場俯瞰
Unzen Golf Course

1959年

木版・紙 15.5×20.2；13.4×18.2

版上右下：Ken；画面右下に印：憲；余白左辺下：ゴルフ場俯瞰；余白右下：Ken Tagawa

寄贈 増山陽子氏 A 3 二0379

45

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

普賢岳
Mt. Fugen

1959年

木版・紙 15.6×19.9

版上右下：Ken；画面右下に印：憲；余白左辺下：普賢岳；余白右下：Ken Tagawa

寄贈 増山陽子氏 A 3 二0380

46

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

題名不詳
Title Unknown

制作年不詳

木版・紙 14.7×18.6；13.3×18.1

版上左下：Ken

寄贈 増山陽子氏 A 3 二0381

47

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

山と城 (島原城)
Mt. Unzen and Shimabara Castle

1963年

木版・紙 22.4×25.6；20.0×23.6

版上左下：63；版上下部中央右：田川；画面右下に印：田川；余白左辺下：自刻自摺；

余白下部左：A.P.

寄贈 増山陽子氏 A 3 二0382

48

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

夏草の峠 (日見) 去来すすきづか
Himi Pass with Summer Grass, Kyorai's Poem Monument, Susukizuka

1963年

木版・紙 16.6×12.4; 16.0×11.8

版上右上: 夏草の峠 (日見) / 去来すすきづか; 版上右下: Ken; 画面右下に印: 田川

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0383

49

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

松本松五郎像
Portrait of Matsugoro Matsumoto

1963年

木版・紙 11.2×9.4

版上左: 松五郎像; 画面左下に印: 田川

※『版画長崎』終刊号 (1963年1月刊) 所収

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0384

50

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

長崎港驟雨 (?)
A Sudden Shower on Nagasaki Port (?)

制作年不詳

木版・紙 26.7×31.0; 23.8×27.3

版上右下: Ken; 画面右下に印: 田川; 余白左辺下: 自刻自摺; 余白下部左: A.P.

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0385

51

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

長崎港驟雨 (?)
A Sudden Shower on Nagasaki Port (?)

制作年不詳

木版・紙 25.6×29.1; 23.5×27.5

版上右下: Ken; 画面右下に印: 田川; 余白左辺下: 憲刻安喜子摺

※田川の夫人・田川安喜子による摺り。

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0386

52

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

つゆんべりー
Carl Peter Thunberg

1952年

木版・紙 27.2×24.0

※冊子 全8ページ

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0387

53

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

題名不詳
Title Unknown

制作年不詳

木版・紙 35.7×25.6

版上右下: 憲刻

※佐藤春夫『殉情詩集』の中の詩に想を得たもの。

寄贈 増山陽子氏 A3ニ0388

54

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

ケムペル・ツェンペリー碑
Monument for Engelbert Kaempfer and Carl Peter Thunberg

1952年
木版・紙 10.0×15.5；8.3×13.1
版上左下：ケムペル・ツェンペリー碑；版上右下：KEN；画面右下に印：田川
※版画集『つゆんべりー』所収
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0389

55

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

崇福寺羅漢
Statues of Rakan, Sofukuji, Nagasaki

制作年不詳
木版・紙 10.3×15.5；7.7×13.3
版上左下：憲；版上右辺：崇福羅漢；画面右下に印：田川
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0390

56

田川憲 (1906-1967)
Ken TAGAWA

年賀状、絵葉書 全19組・22点
New Year's Cards and Postcards

木版・紙
寄贈 増山陽子氏 A 3ニ0391

56- 1

1964年の年賀状
New Year's Card (1964)

1963年 (?)
A 3ニ0391-01

56- 2

1964年の年賀状
New Year's Card (1964)

1963年 (?)
A 3ニ0391-02

56- 3

1964年の年賀状
New Year's Card (1964)

1963年 (?)
A 3ニ0391-03

56- 4

1965年の年賀状
New Year's Card (1965)
1964年 (?)
A 3 二0391-04

56- 5

1965年の年賀状 3点
New Year's Card (1965)
1964年 (?)
A 3 二0391-05

56- 6

1966年の年賀状
New Year's Card (1966)
1965年 (?)
A 3 二0391-06

56- 7

1967年の年賀状
New Year's Card (1967)
1966年 (?)
A 3 二0391-07

56- 8

1967年の年賀状
New Year's Card (1967)
1966年 (?)
A 3 二0391-08

56- 9

1968年の年賀状 2点
New Year's Card (1968)
1967年 (?)
※後摺り? 2点のうち1点は使用済み
A 3 二0391-09

56-10

1969年の年賀状 (古賀人形 阿茶さん)
New Year's Card (1969)

摺り：1968年 (?)
※後摺り? 使用済み
A 3 二0391-10

56-11

1972年の年賀状
New Year's Card (1972)

摺り：1972年 (?)
※後摺り? 使用済み
A 3 二0391-11

56-12

絵葉書
Postcard

※使用済み 『詩都長崎』所収のものか?
A 3 二0391-12

56-13

『詩都長崎』第2号のタトウ
Wrapping paper for "Nagasaki, A Poetic City"

A 3 二0391-13

56-14

絵葉書 (大浦天主堂)
Postcard (Oura Church)

A 3 二0391-14

56-15

絵葉書 (大浦天主堂)
Postcard (Oura Church)

A 3 二0391-15

56-16

絵葉書

Postcard

A 3 ニ0391-16

56-17

絵葉書

Postcard

A 3 ニ0391-17

56-18

絵葉書

Postcard

A 3 ニ0391-18

56-19

絵葉書

Postcard

A 3 ニ0391-19

57

田川憲 関連資料 全16組・22点

Ken TAGAWA Related Documents

寄贈 増山陽子氏 F 口0052

57- 1

田川憲 (執筆)

「田川憲・版画シリーズ 長崎の花束 雨 めがね橋」(解説文)

English Commentary of *Meganebashi (Spectacles Bridge)*
in *Early Spring* by Ken Tagawa

F 口0052-01

57- 2

田川憲 (デザイン)

飲食店のリーフレット (銀嶺、ボンソワール)
Leaflet of restaurants

F ㊦0052-02

57- 3

田川憲 (デザイン)

『西海の旅 平戸と九十九島』 (リーフレット) 平戸口運輸株式会社
A Trip in Saikai: Hirado and Kujukushima (Leaflet)

F ㊦0052-03

57- 4

田川憲 (デザイン)

『How to see Nagasaki』 (観光パンフレット、英文) 平戸市、長崎県
How to see Nagasaki (Leaflet)

F ㊦0052-04

57- 5

田川憲 (編・著)

『田川憲版画譜』
Ken Tagawa: Prints

1960年刊

F ㊦0052-05

57- 6

田川憲 (原画)

絵葉書 (印刷物) 2種2点
Postcard

F ㊦0052-06

57- 7

レストラン銀嶺の絵葉書 (印刷物)
Postcard of Restaurant Ginrei

F ㊦0052-07

57- 8

『版画展示室 田川憲と長崎の洋館』 グラバー園、リーフレット
Ken Tagawa and Western-style Buildings in Nagasaki (Leaflet)

F 口0052-08

57- 9

『絵とおしゃべり 田川憲』 2点
Conversation with Paintings (periodical published by Gallery Yamashita)

山下画廊、1990年 9 月

F 口0052-09

57-10

『絵とおしゃべり 田川憲』 2点
Conversation with Paintings (periodical published by Gallery Yamashita)

山下画廊、1991年 9 月

F 口0052-10

57-11

新聞記事切り抜き
Newspaper clipping

「田川憲・木版画展 景観破壊を嘆いて 長崎を愛し続けた故人」

『西日本新聞』1990年 9 月21日

F 口0052-11

57-12

新聞記事切り抜き
Newspaper clippings

「版画家 田川憲 生誕100周年記念展 故郷の美 詩情豊かに」『長崎新聞』2006年 9 月 6 日

／「異国情緒 繊細な版画に 田川憲生誕100周年展」『西日本新聞』2006年 9 月 6 日

※ 2 件の記事が 1 枚の台紙に貼られている。

F 口0052-12

57-13

新聞記事切り抜きコピー
Newspaper clipping

「アダチ産業勝山ビル 開設記念の田川憲版画展 四男・英さん鑑賞」

『長崎新聞』2007年 6 月21日

F 口0052-13

57-14

新聞記事切り抜きコピー
A copy of a newspaper clipping

「長崎の街並みや風俗 細心の技巧で表現 18日から田川憲版画展」
『長崎新聞』2007年（日付不明）
F 口0052-14

57-15

『アダチ産業勝山ビル開設記念 田川憲版画展』（リーフレットのコピー）
Prints by Ken Tagawa (a copy of leaflet)

アダチ産業株式会社、2007年
F 口0052-15

57-16

田川憲関連資料 コピー 4点
Copies of documents about Ken Tagawa

- ①「長崎群像」より全1ページ
 - ②売立目録より全2ページ
 - ③「作品目録」（『田川憲版画譜』（1960）より）
全4ページ
 - ④「田川憲年譜」全1ページ
- F 口0052-16

58

富永直樹（1913-2006）
Naoki TOMINAGA

揚子江
Yangtze River

1993年
額装 陶 φ34.5（額寸：62.5×62.5）
作品向かって左下に陰刻：1993 4/27 上海にて ASUKA 直 Tomi
寄贈 富永良太氏 F 口0048

59

富永直樹（1913-2006）
Naoki TOMINAGA

喝采（辻音楽士）
Applause (A Street Musician)

1988年
額装 陶 φ33（額寸：59.5×59.5）
作品向かって左下に陰刻：直 Tomi
寄贈 富永良太氏 F 口0049

60

富永直樹 (1913-2006)
Naoki TOMINAGA

カニ
A Crab

制作年不詳
陶 φ42
作品下部中央に陰刻：直 Tomi
寄贈 富永良太氏 F 口0050

61

畑農照雄 (1935-2004)
Teruo HATANNO

大波止風景
Ohato Harbor, Nagasaki

1969年
油彩・カンヴァス 24.5×33.5
画面右下：TERUO HATANNO カンヴァス裏：大波止風景／畑農照雄／一九六九年／西谷先生
寄贈 畑田弘毅氏 A 2 イ1144

62

畑農照雄 (1935-2004)
Teruo HATANNO

東山手の丘
Hill in Higashi-yamate, Nagasaki

1969年
油彩・カンヴァス 41.0×32.0
寄贈 畑田弘毅氏 A 2 イ1145

【寄託】

63

椛島勝一 (1888-1965)
Katsuichi KABASHIMA

原画一式 (657点)
寄託者 株式会社講談社

2) 新収蔵図書

(冊)

	購入	寄贈	計
和書	70	378	448
洋書	22	46	68
逐次刊行物	238	363	601
展覧会図録	36	409	445
視聴覚資料 (DVD 等)	1	1	2
計	367	1197	1564

(年報・紀要は逐次刊行物の中に含む)

3) 寄贈図書

寄贈者	書名	出版社	出版年
岩永昭子 氏	短歌朗詠集	長崎多磨会	1935年
白井和夫 氏	長崎市及四近之圖	安中半三郎	1897年

7. 保存・修復事業

1) 作品修復

絵画作品修復

委託先：たけのした工房（長崎県）

番号	収蔵番号	作者名	作品名	点数	作業内容
1	A 2 イ 1113	山中清一郎	祭壇頌	1	現状記録および修復報告書作成。 汚損除去（作品表裏面）。 殺菌・防黴処置。 ホットテーブルによる変形・弛みの補正。 既存の木枠に張り込み。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填・形成、 補彩。 保護ワニスの塗布。
3	A 2 イ 1114	山中清一郎	聖壇	1	現状記録および修復報告書作成。 汚損除去（作品表裏面） 殺菌・防黴処置。 釘の取り換え。 冠水した部分に補布を施す。 保護ワニスの塗布。
4	A 2 イ 1112	山中清一郎	室内(?)	1	絵具層の剥落・剥離部分に膠水を入れ、補強。 裏面に中性紙ボードの取付
5	A 2 イ 1139	オノサトトシノブ	長崎の家	1	現状記録および修復報告書作成。 絵具層の剥離部分に接着剤注入。 ホットテーブルによる変形・歪みの補正。 支持体に周辺補布を付け、張り込み。 金具等の交換（ステンレス製）。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填・形成、 補彩。 画面保護のためにニスの塗布。
6	A 2 イ 1111	山中清一郎	シュミーズの女	1	現状記録および修復報告書作成。 絵具層の剥落・剥離部分に接着剤を入れ、補強。 画面の汚損除去。 ホットテーブルによる変形・歪みの補正。 絵の具層の亀裂、剥離、剥落箇所の充填・形成、 補彩。 裏面に周辺補布を付け補強、新木枠に張り込む。

日本画作品修復

委託先：宇佐美修徳堂（京都府）

1	A 1 イ 0195	大久保玉珉	保元の乱 為朝忠戦図	1	現状記録および修復報告書作成。 表具から本紙を取り外し、本紙を間接洗浄。 本紙の旧裏打ち紙を除去、薄美濃紙で裏打ち、さらに美栖紙で増裏打ち。 本紙と裂を組み立てる。 宇陀紙にて総裏打ち後、乾燥させた。 仕上げを行い、桐材の収納箱に収納（太巻き芯仕様）
2	A 1 イ 0053	大久保玉珉	諏訪祭礼御輿図	1	現状記録および修復報告書作成。 表具から本紙を取り外し、表面を保護するために布海苔で表打ち。 本紙を間接洗浄。 本紙の旧裏打ち紙を除去、薄美濃紙で裏打ち、さらに美栖紙で増裏打ち。 本紙と裂を組み立てる。 宇陀紙にて総裏打ち後、乾燥させた。 仕上げを行い、桐材の収納箱に収納（太巻き芯仕様）

彫刻作品修復

委託先：星野美術工房（埼玉県）

1	Bハ0028	サルバドール・ダリ	ガラの新ートン	1	鉄球ワイヤーの修復および本体への取付。
---	--------	-----------	---------	---	---------------------

2) 額装関係

マット装・額縁調整

委託先：たけのした工房（長崎県）

1	A 2 イ0541	モアスト・ウルジェイ	共同墓地のある風景	1	新しく額装。
2	A 2 イ1055	鴨居玲	かるた	1	低反射アクリルの取付。
3	A 2 イ1042	山本森之助	落葉	1	低反射アクリルの取付。

3) 虫害環境調査

期間	平成31年4月1日～令和2年3月31日
内容	毎月のモニタリング用トラップの設置、回収、昆虫数の集計、昆虫の同定
調査結果	夏季を中心に各出入口より昆虫侵入。

8. 作品貸出記録

(1) 「松尾敏男展」(13点)

佐久市立近代美術館：平成31年4月27日(土)～令和元年6月23日(日)

松尾敏男 《廃船》A1イ0266
《火口湖》A1イ0037
《鳥碑》A1イ0047
《貧しき人》A1イ0163
《福州の民家》A1イ0242
《I氏像》A1イ0099
《朝光のトレド》A1イ0210
《夜想譜》A1イ0194
《流れ》A1イ0229
《月光のサン・マルコ》A1イ0230
《朝光のヴェネツィア》A1イ0233
《長崎旅情》A1イ0267
《ミッシェル・モルガン像》A1イ0228

(2) 「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」(1点)

姫路市立美術館：令和元年6月29日(土)～9月1日(日)
札幌芸術の森美術館：令和元年9月14日(土)～11月4日(月・祝)
静岡市美術館：令和元年11月15日(金)～令和2年1月19日(日)
東京ステーションギャラリー：令和2年2月8日(土)～4月5日(日)
※新型コロナウイルス感染防止に伴い、2月28日(金)付で閉幕

モデスト・ウルジェイ 《共同墓地のある風景》A2イ0541

(3) 「SF・冒険・レトロフューチャー ぼくたちの夢とあこがれ」(講談社寄託作品20点)

昭和館：令和2年3月14日(土)～5月10日(日)

※新型コロナウイルス感染防止に伴い、展示作業後に開幕を見合わせ、開催中止となった。

椛島勝一 《山中峯太郎「敵中横断三百里」のための挿絵原画》(No. 04062. 07)
《山中峯太郎「敵中横断三百里」のための挿絵原画》(No. 04062. 08)
《山中峯太郎「敵中横断三百里」のための挿絵原画》(No. 04062. 22)
《山中峯太郎「敵中横断三百里」のための挿絵原画》(No. 04062. 29)
《山中峯太郎「亜細亜の曙」のための挿絵原画》(No. 04064. 09)
《山中峯太郎「亜細亜の曙」のための挿絵原画》(No. 04064. 20)
《山中峯太郎「亜細亜の曙」のための挿絵原画》(No. 04064. 62)
《山中峯太郎「亜細亜の曙」のための挿絵原画》(No. 04064. 92)
《海野十三「浮かぶ飛行島」のための挿絵原画》(No. 04067. 01)
《海野十三「浮かぶ飛行島」のための挿絵原画》(No. 04067. 06)
《海野十三「浮かぶ飛行島」のための挿絵原画》(No. 04067. 25)
《海野十三「浮かぶ飛行島」のための挿絵原画》(No. 04067. 37)
《海野十三 単行本『太平洋魔城』のためのカバー原画》(No. 04070. 03)
《海野十三「太平洋魔城」のための挿絵原画》(No. 10201. 02)
《海野十三「太平洋魔城」のための挿絵原画》(No. 10201. 25)
《海野十三「太平洋魔城」のための挿絵原画》(No. 10201. 33)
《『第三学期タノシイ一年生』のための挿絵原画》(No. 06480. 01)
《高戸顕隆「敵艦隊撃滅」のための挿絵原画》(No. 11639. 05)
《高戸顕隆「敵艦隊撃滅」のための挿絵原画》(No. 11639. 13)
《撃墜(『少年倶楽部』の表紙絵原画)》(No. 38258. 01)
※上記番号は全て講談社による管理番号

(4)長崎県庁舎秘書課所管会議室での展示（3点）

長崎県庁舎秘書課所管会議室：令和2年3月31日まで

辻利平 《教会のある丘》A2イ0336

《津崎瀬戸》A2イ0340

萩原輝夫 《マリア園あたり》A2イ0353

(5)長崎県庁舎議会事務局所管会議室での展示（5点）

長崎県庁舎議会事務局所管会議室：令和2年3月31日まで

辻利平 《島原風景》A2イ0384

《漁港好日》A2イ0338

大塚伊次 《東山手風景》A2イ0199

中山武之 《残照九十九島》A2イ0297

納富進 《長崎の天主堂（出津）》A2イ0190

(6)長崎県庁舎パブリックスペースでの展示（2点）

長崎県庁舎2階協働エリア、屋上スロープ前：令和2年3月31日まで

富永直樹 《クリスマス・イブ》Bハ0053

《若き日のシーボルト》Bハ0017

9. 調査・研究事業

1) 研究活動

当館職員による研究活動。

稲葉友汰

●展覧会の企画・構成

- ・「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」
- ・「津上みゆき展 View—人の風景」

●執筆等

- ・『奇蹟の芸術都市バルセロナ展』（展覧会図録／企画・構成、編集、執筆）
章解説（第2、5章）、作品解説（第2、5章全点、第3章1点）、コラム「インディアーノ——都市近代化の立役者」「スポーツとカタルーニャ・アイデンティティ」、主要参考文献
- ・『津上みゆき展 View—人の風景』（展覧会図録／企画・構成、編集、執筆）
テキスト「うつろいととこしえー津上みゆき作品における「時」、章解説

●翻訳

- ・ピニェット・パニェラ編「関連年表」『奇蹟の芸術都市バルセロナ展』（展覧会図録）

●講演・研究発表等

- ・「国際都市バルセロナの光と影」（コレクション・イン・フォーカス第2回〔特別編〕）2019年4月21日
- ・「四匹の猫と若きピカソの芸術」（コレクション・イン・フォーカス第4回〔特別編〕）2019年5月19日
- ・「知られざるノウサンティズマー地中海への眼差し」（コレクション・イン・フォーカス第5回〔特別編〕）2019年5月26日
- ・「ペレーアの画家とスペイン・ゴシックの転換期」（コレクション・イン・フォーカス第14回）2020年1月5日
- ・「津上みゆき展 View—人の風景」アーティストトーク（作家との対談）2019年9月15日
- ・「8月10日事件を経たヘラクレス像の政治的象徴性の変転—オーギュスタン・デュプレによるイメージに基づく図像解釈学的考察」（近世美術研究会／於、慶應義塾大学三田キャンパス）2019年9月28日

●その他

- ・スペイン国立プラド美術館研修（2019年10月28日～11月15日）

川口佳子

●講演等

- ・「森正洋の陶磁器デザイン」（コレクション・イン・フォーカス第8回）2019年7月14日
- ・「三川内焼の伝統技術」（コレクション・イン・フォーカス第13回）2019年12月15日
- ・「ヴィクトリア朝期グラスゴーの都市文化と芸術の開花」（「印象派への旅 海運王の夢 バレル・コレクション」展記念シンポジウム「印象派をめぐる都市の夢 グラスゴー、パリ、ハーグ」／講師：古谷可由氏、山下寿水氏、川口佳子／於、広島県立美術館）2020年1月12日

野中 明

●展覧会の企画・構成

- ・「奇蹟の芸術都市バルセロナ展」

●執筆等

- ・連載エッセイ「芸術ウェーブ」『長崎新聞』2018年5月～（奇数月第一日曜日掲載）
- ・『奇蹟の芸術都市バルセロナ展』（展覧会図録／企画・構成、編集、執筆）
章解説（プロローグ、第1、6章）、作品解説（第1、6章全点）、コラム「1937年パリ万国博覧会スペイン共和国パビリオン」
- ・「『View』—津上みゆきの仕事」『津上みゆき展 View——人の風景』（展覧会図録）
- ・「世界のポートレイトあるいは個人史——井田幸昌の絵画」『YUKIMASA IDA Crystallization』美術出版社、2020年6月

●講演等

- ・「都市の拡張とバルセロナ万博」（コレクション・イン・フォーカス第1回〔特別編〕）2019年4月14日

- ・「前衛美術の勃興、そしてスペイン内戦へ」（コレクション・イン・フォーカス第6回〔特別編〕）2019年6月2日
- ・「スペイン内戦とミロ」（コレクション・イン・フォーカス第15回）2020年2月16日

●審査等

- ・広島市現代美術館収集候補作品評価者

●その他

- ・鹿島美術財団外国人研究者招致（2019年4月）／招致研究者：フェルナンド・マルサー氏（Fernando Marzá／カタルーニャ建築家協会歴史資料館ディレクター、カタルーニャ工科大学建築学部教授）

福満葉子

●展覧会の企画・構成

- ・「クリスチャン・ボルタンスキー——Lifetime」展

●執筆等

- ・「〈アニミタス〉と《ミステリオス》——クリスチャン・ボルタンスキーの近作インスタレーションについての覚書」『クリスチャン・ボルタンスキー——Lifetime』（展覧会図録）水声社

●講演等

- ・「ボルタンスキーをめぐる旅1」（コレクション・イン・フォーカス第11回〔特別編〕）2019年10月20日
- ・「ボルタンスキーをめぐる旅2」（コレクション・イン・フォーカス第12回〔特別編〕）2019年11月17日
- ・「『クリスチャン・ボルタンスキー——Lifetime 展』について」（福岡日仏協会12月例会／於、アンステイテュ・フランセ九州）2019年12月3日

●調査・研究

- ・公益財団法人ポーラ美術振興財団平成31年度調査研究助成金受給（研究課題名：池野清研究）

松久保修平

●執筆等

- ・「守旧漸進のあゆみ—荒木十畝の画業」『荒木十畝—大村市所蔵作品による』展覧会リーフレット

●講演・研究発表等

- ・「和田英作《読み了りたる物語》—大正期における「読書する女性」の表象—」（第72回美術史学会全国大会／於、京都工芸繊維大学）2019年5月18日
- ・「荒木十畝の画業と作品」（コレクション・イン・フォーカス第7回）2019年6月9日
- ・「画家たちの長崎風景」（コレクション・イン・フォーカス第9回）2019年8月11日

森園 敦

●執筆等

- ・「『荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋』開催記念 梶島勝一展』（展覧会図録／執筆・編集）テキスト「異質な存在としての挿絵画家・梶島勝一」

●講演等

- ・「山本森之助の風景画」（コレクション・イン・フォーカス第10回）2019年10月6日

2) 刊行物一覧

[展覧会図録等]

(1)

奇蹟の芸術都市 バルセロナ展

BARCELONA THE CITY OF ARTISTIC MIRACLES
THE ESSENCE OF THE CATALONIAN MODERN ART FROM
THE MODERNISME TO THE AVANT-GARDE

謝辞 Acknowledgements

ごあいさつ Foreword

バルセロナが生んだ「奇蹟」——カタルーニャ美術館コレクション

ペペ・セラ カタルーニャ美術館館長

Miracle in Barcelona, The Collection of Museu Nacional d'Art de Catalunya

Pepe Serra, Director, Museu Nacional d'Art de Catalunya, Barcelona

カウ・ファラット美術館、ムダルニズマの聖地より

ビニェット・パニェラ シッジヤス文化財団、カウ・ファラット美術館館長

The Cau Ferrat Museum, A Temple of Modernisme

Vinyet Panyella, Director, Museu del Cau Ferrat (Consorci del Patrimoni de Sitges)

バルセロナから日本へ

イオランダ・バタリェ ラモン・リュイ財団 デイレクター

From Barcelona to Japan

Iolanda Batallé, Director, Institut Ramon Llull

目次 Contents

20世紀初頭にかけてのバルセロナにおける社会的および文化的状況の変革について

フランセスク・フォンボナ

貞奴と「四匹の猫」の画家たち～日本の舞姫が訪れたバルセロナ～

木下 亮

四匹の猫：エキセントリックな芸術の砦

フランセスク・キレス・コレリャ

カタログ | Catalogue

プロローグ

1 第1章 都市の拡張とバルセロナ万博

Expansion of the City and 1888 Barcelona Universal Exposition

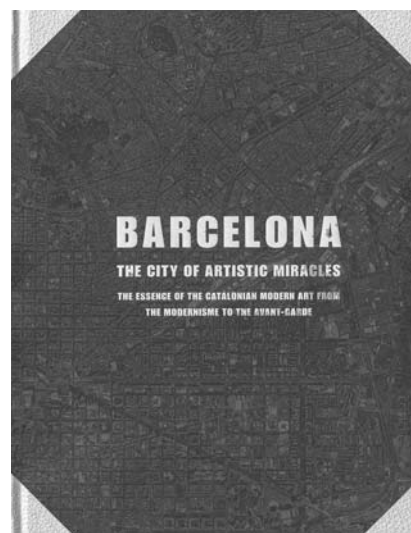
2 第2章 コスモポリスの光と影

Light and Shadow of Cosmopolis

コラム—インディアアノー—都市近代化の立役者

稲葉友汰

3 第3章 パリへの憧憬とムダルニズマ



Modernisme: Admiration for Paris

4 第4章 「四匹の猫」

“Els Quatre Gats”

コラム—近代ギター音楽とカタルーニャ

高瀬晴之

コラム—イジドラ・ヌネイのまなざし

谷口依子

5 第5章 ノウサンティズマ—地中海へのまなざし

Noucentisme – Gaze to the Mediterranean

コラム—スポーツとカタルーニャ・アイデンティティ

稲葉友汰

6 第6章 前衛美術の勃興、そして内戦へ

Rise of Avant – garde and to Spanish Civil War

コラム—アルティガスとミロ

不動美里

コラム—1937年パリ万国博覧会 スペイン共和国パビリオン

野中 明

ピカソの絵画形成におけるバルセロナとカタルーニャ美術

アドゥアル・バジェス

芸術産業の砦としての美術館

マリアンジェルス・フォンデビラ

カタルーニャにおける日本美術—芸術のインスピレーションを得るための新しいモデル

リカル・ブル

カタルーニャへの前衛芸術導入の過程

松田健児

関連年表

主要参考文献 | Selected Bibliography

The Changing Social and Cultural Circumstances in Barcelona at the Turn of the Twentieth Century

Francesc Fontbona

Sada Yacco and the Painters at “Els Quatre Gats” Barcelona visited by Japanese dancing actress

Akira Kinoshita

Els Quatre Gats: an Eccentric Artistic Bastion

Francesc Quílez Corella

Barcelona and Catalan Art in Picasso’s Training

Eduard Vallès

The Museum as a Bastion of the Artistic Industries

Mariàngels Fondevila Guinart

Japanese Art in Catalonia: New Models of Artistic Inspiration

Ricard Bru

The Process of Introducing Avant-garde Art to Catalonia

Kenji Matsuda

出品リスト

List of Works

作家一覧

【展覧会】

監 修：木下 亮（昭和女子大学）

企 画：長崎県美術館

姫路市立美術館

札幌芸術の森美術館

静岡市美術館

東京ステーションギャラリー

特別協力：カタルーニャ美術館

カウ・ファラット美術館

学術協力：リカル・ブル（バルセロナ自治大学）

マリアンジェルス・フォンデビラ（カタルーニャ美術館）

フランセスク・フォンボナ（美術史家）

マレン・グアル（ピカソ美術館）

フェルナンド・マルサー（カタルーニャ建築家協会歴史資料館）

ビニェット・パニェラ（カウ・ファラット美術館）

フランセスク・キレス（カタルーニャ美術館）

アドゥアル・バジエス（カタルーニャ美術館）

松田健児（慶応義塾大学）

企画・運営協力：神戸新聞社

キュレーターズ

【図録】

監 修：木下 亮

企画・構成：長崎県美術館

助 成：ラモン・リュイ財団

シッジヤス文化財団

執 筆：リカル・ブル

マリアンジェルス・フォンデビラ

フランセスク・フォンボナ

フランセスク・キレス

ビニェット・パニェラ

アドゥアル・バジエス

稲葉友汰（長崎県美術館）

小川かい（静岡市美術館）

木下 亮

高瀬晴之（姫路市立美術館）

谷口依子（姫路市立美術館）

野中 明（長崎県美術館）

平井菊花（札幌芸術の森美術館）

不動美里（姫路市立美術館）

松田健児

編集 集：長崎県美術館 稲葉友汰／野中 明

キュレーターズ 顧 知香／酒井由紀子／松岡佳世／水野昌美

編集協力：東京ステーションギャラリー 富田 章／羽鳥 綾／半澤紀恵／柚花 文／横山由紀子

翻 訳：Andrew Stacey

稲葉友汰

小川かい

久保田有寿

坂本龍太

杉原有紀（ATELIER OPA）

高部紗知代

柚花 文

横山由紀子

編集デザイン・制作：D_CODE 垣本正哉／河野素子／堂島 徹／加賀谷 静

印 刷：大伸社

発 行：神戸新聞社

28×21cm、392ページ、ハードカバー、3,000円＋税

(2)

クリスチャン・ボルタンスキー—Lifetime

Christian Boltanski—Lifetime

ごあいさつ Foreword

謝辞 Acknowledgement

クリスチャン・ボルタンスキーと神話

中井康之

Christian Boltanski and Mythology

Yasuyuki Nakai

クリスチャン・ボルタンスキーの作品における顔のイメージについて

山田由佳子

Faces in Christian Boltanski's Art

Yukako Yamada

〈アニミタス〉と《ミステリオス》

——クリスチャン・ボルタンスキーの近作インスタレーションについての覚書

福満葉子

Animitas and Misterios: Notes on Christian Boltanski's Recent Installations

Yoko Fukumitsu

終わりなき巡礼

湯沢英彦

Endless Pilgrimage

Hidehiko Yuzawa

対談

クリスチャン・ボルタンスキー×杉本博司

Conversation Between

Christian Boltanski and Hiroshi Sugimoto

亡霊（的な）88の質問

関口涼子

88 Ghost Questions

Ryoko Sekiguchi

作品リスト

List of Works

クリスチャン・ボルタンスキー年譜

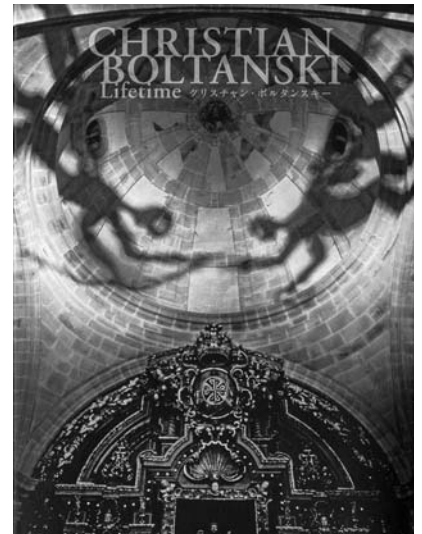
A Biography of Christian Boltanski

日本語参考文献

Selected Bibliography

図版リスト

List of Plates



【展覧会】

監 修：クリスチャン・ボルタンスキー
企画制作サポート：エヴァ・アルバラン社
エヴァ・アルバラン
クレマン・ウアザナ
シャルロット・リシャール

学芸担当：国立国際美術館
中井康之（副館長兼学芸課長）
尹 志慧（研究補佐員）
国立新美術館
山田由佳子（主任研究員）
小野寺奈津（特定研究員）
長崎県美術館
福満葉子（学芸専門監）

白羽明美

企画・運営：国立国際美術館
国立新美術館
長崎県美術館
朝日新聞社

【カタログ】

編 集：国立新美術館
山田由佳子、小野寺奈津
国立国際美術館
中井康之、尹 志慧
長崎県美術館
福満葉子
水声社
飛田陽子、村山修亮
編集補助：池田淳史（国立新美術館インターン）
執 筆：クリスチャン・ボルタンスキー
中井康之
山田由佳子
福満葉子
湯沢英彦
関口涼子
クレマン・デイリエ
ジャン＝ユベール・マルタン
対 談：クリスチャン・ボルタンスキー
杉本博司
翻 訳：（仏文英訳）
リンジー・ターナー
EMC Traducciones
ダヴィッド・ラジノヴィッチ
クレマン・デイリエ

(和文英訳)

シュリル・シルバーマン

須川咲子

クリストファー・ステイヴンズ

中山ゆかり

ティム・グローヴズ

(仏文和訳)

福満葉子

山田由佳子

(英文和訳)

山田由佳子

小野寺奈津

白羽明美

池田淳史

尹 志慧

折居耕拓 (国立国際美術館インターン)

竹花藍子 (国立国際美術館インターン)

藤井 泉 (国立国際美術館インターン)

英文校閲：中西園子

デイヴィッド・ホール

ブック・デザイン：折原 滋 (O design)

印刷：精興社

発行：水声社

26×20cm、204ページ、ハードカバー、3,000円+税

(3)

JOJOicle

荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋 クロニクル

INTRODUCTION／中条省平

新作大型原画 裏切り者は常にいる メイキング

2018年 東京

2018 - 2019年 大阪

荒木飛呂彦 インタビュー 「^{ファンタジーワールド}異空間を作っていくのが僕の絵です」

2020年 長崎

挿絵画家・椛島勝一をめぐる「奇妙な縁」／森園 敦（長崎県美術館）

2020年 金沢

お互いの「作品」が、金沢の地で出会う／西沢立衛（SANAA）

長崎会場・金沢会場 展示図録

原画展クロニクル

椛島良介（初代担当編集者）インタビュー 荒木飛呂彦との出会いから、長崎会場での奇妙な邂逅まで

著 者：荒木飛呂彦

©HIROHIKO ARAKI & LUCKY LAND COMMUNICATIONS/SHUEISHA

映像制作／WOW

©ANREALAGE

写真提供：株式会社 丹青社 撮影：株式会社 ビップス

発行人：田中 純

発行所：株式会社 集英社

印刷所：大日本印刷株式会社

スタッフ：戸澤好彦／清水裕一／米樹博之（樹想社）

井藤 涼／服部ジャン＝バティスト哲

横井秀和／菅井佑允／岩田晋弘

内山竜輔／水口隆史／田村修子（集英社）

デザイン：小林 満／工藤亜希／黒川智美（ジュニアロイド）

26×19cm、200ページ、ソフトカバー、2,200円＋税



(4)

「荒木十畝 大村市所蔵作品による」展リーフレット

ARAKI JIPPO

ごあいさつ

大村市所蔵 荒木十畝コレクションの形成について

大村市教育委員会 文化振興課

学芸員 山下和秀

守旧漸進のあゆみ—荒木十畝の画業

長崎県美術館

学芸員 松久保修平

荒木十畝 略年譜

主要参考文献

執 筆：山下和秀（大村市教育委員会文化振興課）

松久保修平（長崎県美術館）

編 集：松久保修平

制作・デザイン：納富司（納富司デザイン事務所）

印 刷：株式会社昭和堂

発 行：長崎県美術館

19×26cm、リーフレット



(5)

展覧会図録

津上みゆき展 View—人の風景

Exhibition Catalogue

Tsugami Miyuki: View – People and Landscapes

謝辞

Acknowledgement

ごあいさつ

Message from Organizers

目次 Contents

View—人の風景

津上みゆき

View – People and Landscapes

Miyuki Tsugami

心象の群れに寄せて

朝井まかて

A Menagerie of Mental Images

Macate Asai

I かの時々 呼応の海

Bygone Times A Sea of Hailing

II 人の風景

People and Landscapes

「View」—津上みゆきの仕事

野中 明

Views: The Work of Tsugami Miyuki

Akira Nonaka

うつろいととこしえ—津上みゆき作品における「時」

稲葉友汰

Transience and Eternity - “Time” in the Works of Miyuki Tsugami

Yuta Inaba

作家略歴

Biography

執 筆：津上みゆき

朝井まかて

野中 明

稲葉友汰

翻 訳：ジェームス・ケティング

クリストファー・ステイヴンズ

撮 影：三嶋一路



スタジオアートアイ

野中 明

編 集：長崎県美術館

デザイン：株式会社ピーエス・クリエイティブ

印 刷：株式会社 昭和堂

発行日：2019年8月3日

発 行：長崎県美術館

19×26cm、130ページ、ソフトカバー、2,000円+税

(6)

富永直樹—陶板の仕事

ごあいさつ

作家略歴

作品リスト

編集：長崎県美術館

撮影：長崎県美術館

発行：長崎県美術館

26×19cm、リーフレット



(7)

展覧会図録

「荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋」開催記念 梶島勝一展
Kabashima Katsuichi

ごあいさつ
謝辞

目次

展覧会によせて 荒木飛呂彦
異質な存在としての挿絵画家・梶島勝一 森園 敦
図版
『少年倶楽部』（講談社）を中心とした挿絵原画
梶島勝一のペン画
正チャンの冒険
デザイナーとして
資料
略年譜
出品リスト

編 集：長崎県美術館
執 筆：森園 敦（長崎県美術館学芸員）
制作・デザイン：町田 淳（株式会社 ピーエス・クリエイティブ）
印 刷：株式会社 昭和堂
発 行：長崎県美術館
19×26cm、60ページ、ソフトカバー、1,000円+税



[その他]

(8)

平成30年度 長崎県美術館年報 No. 13

Nagasaki Prefectural Art Museum ANNUAL REPORT 2018



目次

1. 沿革・主な出来事
2. 利用者数一覧
3. 展覧会事業
 - 1) 企画展
 - 2) コレクション展
4. 教育普及事業・生涯学習事業
5. 補助金等による事業
6. 収集事業
7. 保存・修復事業
8. 作品貸出記録
9. 調査・研究事業
10. アートボランティア事業
11. 広報マーケティング事業
12. イベント等
13. 貸施設事業
14. ショップ、カフェ
15. 収支
16. 組織
17. 建築概要
18. 基本理念
19. 関係法規

編集：公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団

印刷：株式会社 昭和堂

発行：公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団

A4判、119ページ、ソフトカバー、非売品

10. アートボランティア事業

1) 登録人数 (R 2 年 3 月31日現在)

男	13人	13%
女	87人	87%
合計	100人	100%

2) 活動内容

名 称	内 容
図 書	・ 図書登録作業 ・ 書庫資料整理
学 芸	・ コレクション展の作品解説
運 営	・ イベント補助
広 報	・ チラシポスター発送作業 ・ 資料整理、新聞切り抜き
教 育	・ 教育普及生涯学習事業補助 (スクールプログラム、アートクラブ等)
共 通	・ 情報コーナー活動 ・ ボランティア通信作成 ・ ポスター掲示配布 ・ イベント補助 ・ 自主運営活動 (チャリティーバナーバッグ活動) ・ アトリエ整備

3) 活動実績

開催時期	内 容
4月13日(土)	新年度オリエンテーション
4月18日(木)	ボランティア通信 vol. 26発行
5月25日(土)～7月26日(金)	チャリティー活動「バナーバッグづくり」
8月4日(日)	チャリティー活動「バナーバッグ販売・募金活動」
9月18日(水)、25日(水)	ボランティア研修「英会話講座」
10月14日(月・祝)	ボランティア通信 vol. 27発行
11月20日(水)、12月26日(木)	クリスマスツリー設置・撤去
3月10日(火)～22日(日)	ボランティア活動の全面休止 (新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環)

4) 研修、交流会等

(1)新年度オリエンテーション

年度事業計画案を共有すると共に、分野毎に担当職員を交えた意見交換会を実施。

日時：4月13日(土) 10:30~12:00

会場：ホール、アトリエ

参加人数：36人

(2)チャリティー活動「バナーバッグづくり」

売上金を国内の文化財保存修復を目的に寄付するためのチャリティー活動。使用済みの展覧会告知用バナーをリサイクル素材としてオリジナルバナーバッグを制作。

期間：5月25日(土)~7月26日(金)

会場：アトリエ、講座室

参加人数：延べ93人

(3)チャリティー活動「バナーバッグ販売・募金活動」

概要：制作したバナーバックを販売。募金箱も設置し、後日、売上金と併せ全額を「文化財保護・芸術研究助成財団」へ寄付。

日時：8月4日(日) 10:30~14:00

会場：アトリエ

参加人数：12人

(4)ボランティア研修「英会話講座」

ボランティア活動時、外国人来館者への初期対応に役立つことを目的とした英会話講座を実施。

日時：9月18日(水)、25日(水) 10:30~12:00

会場：講座室、常設展示室

参加人数：合計12人

講師：ジョン・ブロック (Jeremy English School 代表)



11. 広報マーケティング事業

1) 主要広報記録

(1) テレビ・新聞（展覧会事業は除く）

放送日・発売日	種別	媒体	内容
4月23日	テレビ	ncm「なんでんカフェ」	カフェ新メニュー
4月26日	新聞	長崎新聞、西日本新聞	ノートルダム募金箱設置
5月4日	テレビ	NIB「news every.サタデー」「NIB ニューススポット」	春のぼかぼか美術館「読み語りコンサート」
5月17日	新聞	西日本新聞	カフェ新メニュー
8月21日	新聞	長崎新聞、毎日新聞	日中青少年交流大会
12月6日	新聞	長崎新聞	釜山市立美術館でのワークショップ
12月11日	新聞	長崎新聞	移動美術館（島原市）
12月13日	テレビ	NHK ニュース	移動美術館（島原市）
12月20日	テレビ	NHK「ながさきナビゲーター ヒルミテ」「イブニング長崎」	イルミネーション
12月20日	テレビ	ncm「なんでんカフェのクリスマス」	美術館から中継
1月8日	テレビ	NHK「イブニング長崎」、NBC「N スタプラス長崎」	文化庁メディア芸術祭長崎展
1月9日	テレビ	ncm「なんでんカフェ」	文化庁メディア芸術祭長崎展
1月9日	新聞	長崎新聞	文化庁メディア芸術祭長崎展
1月13日	新聞	毎日新聞	文化庁メディア芸術祭長崎展
1月17日	新聞	長崎新聞	文化庁メディア芸術祭長崎展
1月21日	テレビ	KTN「KTN Live News it!」	奈良原一高さん訃報
2月9日	新聞	西日本新聞	釜山の写真家によるワークショップ
3月2日	テレビ	NIB「news every.」	新型コロナウイルス対策
3月10日	新聞	長崎新聞	米田館長退任
3月26日	新聞	長崎新聞	米田館長退任知事へのあいさつ
3月27日	新聞	長崎新聞	米田館長インタビュー
3月31日	テレビ	NHK「イブニング長崎」、KTN「先どり Live News it!」、NCC「スーパーJチャンネル長崎」、NIB「news every.」	館長交代会見
3月31日	新聞	西日本新聞	米田館長インタビュー

(2) 雑誌等（展覧会事業は除く）

発売日・掲載日	種別	媒体	コーナー	内容
5月13日	ガイドブック	るるぶ長崎 ハウステンボス 佐世保 雲仙 '20		館紹介
5月16日	ガイドブック	まっふる長崎 ハウステンボス 佐世保・五島列島 '20		館紹介
6月17日	単行本	かわいい！パケ買いデザイン		ショップ商品（BISCUI10）紹介
7月2日	ガイドブック	ことりっぶ長崎		館紹介
7月10日	ガイドブック	るるぶ九州ベスト '20		館紹介
10月10日	web	Precious.jp	西日本の美術館5選 スイーツとアートが楽しめる、おしゃれなカフェ&レストランがある美術館	カフェ紹介
10月10日	ガイドブック	るるぶハウステンボス		館紹介
10月29日	単行本	The Art Lover's Guide To Japanese Museums		館紹介
11月7日	雑誌	CREA 12月号	贈りもの特集	ショップ商品（BISCUI10）紹介
11月30日	雑誌	九州じゃらん 1月号	イルミお出かけベストプラン13	イルミネーション紹介
12月23日	ムック	美術展びあ2020		展覧会スケジュール
12月25日	雑誌	クロワッサン 12月25日号		館紹介
1月15日	ガイドブック	まっふる九州 '21		館紹介
3月6日	雑誌	OZ TRI P2020年 4月号	アート初心者にもおすすめの美術館	館紹介
3月26日	雑誌	建築でめぐる美術館	押さえておきたい名建築ミュージアム	館紹介
3月31日	ムック	おとなが愉しむ すごい美術展2020		展覧会スケジュール

(3) プレスリリース (50件)

発行日	内 容
4月2日	企画展「誕生50周年記念 リカちゃん展」2万人セレモニー
4月5日	春のぼかぼか美術館／春のぼかぼか美術館プレイベント／2019長崎帆船まつり「打ち上げ花火」鑑賞
4月15日	小企画展「荒木十畝一大村市所蔵作品による」オープニングセレモニー
4月16日	ウィークエンドミュージアム2019年6～10月／「2019子どもアートクラブ」メンバー募集
4月17日	長崎県美術館カフェ 長崎県産の有機栽培米や野菜を使った新メニュー登場 2019年4月20日(土)より
4月26日	5月1日(水・祝) 天皇陛下御即位を慶祝してコレクション展無料公開
5月15日	企画展「奇蹟の芸術都市バルセロナ展 ガウディ、ピカソ、ミロ、ダリ―美の巨星たちを育んだカタルーニャの煌めき」1万人セレモニー
5月28日	企画展「名探偵コナン 科学捜査展 ～真実への推理(アブダクション)～」
6月11日	「名探偵コナン 科学捜査展」オープニングセレモニー
6月14日	コレクション展展示替え「収蔵名品展」「須磨コレクション2」「2018年度新収蔵品より―田川憲」「スペイン近現代2」
6月19日	小企画展「津上みゆき展『View一人の風景』」
7月4日	2019ながさきみなとまつり「打上花火」鑑賞／オリジナルバナーバッグチャリティー販売 in 長崎県美術館／夏休みワークショップ ハンティング・トロフィーをつくろう／夏のおしゃべり鑑賞会
7月10日	企画展「写真展 オードリー・ヘプバーン」
7月18日	「名探偵コナン 科学捜査展」1万人セレモニー
7月23日	企画展「クリスチャン・ボルタンスキー―Lifetime」
7月23日	「津上みゆき展」オープニングセレモニー
8月1日	2020年度長崎県美術館・県民ギャラリー使用者募集
8月3日	「名探偵コナン 科学捜査展」2万人セレモニー
8月16日	「名探偵コナン 科学捜査展」3万人セレモニー
8月19日	「日中青少年交流大会」オープニングセレモニー
8月26日	コレクション展展示替え「長崎ゆかりの美術―工芸」「山本森之助が描いた日本の山の風景」
9月25日	秋のアトリエ2019
9月25日	「オードリー・ヘプバーン展」開催、カフェ期間限定メニュー
10月2日	「クリスチャン・ボルタンスキー展」オープニングセレモニー
10月17日	「オードリー・ヘプバーン展」1万人セレモニー
10月29日	スペイン美術講演会《「ゲルニカ」ゴヤからピカソへ―歴史の事実か芸術の真実か―》／コレクション展展示替え「長崎とキリスト教」
10月31日	ウィークエンドミュージアム2019年11月～2020年3月
11月15日	長崎県美術館カフェ新メニュー 〔冬の期間限定〕有機トマトのミネストローネスープセット
11月16日	「荒木飛呂彦原画展」新作キービジュアル公開
11月20日	運河沿いのイルミネーション／イブニングライブ～クリスマススペシャル～／Xmas JOINT CONCERT 2019／長崎 OMURA 室内 合奏団 まちかどコンサート 美術館コンサート～冬の音～
12月10日	コレクション展展示替え「須磨コレクション3」「スペイン近現代美術3」
12月19日	コレクション展展示替え「『荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋』開催記念 荒木飛呂彦先生コレクション 梶島勝一展」
12月25日	「クリスチャン・ボルタンスキー展」1万人セレモニー
12月26日	企画展「木梨憲武展 Timing - 瞬間の光り - 」
1月13日	遠隔授業(小値賀町立小値賀中学校)
1月13日	小値賀中学校と長崎県美術館の遠隔授業時間変更のお知らせ
1月15日	企画展「荒木飛呂彦原画展 JOJO 冒険の波紋」メディア内覧会等(後援各社用、その他のメディア用の2種を配信)
1月20日	令和2(2020)年度展覧会スケジュールのお知らせ
1月30日	「荒木飛呂彦原画展」1万人セレモニー
1月31日	企画展「デザインあ展 in NAGASAKI」
2月7日	長崎県美術館と釜山市立美術館を核とした日韓文化交流事業 イ・ドングン氏(釜山市立美術館推薦作家、写真家)によるワーク ショップ
2月14日	「荒木飛呂彦原画展」2万人セレモニー
2月26日	コレクション展観覧料金、施設・備品等の貸出料金改定／コレクション展観覧料金における障害者利用減免措置の対象変更
2月26日	コレクション展観覧料金における障害者利用減免措置対象の変更日訂正のお知らせ
3月1日	長崎県美術館の新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴う対応について
3月3日	「木梨憲武展」木梨憲武氏への合同取材
3月18日	「デザインあ展」開催中止のお知らせとおわび
3月20日	長崎県美術館の新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の実施期間延長について
3月25日	長崎県美術館 館長交代に伴う記者説明会
3月27日	コレクション展展示替え「収蔵名品展+2019年度新収蔵作品」「須磨コレクション1」「奈良原一高一人間の土地」「スペイン近現代 美術1」

2) 広報印刷物

令和元年の展覧会を紹介する「年間スケジュール」、全館広報紙「年間イベントスケジュール」を発行し、展覧会情報及びイベント、貸館、カフェ、ショップ情報を積極的に紹介。公共施設、全国の美術館、各種企業等に広く配布した。また、1週間の美術館情報を集約した「今週のご案内」を館内2箇所に掲示し、週ごとの情報発信を行った。

- (1)年間スケジュール A4、三つ折り、4色/4色 40,000部
- (2)年間イベントスケジュール B4、二つ折り、4色/4色 27,600部(2,300部/月)
- (3)今週のご案内 B2、片面2色、毎週月曜日に情報更新



3) ホームページ

展覧会、教育普及、イベント、ミュージアムショップ、カフェ、美術館ニュースなどについて常にタイムリーな情報を更新。貸会場の貸し出し状況の公開、収蔵作品紹介、募集案内（貸会場、各種入札、スタッフ募集）などの情報公開も行った。

<http://www.nagasaki-museum.jp>

ページ構成：

- ・トップページ（週間スケジュール、イベントカレンダー、お知らせ）
- ・企画展（令和元年度企画展情報、企画展年間スケジュール）
- ・コレクション展（開催中の展覧会情報、コレクション展及び移動展年間スケジュール）
- ・県民ギャラリー等（貸会場のうち、展覧会を紹介）
- ・学校利用（スクールプログラム学校利用案内）
- ・各種イベント（ワークショップ、講演会等、コンサート、アートビジョン、その他イベント情報）
- ・基本情報（施設情報、料金・アクセス、貸会場、館長あいさつ、コンセプト、沿革、条例、ボランティア、他館との連携、年報、財団財務状況）
- ・所蔵品検索（名品案内、作家検索、作品検索、コレクション展の作品、美術図書検索）
- ・各種申込み（ワークショップ、講演会、メルマガ申込み、会員（プレミアムメンバーズ）、スクールプログラム、貸会場、団体申込み、ミュージアムショップ）
- ・ショップ&カフェ（ミュージアムショップ情報、カフェ情報）
- ・年間会員・寄附（パートナーズ紹介、寄附について）
- ・美術館公式ツイッター
- ・ミュージアムショップ公式ツイッター
- ・美術館公式 Instagram
- ・美術館公式 YouTube
- ・プログアトリエ便り（教育普及・生涯学習事業の活動紹介）
- ・ながさきミュージアムネットワーク
- ・友好館（スペイン国立プラド美術館、釜山市立美術館）
- ・オフィシャルパートナー（株式会社ジャバネットホールディングス）
- ・英語版サイト（館長あいさつ、施設案内、開館時間等、アクセス、収蔵作品案内、年間スケジュール）
- ・リクルート（職員募集等）
- ・リンク（県内主要施設・観光団体・提携美術館・交通機関など17件にリンク）

アクセス件数：

825,404件（1日平均2,261件）



企画展画面（一部）

4) アートビジョン

館主催事業の情報や当館賛助会員企業名等の基本情報の放映、館内のイベントと連動し、「春のぽかぽか美術館」告知映像や長崎県内の大学生が中心となり企画したイベント「満月 BAR」関連企画として映画『月世界旅行』の放映を行った。また、「即位の礼」関連儀式や「第101回全国高等学校野球選手権記念大会」の同時放映を行った。貸し施設として、KTN テレビ長崎とエフエム長崎が主催するイベント「Love Fes2019」の告知映像、県内高校生の映像作品を放映した。

(1) 主な基本上映内容

- ・総合案内映像（美術館基本情報）
- ・展覧会案内（企画展・コレクション展・県民ギャラリー・運河ギャラリーを告知）
- ・美術館ロゴモーショングラフィックス（日本デザインセンター制作）
- ・美術館イメージ映像（高城剛氏制作）
- ・スペースシャワー TV 告知映像
- ・協賛企業名表記
- ・オフィシャルパートナー「株式会社ジャパネットホールディングス」の企業 CM

(2) 映画上映（視聴無料）

満月 BAR「上映会『月世界旅行』」

日時：11月9日(土) 18：15～、18：45～、19：15～、19：45～

内容：ジョルジュ・メリエスが監督した世界初のSF映画を上映（1902年／フランス／12分／モノクロ）

(3) その他上映

No	上映日時	上映時間	上映回数	内容	主催者等
1	5月1日(水・祝)	9：40～	1回	NHKの番組「即位の礼」関連儀式の同時放映	日本放送協会
2	① 8月12日(月) ② 8月16日(金)	① 10：30～ ② 15：30～	1回 1回	第101回全国高等学校野球選手権記念大会 海星高等学校 出場試合同時放送	日本高等学校野球連盟、 朝日新聞社
3	10月26日(土)～11月4日(月)	10：30～16：30の間	110回	Love Fes 2019 イベント告知2種	株式会社テレビ長崎
4	11月1日(金)～11月4日(月)	10：00～16：03の間	24回	2019年度 長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】現代アート部門（映像）作品	長崎県高等学校文化連盟 美術専門部

No. 3、4は、貸し施設として上映。

5) 会員事業

(1) メールマガジン

毎月1回メールマガジンを発行。館長コラムや展覧会、イベント情報を掲載。メールマガジン登録はホームページより行い、発行履歴はホームページ上に掲載される。

年間発行回数：15回／会員数：1,351人（令和2年3月末）

(2) 年間フリーパスポート

- ・コレクション展の年間フリーパス ※継続希望者のみ発行

料金：一般1,200円、大学生900円、小中高生600円、シニア（70歳以上）900円

年間発行実績：1枚（令和2年3月末）

(3) プレミアメンバーズカード（個人会員）

- ・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス
- ・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10%割引
- ・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：5,000円

会員数：821人（令和2年3月末）

(4) ミュージアムパートナーズカード（賛助会員）

- ・館主催企画展とコレクション展の年間フリーパス（1口につきカード1枚発行）
- ・1口につき館主催企画展招待券を50枚、コレクション展招待券を20枚発行
- ・ミュージアムショップ（一部商品を除く）とカフェの料金を10%割引
- ・館内、アートビジョン、およびホームページにて賛助会員リストを記載
- ・毎月、月間イベントスケジュール他最新情報を郵送

年会費：1口50,000円

会員数：87法人・109口（令和2年3月末）

(5) キャンパスパートナーズ（大学会員）

- ・学生証の提示でコレクション展が年間フリーパス
- ・館主催企画展はコレクション展との差額料金（差額が500円を超える場合は400円）。
- ・カフェの料金を10%割引

年会費：

学生数	年会費（税込）
300人未満	30,000円
1,000人未満	80,000円
2,000人未満	150,000円
4,000人未満	250,000円
4,000人以上	350,000円

令和元年度会員：長崎外国語大学、長崎歯科衛生士専門学校、長崎県美容専門学校

(6) オフィシャルパートナー

- ・美術館事業への協賛

会員数：1法人（令和2年3月末）

6) 入館者アンケート

アンケート収集方法・・・毎月1～2回（土日祝）、エントランスロビーにてインタビュー方式により収集。

アンケートサンプル数・・・1,014

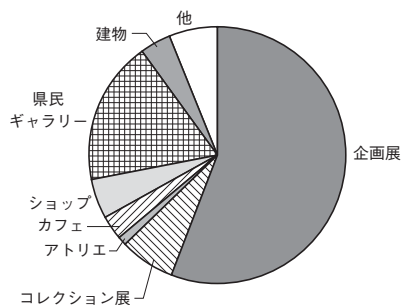
アンケート質問内容

1. 来館目的
2. 満足度
3. 来館回数
4. 基本情報（性別、年齢、居住地）

集計結果：

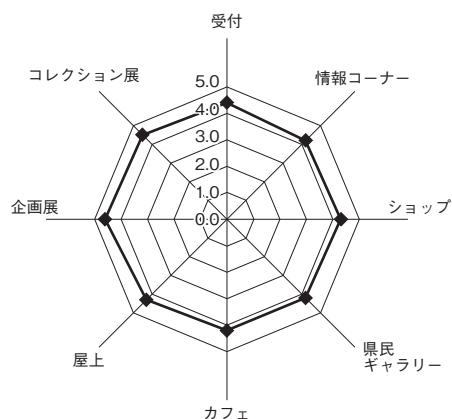
1

来館目的（複数回答）							
企画展	コレクション展	アトリエ	カフェ	ショップ	県民ギャラリー	建物	他
56%	7%	1%	3%	5%	18%	4%	6%



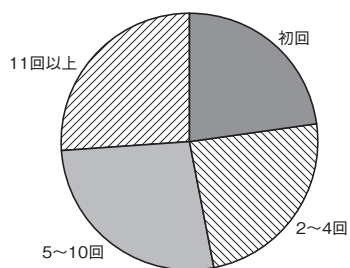
2

満足度（5段階評価）							
受付	情報コーナー	ショップ	県民ギャラリー	カフェ	屋上	企画展	コレクション展
4.4	4.2	4.3	4.2	4.2	4.3	4.6	4.5



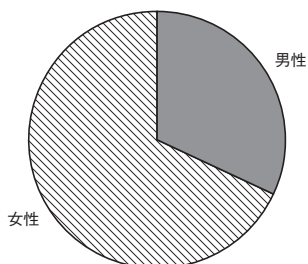
3

来館回数			
初回	2～4回	5～10回	11回以上
23%	24%	27%	26%

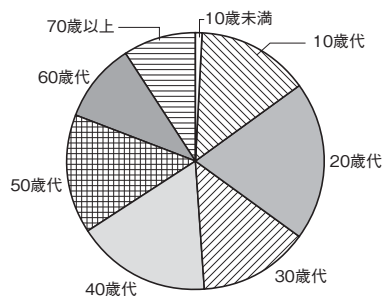


4

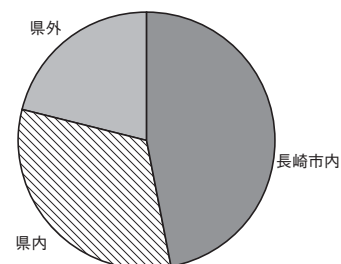
性別	
男性	女性
32%	68%



年齢構成（歳代）							
10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
1%	14%	20%	14%	17%	15%	10%	9%



県内外		
長崎市内	県内	県外
47%	32%	21%



12. イベント等

1) コンサート・イベント

(1)イブニングライブ (無料)

概要：芸術の発信場所である美術館として、美術はもとより、芸術性の高い音楽を提供する事業として、開館年度である平成17年5月から開催。美術と音楽との融合を目指し、展覧会に沿った内容や季節に応じたコンサートを開催。また展覧会のオープニングセレモニーでの演奏も行う。更に大学との連携事業として、学生の学外における体験型教育の支援事業としても推進するとともに、学生ボランティアの活動の場を提供することで、広く地域との交流を持った事業として展開。本年度は、4月と5月に通算300回記念のスペシャルライブを行った。2020年3月に開催予定であった第318回は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった。

出演：長崎大学教育学部、活水女子大学音楽学部 学生・教員・卒業生

日時：毎月2回日曜日に開催 1日2ステージ開催 (第299回～第318回)

会場：エントランスロビー

総入場者数：2,190人 (イブニングライブスペシャルも含む)



イブニングライブスペシャル By 長崎大学「祝300回記念BTTCC (バックトゥーザクラシック)」

出演：長崎大学教育学部音楽専攻教員・学生・卒業生 (佐々木優依、山崎敦子)

日時：4月21日(日) 16:30～17:10、18:30～19:10

会場：エントランスロビー

入場者数：170人



イブニングライブスペシャル By 活水女子大学 「長崎に吹く管楽器の新しい風」

出演：活水女子大学講師 (熊川亜希、朝重幸子、桐谷美貴子、森亜希子)

日時：5月12日(日) 16:30～17:15、18:30～19:15

会場：エントランスロビー

入場者数：120人



(2)花火イベント (無料)

①2019長崎帆船まつり「花火大会鑑賞会」

概要：「長崎帆船まつり」の打ち上げ花火を屋上庭園にて観賞。

日時：4月20日(土)、21日(日) 各日20:30～ (開場20:10)

会場：屋上庭園

入場者数：154人

②2019ながさきみなとまつり「花火大会鑑賞会」

概要：「ながさきみなとまつり」の打ち上げ花火を屋上庭園にて観賞。

日時：7月27日(土)、28日(日) 各日20:30～ (開場20:10)

会場：屋上庭園

入場者数：968人

(3)共催事業

文化庁メディア芸術祭長崎展

「ワンダリングワールド～メグル・ココロ・オドル～」(無料)

概要：長崎県美術館をメイン会場としサテライトを形成する各会場にあわせ、文化庁メディア芸術祭の受賞作品を中心に、地域連携要素を持つ作品、映像の中に飛び込んで戦う姿が多く体験者たちとつながる作品や、長

崎の歴史的な風景と現在を往来する AR 作品等を展示した。また会期中には、多様な体験ワークショップやイベント、トークを開催した。

会期：2020年1月8日(水)～1月19日(日)

メイン会場：長崎県美術館

サテライト会場：長崎県庁舎、長崎市旧香港上海銀行長崎支店記念館、長崎港松が枝国際ターミナル

入場者数：7,032人（長崎県美術館のみの人数）

主催：文化庁

共催：長崎県、長崎県美術館

協力：長崎市、長崎国際観光コンベンション協会、アイランドナガサキ、NHK 長崎放送局

企画ディレクター：森山朋絵（東京都現代美術館学芸員／メディアアートキュレーター）

企画・運営：一般財団法人 NHK インターナショナル



①展示作品（長崎県美術館）

作品名：『チョコちゃんに叱られる！』

作者名：『チョコちゃんに叱られる！』制作チーム

会場：運河ギャラリー

作品名：『のらもじ発見プロジェクト』

作者名：下浜臨太郎／西村斉輝／若岡伸也

会場：エントランスロビー

作品名：『HERO HEROINE』

作者名：GRINDER-MAN

会場：エントランスロビー

マンガ部門受賞作品

第22回文化庁メディア芸術祭受賞8作品を自由に閲覧できるコーナーを設置

会場：情報コーナー

②上映作品（会場：長崎県美術館ホール）

作品名：『この世界の片隅に』

作者名：片淵須直

日時：1月13日(月・祝) 14:00～

作品名：劇場アニメ「君の隣をたべたい」

作者名：『君の隣をたべたい』制作チーム
(代表：牛嶋新一郎)

日時：1月18日(土) 14:00～

作品名：『ペンギン・ハイウェイ』

作者名：石田祐康

日時：1月19日(日) 14:00～

映像プログラム

第22回文化庁メディア芸術祭受賞作品・審査委員会推薦作品の中から8作品を上映

③地域連携プロジェクト

作品名：錯視地図

作者名：錯視ブロックプロジェクト

会場：運河ギャラリー

作品名：『Co(AI)xistence』

作者名：Justine Emard

会場：講座室

作品名：FORESTA LUMINA（映像紹介）

作者名：『FORESTA LUMINA』制作チーム

会場：橋の回廊

④関連イベント

イベント名：チョコちゃんが長崎にやってくる！

概要：番組『チョコちゃんに叱られる！』のチョコちゃんが長崎初登場。チョコちゃんと一緒に撮影会も実施。

日時：1月12日(日) ①11:00～ ②13:00～ ③15:00～

会場：ホール

イベント名：「のらもじレタリング缶バッジづくり」ワークショップ

概要：長崎で発見した「のらもじ」（古い街並みにたたずむ個性的で味のある文字）を題材に、好きな言葉（2～4文字）をレタリングして缶バッジを作成。

日時：1月12日(日) ①10:00～13:00 ②14:30～17:30

講師：下浜臨太郎（のらもじ発見プロジェクト）

対象：中学生以上（デザインに興味のある人）

会場：アトリエ

イベント名：「錯視ブロック」ワークショップ

概要：長崎県美術館を中心とした地図の上に、昔ながらの商店街や、工場、家、そして美術館や公園を錯視ブロックを使って表現。

日時：1月13日(月・祝) ①10:30～12:30（対象：10歳以上）
②14:00～16:00（対象：中学生以上）

講師：錯視ブロックプロジェクト

（大谷智子、丸谷和史、中村美恵子、ヒガキユウコ）

会場：アトリエ

(4)連携事業

① Lovefes Lovebaby zone（無料）

概要：0歳～5歳の乳幼児をメインターゲットとし、ハイハイレースやかえっこパズルなど館内各所で様々なイベントを開催した。

日時：11月3日(日)、4日(月・祝)

会場：エントランスロビー、講座室、ホール、運河ギャラリー
入場者数：8,500人

主催：KTN テレビ長崎

協力：長崎県美術館

②長崎県しまの芸術祭「満月 BAR」(無料)

概要：県内の大学生が中心となって運営し、音楽やダンス、アート作品とともに紙あかり等で彩られた空間で県産品を味わいながら人々が交流を楽しむイベントを開催した。

日時：11月9日(土) 15:00~21:00

会場：エントランスロビー、運河劇場

入場者数：のべ920人

出店：6店舗 (food&drink)

主催：満月 BAR 推進実行委員会、長崎県

協力：長崎県美術館、長崎大学、活水女子大学、縁 JOY プロジェクト、長崎県中小企業団体中央会青年部

2) 主催以外のイベント (協力)

(1)森恵 Live tour

出演：森恵

日時：4月6日(土) 開場17:00/開演17:30

会場：エントランスロビー

入場料：全席自由4,500円

入場者数：100人

主催：エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(2)ダイスケ live tour

出演：ダイスケ

日時：4月14日(日) 開場20:00/開演20:30

会場：エントランスロビー

入場料：全席自由4,200円

入場者数：50人

主催：エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(3)NEIGHBORS COMPLAIN live tour

出演：NEIGHBORS COMPLAIN

日時：5月10日(金) 開場20:00/開演20:30

会場：エントランスロビー

入場料：全自由席4,000円

入場者数：70人

主催：エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(4)風人雷人 (ATSUSHI×中村達也) in 長崎県美術館

出演：ATSUSHI (Dragon ash/踊り)、中村達也 (ドラム)

日時：6月8日(土) 開場20:00/開演20:30

会場：エントランスロビー

入場料：一般3,000円

入場者数：100人

主催：エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(5)ハンバート家の平日 2019 夏篇

出演：ハンバート×ハンバート

日時：6月14日(金) 開場20:00/開演20:30

会場：エントランスロビー

入場料：全自由席4,500円

入場者数：220人

主催：エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(6)まちかどコンサート (無料)

出演：樋口芳美 (クラリネット)、田辺清士 (チェロ)、野澤彩子 (ピアノ) ※客演

日時：8月12日(月・祝) 18:30~

会場：エントランスロビー

入場者数：60人

主催：長崎 OMURA 室内合奏団

協力：長崎県美術館

(7)orange pekoe 20th special live

出演：orange pekoe

日時：9月13日(金) 開場20:00/開演20:30

会場：エントランスロビー

入場料：全自由席4,000円

入場者数：170人

主催：エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(8)長崎県新人演奏会出演者による Museum Concert 2019 (無料)

概要：本県クラシック音楽家の登竜門「長崎県新人演奏会」出演者によるコンサート。

出演：長崎県新人演奏会出演者 5名

日時：9月22日(日) 16:00~

会場：エントランスロビー

入場者数：50人

主催：長崎県文化団体協議会

協力：長崎県美術館



(9)吉澤嘉代子「お茶会ツアー2019」

出演：吉澤嘉代子

日時：10月5日(土) 開演20:00/開演20:20

会場：エントランスロビー

入場料：全席自由5,000円

入場者数：180人

主催：TSUKUSU

協力：長崎県美術館

(10)ローマ法王フランシスコ来日記念 長崎のキリスト教史と西洋音楽のコンサート (無料)

概要：ローマ教皇フランシスコの来日を記念し、長崎でのキリスト教と西洋音楽の歴史を重ね、16世紀やキリスト教禁教の頃に長崎やヨーロッパで演奏されていた曲を紹介したコンサート。

出演：安部まりあ、純心女子高等学校音楽部

日時：10月20日(日) 14：00～

会場：エントランスロビー

入場者数：100人

主催：テレビ長崎

協力：長崎県美術館

主催：「写真の街 長崎」実行委員会

協力：長崎県美術館

(11)日食なつこ コンサートツアー

出演：日食なつこ

日時：11月23日(土) 開場20：00／開演20：30

会場：エントランスロビー

入場料：全席自由4,800円

入場者数：180人

主催：BEA、エフエム長崎

協力：長崎県美術館

(12)X'mas JOINT CONCERT 2019 (無料)

概要：女声合唱グループ「Fortuna」と長崎北陽台高等学校合唱部によるジョイントコンサート。

出演：女声合唱団 Fortuna、長崎北陽台高等学校合唱部

指揮：加藤豊、田代悟

日時：12月1日(日) 15：00～

会場：エントランスロビー

入場者数：130人

主催：女声合唱団 Fortuna

協力：長崎県美術館



(13)まちかどコンサート (無料)

出演：中西弾 (ヴァイオリン)、種口敬明 (ファゴット)、内田誠 (ピアノ) ※客演

日時：12月7日(土) 18：30～

会場：エントランスロビー

入場者数：70人

主催：長崎 OMURA 室内合奏団

協力：長崎県美術館

(14)長崎フォトフェスティバル2019 (無料)

日時：3月2日(月)～31日(火) 10：00～20：00

会場：エントランスロビー

13. 貸施設事業

1) 県民ギャラリー

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
1	4月18日(木)～4月21日(日)	第18回南島原市セミナリヨ現代版画展	全室	南島原市セミナリヨ版画祭実行委員会	746
2	(前期)4月30日(火)～5月5日(日・祝) (中期)5月7日(火)～5月12日(日) (後期)5月14日(火)～5月19日(日)	第44回長崎県書道展	全室	長崎新聞社	4,740
3	5月21日(火)～5月26日(日)	第38回長崎県美術協会工芸部会員展	A	長崎県美術協会工芸部	895
4	5月21日(火)～5月26日(日)	第36回長崎南画青房会展	B	長崎南画青房会	877
5	5月21日(火)～5月26日(日)	喜寿記念 第5回最上静山書展	C	最上静山	753
6	5月29日(木)～6月2日(日)	第72回二紀展長崎巡回展	全室	一般社団法人二紀会長崎支部	1,971
7	6月6日(木)～6月9日(日)	第16回長崎県ねりんピック生きがい作品展	全室	長崎県、(公財)長崎県すこやか長寿財団、(公財)長崎県老人クラブ連合会	1,541
8	6月11日(火)～6月16日(日)	第46回長崎県水彩画展	全室	長崎県水彩画協会	1,610
9	6月18日(火)～6月23日(日)	ハンセン病療養所長崎県出身入所者等の作品展	A	長崎県福祉保健部国保・健康増進課	1,164
10	6月18日(火)～6月23日(日)	第17回水彩連盟長崎支部展	B	水彩連盟長崎支部	995
11	6月18日(火)～6月23日(日)	没後1周年 故山崎和國彫刻回顧展	C	山崎和國彫刻回顧展実行委員会	792
12	(前期)6月26日(火)～6月30日(日) (後期)7月3日(火)～7月7日(日)	第50回記念長崎県美術協会展	全室	長崎県美術協会	2,980
13	7月9日(火)～7月14日(日)	アート・ラボながさき生徒作品展	A	アート・ラボながさき長崎美術研究所	1,019
14	7月9日(火)～7月14日(日)	17周年記念三彩写真会作品展	B	三彩写真会	928
15	7月9日(火)～7月14日(日)	九芸展	C	九州産業大学芸術学部	1,003
16	7月16日(火)～7月21日(日)	第21回白日会長崎支部展覧会	全室	白日会長崎支部	1,042
17	7月23日(火)～7月28日(日)	第17回長崎アートフェスティバル	全室	NPO 法人長崎市美術振興会	1,759
18	7月30日(火)～8月4日(日)	NAGASAKI BEYOND	A	(公社)日本グラフィックデザイナー協会長崎地区	800
19	7月30日(火)～8月4日(日)	村永有留生展	B	村永有留生展実行委員会	1,046
20	7月30日(火)～8月4日(日)	8+9 2019～ナガサキの地でアートを考える～	C	RING ART 運営委員会	1,000
21	8月7日(火)～8月11日(日・祝)	第40回ながさき8・9平和展	全室	ながさき8・9平和展企画委員会	1,924
22	8月13日(火)～8月18日(日)	第103回チャーチル会長崎絵画展	A	チャーチル会長崎	1,699
23	8月13日(火)～8月18日(日)	第53回日本リアリズム写真集団 (JRP) 長崎支部写真展	B	日本リアリズム写真集団 (JRP) 長崎支部	1,362
24	8月13日(火)～8月18日(日)	西海市教育文化スポーツ功労表彰記念 一瀬章雄絵画展	C	一瀬章雄	1,385
25	8月20日(火)～8月25日(日)	第3回長崎・釜山日韓交流写真展	A	長崎国際交流写真協会	1,608
26	8月20日(火)～8月25日(日)	国際公募アート未来第13回長崎支部展	B	国際公募アート未来長崎支部	1,446
27	8月20日(火)～8月25日(日)	三菱重工洋画クラブ作品展	C	三菱重工長崎造船所洋画クラブ	1,521
28	8月27日(火)～9月1日(日)	第53回長崎市書作家協会展	全室	長崎市書作家協会	1,455
29	9月15日(日)～9月29日(日)	第64回長崎県美術展覧会 (県展)	全室 企画展示室	長崎県美術展覧会実行委員会	10,080
30	10月4日(金)～10月27日(日)	写真展「オーダー・ヘブバーン」	全室	KTN テレビ長崎、長崎県美術館	17,369
31	10月31日(木)～11月4日(月・振休)	令和元年度 長崎県高等学校総合文化祭【美術部門】(第50回記念高校美術展)	全室	長崎県高等学校文化連盟美術専門部	2,885
32	11月6日(火)～11月10日(日)	第38回一般社団法人二科会写真部九州・沖縄地区公募展/支部員展	全室	一般社団法人二科会写真部九州・沖縄8県支部	805
33	11月13日(水)～11月17日(日)	長崎日本大学高等学校デザイン美術科卒業制作展	全室	長崎日本大学高等学校デザイン美術科	1,675
34	(前期)11月21日(木)～11月29日(金) (後期)12月1日(日)～12月8日(日)	第68回長崎市民美術展	全室	長崎市民美術展実行委員会	8,100
35	12月10日(火)～12月15日(日)	ふるさと対馬を撮る!「対馬&韓国」仁位孝雄写真展	A	仁位孝雄	1,131
36	12月10日(火)～12月15日(日)	末永胤生没後10年回顧展	B C	末永清彌	854
37	12月17日(火)～12月22日(日)	第39回長崎県美術協会洋画部会員展	A B	長崎県美術協会洋画部	945
38	12月17日(火)～12月22日(日)	第46回日本水彩画会長崎支部展	C	日本水彩画会長崎支部	887
39	12月24日(火)～12月28日(土)	第37回童美研・児童幼児作品展	A	長崎児童美術研究会	661

No.	開催期間	展覧会名	展示室	使用者	入場者数(人)
40	12月24日(火)～12月28日(土)	ノエル☆ウエハラ写真展『歩いた！撮った!!世界のクリスマス』	B	上原寛一郎	660
41	12月24日(火)～12月28日(土)	犬塚弘絵画展「酒びん×人生」	C	「犬塚弘絵画展」実行委員会	1,485
42	1月9日(木)～1月19日(日)	第15回長崎県選抜作家美術展	全室	長崎県選抜作家美術展運営委員会	2,390
43	1月21日(火)～1月26日(日)	第65回長崎県小・中学校児童生徒美術作品展「子ども県展」	全室	長崎県教育委員会、長崎県造形教育研究会	4,201
44	1月28日(火)～2月2日(日)	第69回長崎県小・中学校連合美術展	全室	長崎市教育委員会、長崎市小学校図工研究部、長崎市小学校書写研究部、長崎市中学校美術研究部、長崎市中学校書写研究部	13,423
45	2月5日(水)～2月9日(日)	第9回長崎県障害者アート作品展	A B	長崎県障害福祉課	2,126
46	2月4日(火)～2月9日(日)	第13回活水女子大学生活デザイン学科作品展	C	活水女子大学健康生活学部生活デザイン学科	964
47	2月11日(火・祝)～2月16日(日)	第2回けいほ展	A	瓊浦高等学校	1,286
48	2月11日(火・祝)～2月16日(日)	NPO法人長崎県美術振興会洋画部展2020	B	NPO法人長崎県美術振興会洋画部	863
49	2月11日(火・祝)～2月16日(日)	長崎県美術協会第18回写真部会員展	C	長崎県美術協会写真部	955
50	2月18日(火)～2月23日(日・祝)	NPO法人長崎県美術振興会第31回南画部展	A	NPO法人長崎県美術振興会南画部	863
51	2月18日(火)～2月23日(日・祝)	第21回長崎県合同押花展	B	長崎つばき押花会	670
52	2月18日(火)～2月23日(日・祝)	第4回かしわの会絵画展	C	絵画教室かしわの会	721
53	2月26日(水)～3月1日(日)	第38回長崎県美術協会日本画部合同展	A B	長崎県美術協会日本画部	1,186
54	2月26日(水)～3月1日(日)	第20回記念西の会展	C	加野絵画研究会	1,280
55	3月7日(土)～4月9日(水)	木梨憲武展 Timing - 瞬間の光り -	全室	KTN テレビ長崎、長崎県美術館	6,790
				県民ギャラリー入場者数合計	125,316

2) ホール等

No.	使用日	行事名	会場	使用者
1	4月26日(金)～4月28日(日)	住友不動産「新築そっくりさんリフォーム博」	ホール	住友不動産株式会社長崎営業所
2	5月9日(木)～5月12日(日)	5月9日『呼吸の日』記念合同展示会「すべての呼吸へ ありがとう&おめでとう！」	運河ギャラリー	RRC808 (呼吸リハビリテーション倶楽部808)
3	5月18日(土)～5月19日(日)	ミニチュア生け花二人展	運河ギャラリー	古川耀子他
4	5月21日(火)	原爆被爆者講話(出水市立出水中学校 修学旅行)	ホール	近畿日本ツーリスト九州
5	5月23日(木)	2019年度春季九州・沖縄民放考査会議	ホール	株式会社エフエム長崎
6	6月9日(日)	全国支部長会議・建築展(島つながり)	運河ギャラリー	公益社団法人日本建築家協会 JIA 九州支部長崎地域会
7	6月16日(日)	長崎フルートコンサート	ホール・講座室	長崎フルートコンサート定期演奏会
8	7月1日(月)	学芸員技術研修会「展示グラフィック」	ホール・講座室	九州産業大学
9	7月10日(水)	2019 高校の先生方対象 佐賀大学入試説明会	講座室	佐賀大学アドミッションセンター
10	7月24日(水)～7月29日(月)	PENGUINZ (ペンギンズ) 触って遊ぼう立体パズル!	エントランスロビー	NaDeg (ナデグ)
11	7月29日(月)	親子ロボットプログラミング体験会 - 環境問題について考えよう -	講座室	KINAKO
12	8月8日(木)～8月10日(土)	8月1日「肺の日」記念合同展示会	エントランスロビー	RRC808 (呼吸リハビリテーション倶楽部808)
13	8月10日(土)	大誠ハウスプレゼンツ夏休みだよ!親子で楽しむワークショップ ランプシェードを作ろう!	アトリエ	株式会社九州広告
14	8月25日(日)	佐藤好春 アニメーター画業40年記念イベント	講座室	animate 長崎
15	8月30日(金)～9月1日(日)	350年の継承 未来への挑戦	エントランスロビー	吉島伸一鍋島段通株式会社
16	9月23日(月・祝)	お家づくりのための特別セミナー	運河ギャラリー	イーデザインホーム株式会社
17	10月10日(木)～10月14日(月・祝)	小林修史写真展 一期一会の写真たち2019	運河ギャラリー	小林修史
18	10月13日(日)	第12回 金城安紀 沖縄民謡研究所 合同発表会	ホール・講座室	金城安紀、沖縄民謡研究所
19	10月19日(土)～10月20日(日)	noir リトルブラックドレス展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
20	10月22日(火・祝)～10月31日(水)	興相優護 長嶋由季展	運河ギャラリー	興相優護、長嶋由季
21	11月1日(金)～11月3日(日・祝)	～やさしさに包まれて～作品展&ワークショップ	運河ギャラリー	Mamie Café、Takotakokoubou、meme
22	11月5日(火)～11月10日(日)	里帰り二人展	運河ギャラリー	石橋清一

No.	使用日	行事名	会場	使用者
23	11月9日(出)	子どもたちの四季展～第12回三和幼稚園子どもたちの絵の世界～	アトリエ	三和幼稚園
24	11月13日(水)～11月18日(月)	Parel Silhouet／真珠の輪郭	運河ギャラリー	一般社団法人アートカルチャーマトリックス
25	11月13日(水)～11月19日(火)	長崎デザインアワード2019	運河ギャラリー	長崎県産業デザインネットワーク
26	11月22日(金)	映画「魚になる夢を見た」関係者試写会	ホール	映画「魚になる夢を見た」制作委員会
27	11月23日(土・祝)～11月24日(日)	波佐見陶藝展	運河ギャラリー	波佐見陶芸協会
28	11月26日(火)～11月28日(木)	フォトスタイリスト TOSHIKO による ニューボーン PHOTO 写真展	運河ギャラリー	廣高とし子
29	11月29日(金)	令和元年度 食品衛生協会検査機関連絡協議会 幹事会・総会	ホール・講座室	公益財団法人長崎県食品衛生協会
30	12月2日(月)～12月3日(火)	noir リトルブラックドレス展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
31	12月5日(木)～12月8日(日)	令和元年度 JA 長崎せいひ JA 共済小・中学校書道コンクール入賞作品展	運河ギャラリー	長崎西彼農業協同組合
32	12月10日(火)～12月15日(日)	三菱重工グループ「子どもスケッチ大会」作品展示会	運河ギャラリー	三菱重工株式会社長崎造船所
33	12月17日(火)～12月22日(日)	仲地俊裕写真展	運河ギャラリー	仲地俊裕写真事務所
34	12月20日(金)	長崎ケーブルメディアプレゼンツ「なんでカフェのクリスマス」	エントランスロビー	株式会社長崎ケーブルメディア
35	12月22日(日)	歌う魔よけ BB's クリスマスゴスペルライブ	ホール	ハッピーサプライズ
36	12月24日(火)～12月28日(土)	FFG・十八銀行経営統合記念フォトコンテスト	運河ギャラリー	株式会社親和銀行
37	12月28日(土)	(公社)日本青年会議所 九州地区 長崎ブロック協議 2020年度第3回会員会議所予定者会議・2019年度第11回会員会議所会議	ホール	公益社団法人日本青年会議所 九州地区 長崎ブロック協議会
38	1月8日(水)～1月19日(日)	文化庁メディア芸術祭 長崎展	エントランスロビー 講座室 ホール 運河ギャラリー	文化庁、NHK インターナショナル、長崎県美術館
39	1月24日(金)～1月26日(日)	どんぐりっこ作品展	運河ギャラリー	長崎市特別支援教育研究部会
40	1月26日(日)	二胡コンサート Asian Wind +	ホール	朱音楽舎
41	2月2日(日)～2月3日(月)	山王保育園造形作品展	運河ギャラリー	社会福祉法人山王保育園
42	2月8日(土)～2月9日(日)	noir リトルブラックドレス展	運河ギャラリー	有限会社美乃本店
43	2月15日(土)～2月16日(日)	Touch Diversity Project with Laila Cassim 世界地図をつくろう！	運河ギャラリー	株式会社 KabuK Style
44	2月18日(火)～2月23日(日・祝)	第14回タナカタケシ油絵教室作品展	運河ギャラリー	タナカタケシ油絵教室
45	2月22日(土)	子どもエコアイデアコンテスト表彰式	エントランスロビー	公益財団法人ながさき地域政策研究所
46	2月24日(月・振休)	'20年冬のちゃんぽんマチネー in 県美術館	ホール	フィルハーモニックオーケストラ・長崎
47	2月26日(水)～3月1日(日)	第31回長崎県まちづくりの絵コンクール作品展示会	運河ギャラリー	長崎県都市政策課
48	3月13日(金)～3月15日(日)	soi のてはじめ	運河ギャラリー	岩崎広大、西尾佳那、亀倉知恵、古家那南
49	3月21日(土)～3月29日(日)	パープルデーながさき てんかんアート展	運河ギャラリー	パープルデーながさき2020

14. ショップ、カフェ

1) ショップ事業

売上高は224,049千円（前年比484.3%）、収益は3,234千円（前年比140.5%）と増収増益であった。要因は、大型特設ショップの影響によるもので、過去最高売上高を記録した。1Fショップでは展覧会に応じた商品ラインナップやフェアの開催により来店誘致を図ったが、特設ショップでの目的客購入に売り上げを奪われる形となった。

〈売れ筋商品〉

ポストカード

長崎県美術館 BISCUT10（2種類）

レンチキュラーブックマーカー

レインボースティック

展覧会図録

	利用者数	来館者利用割合	年間収入額
1Fショップ	17,497人	4.6%	26,451千円
特設ショップ	-	-	224,049千円
合計	-	-	250,500千円

2) カフェ事業

長崎県産食材・有機野菜にこだわった顧客ニーズに応えるフードメニューの開発・提供を行い満足度の向上を図った。しかし開発コストの負担増加や新型コロナウイルス感染症拡大防止のため3月2日から休業したこともあり、大幅赤字となった。

〈売れ筋商品〉

季節野菜オムレツのホットサンドプレート

季節野菜のトマトソーススパゲッティ（ミニサラダ付）

ながさきの恵みプレート

雪の浦手造りハムのソーセージホットドッグプレート

ホットコーヒー

利用者数	来館者利用割合	年間収入額
19,585人	5.1%	16,842千円

令和元年度

長崎県美術館年報 No. 14

2021年3月発行

編集・発行：長崎県美術館（公益財団法人 長崎ミュージアム振興財団）

〒850-0862 長崎市出島町2番1号

TEL 095 - 833 - 2110 / FAX 095 - 833 - 2115

印刷：株式会社昭和堂

©Nagasaki Prefectural Art Museum, 2021

長崎県美術館



Nagasaki Prefectural Art Museum